

(1)所替の誤か

廿六日、晴、夕曇微、甚炎蒸、到松浦彌一右衛門、松浦太守來臨、加州長九郎左衛門傳書、饋茶、今日松平日向守替⁽¹⁾所和州郡山、本多平八賜福島十五萬石、同出雲守賜播州明石六萬石、今日三村猪右衛門、內村勘八來、廿八日備後發足爲暇乞也、

廿七日、曇、微涼、奉熟瓜七十、茶一壺於津輕君、又與熟瓜五十顆於外村、和田八郎左衛門來、讀淮南子、今日久世和州死去達公聞、

廿八日、曇、已刻到淺野又一郎主、問本多備州母義^(儀)之病、午後到津輕公亭、有饗應、鷹(狩)之雲雀等有之、及半更而歸、自暮雨微々、

廿九日、微雨、或止或降、甚涼、多田藤大夫到、夕八郎左衛門到、

卅日、雨、今日青山太右衛門乞暇而爲賈人、賜金子并時服、今日從淺野又一郎主、賜荒川熟瓜一籠、凡今月廿三日已後、甚涼如仲秋、雨日々、或止或晴、自土用已後、朝夕甚涼、人皆曰不祥之氣、

七月小

朔日^{甲午}曇、朝奠、大村太守使建部所左衛門祝今日、喜多村源八、松田五郎左衛門、岡八郎左衛門來禮、津輕太守亦以書祝今日、夕至松浦彌一右衛門問病、松浦太守來會、今日獻荒川瓜一籠

并能州鯖五刺於桂林院殿、

二日^{七月節}微雨、松浦太守以書告弟三郎右衛門補家老職、三郎右衛門亦來告之、未刻到松浦太守謝之、問病到松浦彌一右衛門、田村藤大夫來話、告野上彥右衛門上京之用事、凡此間陰曇微雨如秋霖、或暑或涼不定、

三日、曇、微雨、獻箱肴并海老二十於松浦太守簾中、四日、曇、南風、關屋新兵衛、田村藤大夫到、今日建部氏來、大村太守、賜生見靈之祝儀、差鯖廿頭、茶一壺并粕漬、鹽辛兩壺、初更番町失火、

五日、曇、微雨、津輕太守賜里魚二頭、饋一頭於大石氏、六日、曇、亦雨、昨日本多作州室死去、問之到本多備翁、

七日、曇、甚涼、朝奠、爲七夕之禮、到淺野又一郎主、各來禮、夕大雨、八日、曇雨、今日道秀居士忌日、終日素食、野妻詣瑞輪寺、

九日、曇、終日雨不止、夜甚雨、互夜不止、今日萬介、爲生見靈之祝儀、八郎左衛門、喜多村源八、松田五郎左衛門、高橋十郎左衛門、戶澤彌五兵衛父子等來會、夕到松浦亭問病、及暮歸、今日甚蒸暑、

十日、雨不止、午後屬晴、南風甚、甚蒸暑、到八郎左衛門宅、八郎左衛門爲生見玉之祝、今日土井能州、堀田備中守爲老中、爲加增一萬五千石、石川美作守、松平因幡守爲若年寄、各加增五千石、夕到松浦太守而歸、及夜甚蒸暑、

十一日、南風甚或雨、午後屬晴、石谷市右衛門來會、今日礪谷十介爲生見玉、石谷市右衛門談堀田備中守賢、予云、凡天下之老中以何爲第一之勤乎、石谷云、以御作法之正可爲本、予云、唯在舉人才、今日別墅墾而蒔大根云、

十二日、晴、甚暑、到喜多村源八宅、今日爲生見靈之祝儀、晝到津輕太守、賀土井能州之爲老中、及戌刻步行歸、月明清風、

十三日、晴、甚暑、今日喜多村室少産、因此到喜多村、及暮而歸、浴湯禮服如去年、唯無喪服、夕設祭席、獻茶瓜、立燭燒香、

會祖父母公

祖(父)母公

先考先妣公

外祖父母公

各茶、瓜、團餅三ヶ、
今日奉燈籠大一中一於宗三寺、
先考先妣大

妙圓中

松源寺 貞因中

鳳林寺 昌頓中

慶養寺 清春中

以上八神前、

於奧六帖敷、道秀居士、同內室、昌頓、貞因、宗有、清春、妙圓七神前、如表燒香、

十四日、晴、夙奠茶燒香、各奉膳一汁五菜、餅并濃茶、菓瓜、午前索餅、未到團子、送神、今日

戶田八郎兵衛到話、寺尾太郎右衛門亦來話、

十五日、晴、到宗三寺青銅百疋、松源寺五十疋、濟松寺鳳林寺同五十疋、直問多田藤大夫、晚田村藤大夫、八

郎左衛門來話、夜微雨、今夕烹泥鱸、割堅魚之鮮、八郎左衛門、萬介、十介相伴、夕從喜多村

方饋水麵、海老、

十六日、曇、微雨忽晴、甚暑、在宿、愚弟平馬來話、野妻到喜多村宅携夜食、

十七日七月中、晴、松田五郎左衛門、野上六郎左衛門來會、夕津輕玄蕃來會、夜中雨、從津輕君賜

蘭花、

(一)三郎右衛門と同人

(1)岡八郎左衛門と同人

(2)鷹狩の意

十八日、微雨、及夜大雨、初更雨晴月清、曉更雨、到淺野又一郎宅、直到津輕太守、太守飾禮服、上迎予、爲生見靈之嘉儀、三汁七菜、有盃酒、津輕玄蕃、同氏八郎左衛門來、

十九日、雨、今日喜多村源八室、七夜之祝儀、午後雨晴、到松浦太守、及幕而歸、夕伊藤二郎右衛門來會、爲暇乞、今日從津輕公賜鷹之雲雀十五、

廿日、終日雨、晚少晴、八郎左衛門、喜多村源八到、夕戶田越公書來、今日賞昨夕之雲雀、

廿一日、曇、(晴)磯谷新八爲津輕公之臣、今日拜謁、爲禮來會、建部所左衛門爲大村太守使來、夕貴田孫大夫到、今日爲灸、讀十三經之易經序例、今日發使饋暑衣於多田氏、淺野與兵衛饋麻地酒、予饋麻地酒并生鯛一尾於松浦彌市右衛門方、

廿二日、風雨、朝奠、上食、辰到南大風甚、殆不異辰年八月十二日之大風、四年已前、已刻風少止雨亦止、午刻已後風漸々靜、夕雨止、令舟井猪右衛門詣宗三寺、山田清大夫到、淺野又一郎主、并本多備翁、若山九左衛門、今日從大石賴母方告、去十日申刻赤穗大風、堤二千餘間破、潰家二十七軒云々、無雨而風吹、畠作尙耗、今日松浦肥太守、大村因太守、津輕越太守、本多備太守、以使者問風破、野上彦右衛門從京都還歸來會、

廿三日、朝快晴、殘暑、夕大河内彦七初名荻野留兵衛、松浦家臣、熊澤右衛門八等來、有蕎麥、

廿四日、快霽、今日常清居士忌日、依之棹短舟、到芝泉岳寺、萬介、十介相伴、午刻歸、徑到隅田川邊、逍遙消殘暑、終日無風波、申刻歸宅、於泉岳寺對話淺野隼人等、

廿五日、晴、殘暑甚敷、已上刻到淺野又一郎主、去十日申刻赤穗大風、堤二千餘間破、潰家百餘軒、無雨而有風、畠物甚損、今日弔本多作州亡妻、徑到中西圖書、午前之大村太守、申刻歸宅、西玄甫來話大村之亭、予談兵法之先及勝、兩□□之事、

廿六日、晴、殘暑甚、到松浦亭、石谷市右衛門來話、多澤七郎左衛門、中村嶺之助來、松浦太守家臣熊澤右衛門八爲砂形、爲一見、到彼宅、凡砂形之體十餘々、爲平城、平山城、平城之形、今日問松浦彌一右衛門病、逢久保玄貞、夕甚暑難堪、及半更之後、暴雨暴風、忽止、松浦太守云、廿三日、到稻葉美濃太守宅、太守云、佛者云、心如鏡、人心如此虛而有此記憶之心如何、佛者等不能答云々、今日祝多田藤大夫室之娘祝言、去廿四日、祝言、贈兩樽兩種、岡田吉兵衛爲使者、

廿七日、晴、在宿、殘暑甚劣、昨日、廿八日、晴、今日讀王弼注易經、

廿九日、晴、今日修屏忍返、多田藤大夫到、尾張羽林家人成田兵助來話、凡去月今月、西國、中國、北國大風洪水、東海道亦然、奥州旱、米價日躍、金壹兩易九斗、

八月大

朔日癸晴、殘暑甚、爲禮到淺野又一郎亭、各來禮、及晚津輕玄蕃來禮、大村太守使者、津輕太守書狀、松浦太守貺肴、

二日、晴、南風、殘暑甚、今日讀易說卦、三木惣右衛門來話、三日、晴、殘暑甚、今日到多田宅祝婚禮、又到庄一郎宅謝昏禮之媒、問町野壹州閑談、及午到津輕太守、及初更而歸、津輕玄蕃來會、

四日八月晴、殘暑、喜多村源八到、此間病後五日、晴、殘暑、大石頼母來話、喜多村送水瓜、今日饋茶并海老於多田氏、明日享小林也、駒木根七郎右衛門自大坂來問、

六日、曇、殘暑如蒸、平馬到話、今日讀了周易六十四卦、王弼注、并傳、本義、蒙引、所々朱之七日、陰雲甚涼、午後北風有雨、宗三寺到、大村太守使价建部所左衛門來、大村太守貺曝布之綿衣、因朝夕之涼也、水野留兵衛來話、今日土屋伊與守知行被召放云々、

八日、陰雲、午前已後細雨霏甚涼、著綿衣、九日、晴、夕殘暑、今日讀尙書、十日、晴、到松浦太守、及暮而歸、殘暑甚、津輕玄蕃四日上京、饋菓子、柿、蒲、菊、梨、今曉靈夢、サエカヘルヨノ光リウレシサ

十一日、晴、今日野妻、到岡八郎左衛門宅、喜多村源八、高橋十郎左衛門來話、夕水野宇兵衛來、

昨日、土屋伊與守(據)因亂心進退破滅、

十二日、晴、夕暴雨、林九郎右衛門來話、今日修上臺所簷、今日(爲)御傍衆、三枝(攝)津守、稻葉石見守、

十三日、曇、微雨、在宿、三木惣右衛門來話、今日館林德松殿山王御參詣、御下向之節、大奥被爲入御對顔、御腰物拜領、大和包永、代金五、十枚館林殿爲御禮御登城、於御座間御對面、爲右之御禮二荷三種獻上、德松君銀二百枚、時服廿被指上也、

十四日、終日雨、北風、詣宗三寺、歸到八郎左衛門宅、問駒木根七郎右衛門、夕雨晴、殆有風月晴涼、可詠之、

十五日、晴、有月甚清涼、尤可愛、晚八郎左衛門到、野上彦右衛門出京之爲暇乞來話、磯谷十介到、共於積德堂見月、今日大村太守賞明月、碾茶一壺、栗柿梨蒲萄一籠、美肴一折贈投、十六日、今朝啓神夢祝之、八郎左衛門、十介等各入輿、去九日之夜十日之曉神夢、

夢云、著禮服之神人烏帽子、大文直垂、舞蹈而收袖、慎而稽首、仰看云、院御所様之御前云々、則添一首之歌、甚悅而退去、

(え)さるかへる世のひかりめてたさ

上句失念、則起而書之、今日七日而開之祝之、今日者予之誕生之日也、

十七日、晴、喜多村源八妻、八郎左衛門妻等到、今日因犬千代殿痲病、問之到彼亭、夕高橋十郎左衛門到、

十八日、曇、今日兩女歸宅、石谷市右衛門書來、堀田備中守以予門人欲為家來、

十九日八月晴、朝八郎左衛門到、夕到松浦太守亭、讀源三位賴政三井寺之歌、

廿日、晴、到淺野又一郎宅、直趣本多備太守、夕行石谷市右衛門宅、今朝有平戶大風之告、去月廿一日晝大風、播州赤穂自申刻及曉、廿二日江戶大風自夜中及巳刻、凡百里而其所違如此、

(1)原源發機

廿一日、晴、在宿、今日小林新兵衛來為臣、故今朝拜謁、今日於津輕公談發機、

廿二日、晴、朝奠、食事上食、使舟井猪右衛門詣宗三寺、今日小笠原能登守發价、送參勤之祝儀、夕石谷市右衛門來話、

廿三日、曇、甚暑南風、到津輕太守、及夜而歸、廿四日、晴、猶有南風、殘暑甚、今日讀終

尙書、注疏、大全、朱點終、午後到松浦太守及暮而歸、

廿五日、晴、在宿、修土藏、廿六日、雨、終日不止、讀禮記曲禮上下篇、廿七日、晴、今

日從大村太守得鷹鳴并鷺、廿八日、晴、夕大嶋雲八到、及夜而歸、

廿九日、曇、到大村太守、□□□會根五郎兵衛來話、當月天地不祥之氣、

九月大

朔日、朝晴夕雨、朝奠、夕喜多村源八到、大村太守以使者啓朔旦之嘉儀、

二日、雨終日、或止、有風呂、讀文王世子、此間夜、校合武家故實弓馬書、

三日、曇、朝細雨、津輕太守賜重陽之衣服、九月四日、曇、微雨、

五日、曇、夕晴、到松浦太守、戶田喜右衛門來、九月六日、朝雨、夕少晴、今日讀樂記、

七日、雨微々曇、夕熊澤右衛門八、荻野彥七到、九月八日、晴、西風甚寒、各有重陽之祝儀、丑刻

屏風坂失火、

九日、朝拜三神、三神、晴甚寒、重綿衣、到淺野又一郎主、歸路及會根五郎兵衛宅、會根氏

去比歸自佐州、カ上岡孫兵衛今月為駿河番發足也、各來禮、夕八郎左衛門、源八到、今晚割新

鮭而賜酒食於家臣等、今日從夜中甚寒、足著小袖、凡今年五月前甚寒、到端午忽得溫暑、

堪著暑衣、重陽前甚暑、不可堪綿衣、而俄暴寒、足著綿衣、天節甚相當、人以爲奇、

十日始有霜、晴、甚寒、讀坊記、表記、在宿、

年譜

此夕 見此卦、九二者流入加越能州、初九者到右而為泉源也

變爻 天之下有山也、且又見上字、

十一日、晴、甚暖、小川女到、夜雨、

十二日、朝微雨、在宿、晚晴、八郎左衛門到、今日津輕君之手簡到、一昨日八郎左衛門為家臣之列云々、

十三日、雨終日不止、初讀周禮、大村太守貺圭魚二頭、

十四日、雨終日、夕止、詣宗三寺、問多田氏、

十五日、晴、朝拜神主三神、使永井氏詣宗三寺、是妙圓忌日也、夕到松浦太守、

十六日、晴、今日使牽砂石淺草後作道、

十七日、朝曇、夕晴、招請大石頼母、黒川小介、篠田彦左衛門、津田平内、

十八日、晴、從越公貺御所柿一籠、貴田孫大夫來會、今夕萬介、十介等、行熊澤右衛門八宅、

見城築之土圖、

十九日、晴、外祖父岡備後守公忌日、燒香奠茶、今日到大村太守亭、有朝鮮鶴之享、

廿日、晴、

廿一日、晴、今日以車牽沙石、今日津輕太守貺茶壺長者松浦太守亦貺口切之御茶、夕八郎左衛門、田村藤大夫來、有蕎麥、

廿二日、晴、令船井猪右衛門詣宗三寺、喜多村源八到、

廿三日、晴、到津輕太守、及三更而歸、今曉近所火失、二三軒炎上、所々有使、

廿四日、晴、野妻到貴田長大夫亭、今曉火事之騷動、直待旦而用意、刁中刻發駕、

廿五日、雨終日不止、八郎左衛門到、

廿六日、晴快、到八郎左衛門宅、八郎左衛門、從津輕公貺茶壺、今日口切、今日貴田孫大夫到、直到八郎左衛門宅、石谷市右衛門到、傳堀田備中守命、是予之門人布施之弟子長彌一右衛門少知兵學故招之也、

廿七日、快晴、長彌一右衛門來、談昨日之義、八郎左衛門到、晝後到松浦太守橫網茶亭、晚秋之景甚希、水嬉之輩亦少、及暮與太守駕一葉而歸、

廿八日、晴、到小笠原壹岐守亭、且問村上彌一郎亭、到戶田日州亭、八郎兵衛宅、與秋元攝津守久談、及暮長彌一右衛門來、

(1) 原本舟
船兩樣使用
なり。同人

廿九日、晴、在宿、夜曇雨、今夕讀終周禮注疏、晦日、雨、十月小

朔日亥晴、朝拜_二神主及三神、八郎左衛門到、飯後辰中刻到_二又一郎主、直問_二田村藤大夫、問_二松浦肥太守病、及同彌一右衛門病、及_レ晚小介、半介來、高橋十郎左衛門亦來、長彌一右衛門來禮、
二日、晴、喜多村源八來話、及_二晚炊、戶澤彌五兵衛來、三日、晴、喜多村室來、八郎左衛門室并母到話、夕稻垣信州來話、戌中刻本町出火、小笠原壹岐守長屋

四日、晴、夜地震兩度、高橋十郎左衛門到、夕瀧川右京、村松伊織、同氏平馬等、提備圖及行列、城取、陳法書、及_二半更、有_二蕎麵、

□□、晴、讀_二儀禮、及_二觀禮十一_一止之、此外喪服、士喪禮等、大概以_二領得_二故閣_レ焉、□□小笠原備前守、弓馬之書寫終來、今日車_二沙石_一來、□□淺野與兵衛爲_二暇乞_一來話、此夕見_レ夢、予各善天、

七日、晴、到_二大村左兵衛長屋、左兵衛初而饗_レ予、有_二三膳、及_レ夜而歸宅、晝到_二又市郎宅、今日又市郎賜_二口切之茶、雁、戶田越前太守賜_二口切之茶_二種、

八日、晴、此間南風甚暖、自_二今日_一精進拜、以_二十四日_一亡母君三回季也、自_二今朝_一燒香點茶、

九日、晴、甚寒、到_二松浦太守亭、十日、晴、初而霜降、如_レ雪、十一日、晴、甚霜、長彌一右衛門、松田五郎左衛門等來、

十二日、自_二昨夜_一雨、或止或細雨、今日令_二船井猪右衛門詣_二宗三寺、是明後十四日亡母君第三回忌也、故奉_二香奠白銀五十兩_一也、八郎左衛門等來話、今日讀_二孟子註疏、

十三日、晴、明日亡母公第三回忌、仍_レ之夕飯後浴沐而設_二茶酒菓_一、時菓餅二種燒香、燭各禮服而拜_二神主、愚弟平馬來會、拜_二神主、

十四日、曇、丑刻夙奠祭、燒香點茶獻膳_三汁_二有_二獻酒、各禮服拜_二神主、刁上刻詣_二宗三寺、愚妻、萬馬息女、介、井平於_二宗三寺_一有_二懺法祭、平馬、八郎左衛門、三木惣右衛門、田村藤大夫、喜多村源八、田村彌一右衛門各來會、松浦太守令_二村松伊織贈_二白銀三十兩、津輕太守令_二松田五郎左衛門贈_二白銀五十兩、懺法終之後、各燒香有_二齋食、午前各退歸、今朝大村太守、令_二建部所左衛門賜_二素食奠三種、并濃茶一壺、夕從_二松浦太守_一賜_二大和柿、并蒲萄一籠、并從_二籠中_一賜_二忍冬酒一瓶、午後微雨、又止、八郎左衛門來、

十五日、晴、甚暖、拜_二神主及三神、山崎治部右衛門來話、從_二津輕太守_一賜_二生鯛一折二頭、今朝因_レ啓_二素食_一也、大村太守亦賜_二鱸魚二喉、今日到_二松浦太守、津輕太守、奉_レ謝_二昨日之辱、八郎左

衛門來話、及夕喜多村源八、田村藤大夫、山鹿平馬來話、及半更、有蕎麵、
 十六日、晴、今朝賜魚味於家來等、是無故障、因歷大祈念也、十七日、晴、甚暖、貴田長大
 夫、八郎左衛門來、今日開戶田越前太守所賜之口切茶、御後、後昔有清談、
 十八日、雨、小笠原壹岐太守來臨、八郎左衛門來會、有雜煮、吸物、有聖學之談、晝後平馬來話、
 十九日、晴、午後到松浦太守、同氏八郎左衛門亦來話、今日服松脂藥、夕甚惡寒、夜中大熱、小
 瘡滿身、今日於評定所、松平越後、羽林家家老等五人御預、見古案、
 廿日、十月晴、午後到愚弟平馬宅、平馬有口切之茶會、松田五郎左衛門、三木惣右衛門、磯谷十介、
 八郎左衛門、萬介等同會、夕熊澤右衛門八、大河內彥七來、
 廿一日、晴、霜甚、北風甚寒、在宿、夕渡邊治大夫、田村藤大夫、喜多村源八來、
 廿二日、晴、令船井猪右衛門詣宗三寺、夕本多備前守來話、朝奠、食事上食、今日甚冷、
 廿三日、晴、甚霜如雪、小笠原佐土守來話、遠山彥左衛門尾州羽林家用人來、午後到津輕太守、及夜而
 歸、廿四日、寒甚、曇、午後雨、五日不止、田中儀左衛門來秋元攝州家人
 廿五日、晴、石谷市右衛門書音、明日使長彌一右衛門到池浦甚五右衛門堀田備中守家來宅云々、今日貴
 田孫大夫來話、渡邊加兵衛亦來、萬介初習弓法、

廿六日、晴、到稻垣信州亭、津輕越中守、同氏八郎左衛門來、及夜而歸宅、
 廿七日、晴、到淺野又一郎主、夕到本多備前守亭、口切之茶有之、有鶴饗、西山六郎兵衛來話、
 及夜而歸、

廿八日、晴、喜多村源八來、夕小川半介、松田五郎左衛門來、凡此間無風甚寒、長閑、朝甚霜、
 廿九日、晴、高橋十郎左衛門、崎田傳右衛門丹羽若狹守家來八嶋惣左衛門淺野又一郎家來來話、讀孟子萬章上篇、

十一月大

朔日壬辰晴、朝奠、拜神主、拜三神、今日開爐、表裏共午後山崎治部右衛門松平加賀守家來毛利傳兵
 衛、磯谷新八等來話、及晚炊、八郎左衛門、惣右衛門來禮、凡母君之三年喪、去月既終、予依
 本朝之例、去年既脫喪服、然餘哀猶殘、故迄去月、有心喪之思、自今月復常、自去々年至
 今月、母君之舊居悉不新修之、以其手澤音容之彷彿也、古人如在之義、切徹身也、
 二日、甚寒甚霜、此間無風會根五郎兵衛享予、御目付田中孫十郎來會、三日、晴、南風、在宿、小
 笠原備前弓馬故實書七十五冊成就、

四日、晴、今日口切之茶、以享予之一族舊識、岡部有節、平馬、田村藤大夫、多田藤大夫不來駒
 木根七郎右衛門、三郎兵衛、三上泰元、三木惣右衛門、高橋十郎左衛門、田村彌市右衛門不來水野

宇兵衛、同氏八郎左衛門、夕到松浦太守、
 五日、晴、甚霜、西山六郎兵衛來話、今夕野妻到同氏八郎左衛門亭、六日十一日節晴、今夕熊澤右衛門八、大河内彦七來、林九郎右衛門來話、
 七日、晴、今日茶口切、招請渡邊治大夫、喜多村源八、小倉作左衛門、木村奎助、樋口兵右衛門、松田五郎左衛門、鷯川紹雲、戶澤彌五兵衛、及初更而各歸宅、
 八日、晴、今日喜多村源八到松浦太守亭、畫師狩野法眼來、問繪事、九日、晴、
 十日、晴、到大村備後守亭、三汁九菜、西玄甫來會、晝到淺野又一郎主、十一日、晴、
 十二日、晴、到松浦肥前守亭、自平戶得鶴、初料理之、十三日、晴、與本多備前守到津輕太守亭、及二更而歸、
 十四日、晴、朝奠、食上食、今日狩野法眼、提携後三年草子之寫、本者松平相模守所持、詞書中將某、畫師飛騨守惟久、及土佐畫之奈須與市、義經、古法眼熊谷敦丸之繪等、(盛力)問武將之圖、稻葉美濃守、令法眼畫三十六將、故來問其裝束也、古法眼熊谷之繪、在營中云々、
 十五日、晴、朝奠、招平馬允妻娘、高橋十郎左衛門來話、十六日、晴、今日亡妹之忌日、十七日、晴、喜多村源八來、

十八日、晴、午後雨、夕雪甚寒、喜多村源八來話、及暮弟平馬、林九郎右衛門來話、及半更、
 十九日、雪、後晴、各有雪後之訪、
 廿日、晴、甚寒、夕瀧川右京、大河内彦七、熊澤右衛門八、各松浦家來來話、有蕎麥麵、
 廿一日、十一月中、八喜入晴、到喜多村源八亭、源八今日開茶壺稱口切、午前到津(輕)太守、同氏八郎左衛門、萬助、田村藤大夫、磯谷新八、十介到、及晚雪、中橋クレキ木失火、
 廿二日、雪終日不止、朝奠、食上食、令船井猪右衛門到宗三寺、令小林仁右衛門往喜多村、謝昨日之饗禮、各有雪後之問、
 廿三日、晴、甚長閑、午後大嶋雲八來話、獻晚炊、廿四日、晴、自十八日疊之表替、到今日終焉、亡母君之舊宅之疊亦改之、手澤猶存、悲歎不淺、廿五日、晴、
 廿六日、晴、到津輕太守亭、及半更而歸、廿七日、晴、今日享田村藤大夫、田村頃日爲津(輕)太守用人也、
 廿八日、晴、今日喜多村到、大村太守令大村左兵衛持口切之茶、并雁、嘉肴數品、予頃日風恙、留左兵衛設晚炊、萬介等各到八郎左衛門亭、
 廿九日、晴、今日到大河内彦七亭、松浦太守來會、八郎左衛門亦來話、及夜陰、晦日、晴、寒

風、在宿、今日初見御注孝經、

十二月大

朔日^{壬戌}晴、今朝點茶燒香、外祖母公之正忌日、拜^二兩神主、次拜^二三神、祝^二歲暮、已上刻到^二淺野又一郎主、

二日、晴、在宿、山鹿八郎左衛門家内各來話、祝^二歲暮、三日、雨少晴、喜多村源八家内來賀^二歲暮、夕雨忽晴、四日、晴、夕雨、問^二津輕太守之病、歸路到^二津輕玄蕃宅、

五日、晴、松浦太守携^二通天、孤雲兩齋兜^一來、祝^二予及萬介、家來村松伊織、水野宇兵衛、熊澤右衛門八、大河内彦七、平馬等來、高橋十郎左衛門、同氏八郎左衛門來、及^二半更^一而歸宅、

六日^{臘月節}晴、到^二松浦太守、謝^二昨日之恩惠、七日、晴、夕田村藤大夫來話、及^二蕎麥^一、八日、晴、午前筒井唯右衛門來話、及^レ暮而歸、^{〇〇〇〇}左衛門來、筒井投^レ書謝^二昨日之閑話、且投^二和什一篇、

わすられす思ふ心のたねしあればいつかは春にあはさらめやは

返歌

としのうちに春は來にけり我宿に君か言葉の花しにほゑは^(〇)

^{〇〇〇〇〇〇}八郎左衛門來、今朝與^二魚鳥之膳於家人等^一祝^レ之、

十一日、晴、十二日、晴、晝後稻垣信州來話、及^二晚炊、^{家來山本唯右衛門相伴}八郎左衛門、喜多村源八等

來話、今日小笠原佐渡守、爲^二歲暮之嘉儀^一祝^二小袖、鯉節、津輕太守祝^二無^レ核之蜜柑等、

十三日、晴、野妻爲^二風恙^一故、勝田養元來、十四日、晴、梅堂、詣^二横川玄立^一來、今日招^二請宗

三寺伴僧凡五七輩、丹羽若州使者來、祝^二二本松雉子四翅、

十五日、晴、勝田養元等來會、田村藤大夫來、桂林院殿祝^二鱸魚、十六日、晴、東氏自^二備後^一書

音、贈^二歲末之嘉儀、松浦壹(岐)太守書狀來、相庭丈右衛門贈^二一封之書、其書有^二道學并兵學之本

末、甚奇也、

十七日、晴、津輕太守祝^二放鷹之鷹、十八日、晴、小笠原壹岐太守祝^二吉田白魚、松浦太守祝^二阿

蘭陀鎧二兩、

十九日^{土用入}雪降、大村太守、松浦太守、津(輕)太守各問^二雪中之安否、廿日、晴、今日煤拂、

廿一日、晴、牛込濟松寺來話、大村太守、津(輕)太守祝^二歲暮之嘉儀、夕奠、設^二卓燈、點茶菓、

廿二日^{大寒入、十二月中}晴、質^{アリヤ(〇)}明立^二卓燈、點茶湯、食事上^レ食、辰上刻詣^二宗三寺、直問^二多田藤大夫、夕

北風甚、

廿三日、晴、戶田八郎兵衛來話、小笠原壹岐太守貳歲暮之嘉儀、今日津輕太守渡御同氏八郎左衛門宅、故到彼亭、及半更而歸、

廿四日、晴、西山六郎兵衛贈歲暮之嘉儀、喜多村源八、本多備州各贈歲暮之嘉儀、今日練正月餅、廿五日、晴、稻垣信州貳歲暮之嘉儀、津(輕)太守貳國之鱈二喉、

廿六日、晴、到津(輕)太守、有歲暮之饗應、太守自當配膳、及半更而歸、長九郎左衛門、以使者貳北國之鱈子、長者松平加賀守家來、菅沼主水貳歲暮之祝儀、

廿七日、晴、津(輕)太守貳放鷹之鷹、及國之雉子、夕飯後到松浦太守、太守有食傷之煩、及夜松浦太守使者來云病殆愈、今日本多備州來話、

廿八日、晴、各來禮、今日小川半介、爲津(輕)太守臣相濟、廿九日、晴、松浦太守貳國鱈二頭、石谷市右衛門貳拜領之熨斗目、小袖、是去比爲御褒美所拜領也、

晦日、晴、各爲歲暮之祝儀來禮、今日問戶澤彌五兵衛病、及晚景大田一郎兵衛來禮、高橋十郎左衛門、同氏平馬、同八郎左衛門等來禮、及夜、今日大村太守貳濃茶并鯉二喉、岩付牛房、

今年甚豐熟、西國大風云々、米直甚卑、無北風、故數雖有火災不大、晦日之夜甚閑、○公方家少々御不例、仍之十三日之煤拂延引云々、廿八日御禮相延、○今年甚寒、五三年此寒無之云々、

々、

延寶八年(五十九歲)

正月小 今年 公方家御不例、依之元日二日三日、(略カ)共御在府之御禮、

元日、辰快霽、質明、禮服立卓設燈、具茶及餅、拜兩神主、賀年始、次拜三神、祝當

年之嘉慶、夜未明祝羹、カシラ羞鮮膳、與妻子爲獻酬、其後出中門而謁家僕、各貳熨斗蛇、埃

夜明、而到松浦太守、萬介相伴、路歷平馬宅、故行禮之徑到淺野又一郎主、路歷田村藤大夫宅、故行禮之訪大石賴母病、

到本多備前守宅、(述)達慶事、則到津輕太守、太守在宿、有雜煮獻盃、萬介相伴、歸到喜多村源

八宅、有雜煮獻酬、則到日光御門主及凌雲院僧正、東漸院賀年始、歸路到山鹿八郎左衛門

宅、有雜煮獻盃、路歷三木之前、故及禮問戶澤彌五兵衛病、舊冬有風恙、故問之到磯谷新八、十介宅、歸路及津

輕玄蕃宅爲年賀、徑到松浦壹(州)太守及織部、知樂院僧正等、

今日各來禮、大村因(州)太守及喜多村源八、松田五郎左衛門等、皆以太刀馬代賀今年、松浦太守貳兩樽兩肴、八郎左衛門來禮、及夜而歸、

二日、晴、羹及二汁五菜之料理、在宿、今日各來禮、津輕太守來、貳太刀馬代、今夕吸物、任例

年有謠初、三日、晴、朝甚北風、夕止、御謠初、

四日、晴、甚暖氣、小笠原壹岐守來禮、今日祝_ニ卑族_一而有_ニ饗應_一、二汁七菜、同氏平馬、同八郎左衛門、喜多村源八、岡部有節、三上泰元、三木惣右衛門、田村彌一右衛門、同藤大夫、松田五郎左衛門、高橋十郎左衛門、野上彦右衛門來會、及暮而歸、

五日、甚長閑、遠有_ニ火事_一大村備後守來禮、六日、晴、長閑、小笠原佐(州)太守、稻垣信(州)太守各來禮、太刀目錄持參、雜煮吸物盃酒、今夕節分大豆打、夜小雨、

福ハ内ノ五文字ヲ句ノ上ニヲイテ、誹諧ヲイヘト、磯谷十介、萬介等ニ命_レ之、

福ハ内ニ惡ヲハ外ヘサルノ年、萬介言下云_レ之、

福ハ内ニ我ヨコシマヲサルノ年、愚老狂句、十介不出_レ之、各笑祝、

七日立_春朝甚長閑、鶯舌少唱、今日收_ニ門松_一、今朝禮服、萬介初聞_ニ全書之講_一、故十介、萬介各禮服、予向_ニ吉方_一對_ニ全書_一、在_ニ文_一講_ニ兵法三本之序段_一、纔謀知計之三也、萬介以_ニ太刀目錄_一禮_レ之、次十介講_ニ謀略之一段_一、萬介以_ニ太刀目錄_一祝_ニ十介_一、十介亦以_ニ太刀目錄_一祝_ニ萬介_一、其後予與_ニ一首之賀歌_一祝與_ニ萬介_一、

立春の朝、萬介初て我家の兵書を學ひ傳へぬ、あゝささかけて是を賀し、讀てあたへける、

立春のあさくみそむる山鹿派山鹿派のなかれば四方の海にみちけり、

此後有_ニ七種之粥_一、有_ニ盃酒_一、次有_ニ立春之膳_一、二汁五齋、已刻喜多村源八内室來禮、其後同氏八郎左衛門母、同内方娘等來禮、有_ニ雜煮吸物_一、午後南大風、夕止、雨小下忽止、今晝、本多備前太守來禮、太刀目錄持參、上野東漸院來禮、

今日本多備州來云、大久保右京云、昔人云、有_ニ一打出之小槌_一、匹夫獨身之者貯_レ之、一打_レ之則所望忽至、今夫汝等望_レ之以_レ何、皆云_レ財云_レ利云_レ祿、然一夫之者得_レ是更無_レ益、或云、唯打_ニ出_一數十之打手小槌、人皆屈服從_レ之云々、

八日、晴、辰刻北風甚揚_レ塵、午下刻、中村半介、伊東安左衛門鬪諍及_ニ刃傷_一、安左衛門鬪死、半介逃去、故招_ニ駒木根三郎兵衛兄弟_一告_レ之、半介者元播州赤穂中村素生、則發_レ价告_ニ又一郎主家來_一菅太郎兵衛、付_ニ目_一糺_ニ屋敷之内_一、然未_レ見、山鹿平馬、同八郎左衛門、熊澤右衛門八、大河内彦七等各來、喜多村源八亦來、

(九日)同氏八郎左衛門宅、祝_ニ年始之饗應_一、高橋十郎左衛門、松田五郎左衛門、山鹿平馬等到、(十日)及_レ夜而歸、(十日)主亭、問_ニ大石氏病_一、直到_ニ大村太守_一爲_ニ年禮_一、有_ニ盃酒_一、從_レ是到_ニ淺野隼人_一、同内

記宅、爲□□□、夕到戶田日州、同八郎兵衛、石谷市右衛門宅、又到津輕太守之家來渡邊治大
夫等宅、歸路暴風有、小雨忽止、

十一日、晴、祝具足之圓鏡、先昇之出料理間、敷新茅之席、以弓弦割之、次以大斧、置之
三方膳、予及萬介各禮服、髮斗目向吉方祝之、取打勝鬘斗三種之肴、其後以赤豆煮之、
居新折敷而出之、有田作吸物、鯛上置勝魚菜、有盃酒器三獻、其後各祝之、愚老、萬介、十介

今日喜多村源八得加增三百石、爲馬廻之組頭、名改監物之由、有其告、午後到監物亭、今日
爲年始之嘉儀、饗予、同氏平馬、八郎左衛門、田村藤大夫、高橋十郎左衛門、三上泰元等爲相
伴、及暮而歸、

今日到源八之前、先到太守亭、辱監物之事、次到桂林院殿、太守豫在殿待予、予則到簾中、
有引渡、雜煮、吸物、有盃酒、

十二日、晴、到宿屋武衛宅、賀青陽、徑到松浦太守亭、太守爲年始之饗、八渡雅右衛門盃酒
之後、有食禮、太守禮服上下、及晚到馬埒、有乘馬三疋、床席有弓矢母衣之飾、今日酒井雅
樂頭二萬石、稻葉美濃守一萬五千石、大久保加賀守一萬石御加增、若狹守加列御免、
十三日、晴、野妻此間風恙故、招勝田養元、

十四日、晴、朝有奠、獻餅獻膳、今日到宗三寺、宗三寺設雜煮、且出蕎麥麵、歸路寺尾太郎右
衛門、了心、濟松寺、多田等年禮、終到稻垣信州及小笠原佐州、

十五日、晴、今日朝拜兩神主及三神、午後到町野壹州等賀年禮、終到津輕太守、有年始
之饗、及晚南大風、無火事、

十六日、雨甚、午後止、松浦太守年禮、太守舊冬有風恙、昨日初登城、故及今日、今日店之町人
各來食、

十七日、小雨忽止、野妻到喜多村監物宅、爲年始之饗應、
十八日、晴、已刻到淺草寺、十介、萬介、介相伴今日田村藤大夫上京、十九日、晴、今日名主松本十兵衛等
來食、

廿日、晴、甚北風揚塵、無火事、今日高橋十郎左衛門饗予、依風雨止之、十七日、今日共、
公儀依御不例之餘氣、無御社參及御參堂、

廿一日、晴、津輕太守來臨、廿二日、朝燒香奠茶、食事上食、廿三日、晴風、廿四日、快
霽、關屋新兵衛來話、廿五日、晴、

廿六日、今日長彌市右衛門、爲堀田備中守家臣、爲君臣之禮、午後到予宅、以目錄禮謝、

廿七日、晴、今日爲三年始之禮、到小笠原壹岐守亭、廿八日、晴、丹羽玉峯貳鐵炮之雁、玉峯者左京大夫法名、

廿九日、晴、及午後南大風、到大村因州亭、津輕太守、稻垣太守來會、

二月大

朔日、晴、會根五郎兵衛來話、二日、晴、小笠原壹岐太守來臨、三日、晴、藤田八郎兵衛來禮、

年始、四日、晴、五日、晴、今日古家修復相初、六日、晴、

七日、晴、赤熊十郎兵衛來、八日、雨、午後晴、饗藤田八郎兵衛、山崎治部右衛門、

九日、曇、午後小雨、及夜大雨、十日、晴、十一日、曇、十二日、晴、午後雨、十三日、

曇、

十四日、雪、詣宗三寺、十五日、晴、十六日、晴、十七日、晴、臺所修復大方相調、今日

喜多村監物室來宿、同氏八郎左衛門室及母儀來會、

十八日、雨、自今日晝武器圖、畑新右衛門來、 $\square\square\square\square$ 、廿日、晴、 $\square\square\square\square$ 喜多村監物室

歸宅、

廿二日、朝、大村備後守弟數馬一昨日落前髮、因爲祝儀、廿三日、晴、津輕太守來臨、獻

(一) 編者の
記せし抹殺
のしるしな
り

疎膳、廿四日、晴、到喜多村監物宅、廿五日、晴、廿六日、晴、廿七日、今日到大嶋

丈、徑到大村太守、貴田孫大夫、同氏八郎左衛門等來會、

廿八日、晴、廿九日、晴、夜大風、晦日、雨、忽屬晴、

三月小

朔日、晴、拜神主及三神、圭田宇右衛門來話、二日、晴、

三日、小雨忽晴、夙拜神主并三神、到淺野又一郎主、徑問本多備前守、又到津輕太守、今

日各來禮、四日、晴、今日修復書院、五日、六日、晴、西山六郎兵衛來、

七日、晴、與松浦太守同船、到小嶋助左衛門宅、小嶋去年爲船手之奉行、移役屋敷深川、初

而饗予、松浦太守亦初到、有茶湯、亭主甚奔走、今日見楠正成自筆三略、外題光源院殿真書、

楠系圖、橋以繼朝臣筆、以繼者永祿年中人也云々、眞偽不可知、於事實者爲重寶、

八日、晴、甚暖、今日到松浦太守、謁松平飛驒守、是者加州大聖寺城主也、甚有兵學之志也、

今日公家御馳走之御能有之、

九日、雨、松平飛驒太守、以高橋十郎左衛門謝昨日之會談、今日日光山烈風甚云々、

十日、雷雨甚、已中刻忽暗、室中不得見人凡四半時而明生、人皆怪之、今日饗津輕玄蕃等、

十一日、晴、今日祖心大尼之忌日、故詣三濟松寺、且問三宗三寺、又到三鳳林寺、今月十九日者愚兄
惣左衛門法名昌頓忌日也、歸路問三多田藤大夫、十二日、

十三日、到三津輕太守、及夜而歸宿、今朝愚妻之母之忌日、拜禮燒香、

十四日、朝拜三神主、食事上レ食、朝大村備後守、同數馬兄弟來臨、獻三疎膳、午前本多備前守來
臨、

十五日、尾州中將殿御禮、因焉無三月次之禮、今日到三淺野又一郎宅、忽到三大村太守亭、太守得三
筑前之鶴、欲レ饗予、有久約也、歸後到三松浦太守、一昨日牧野半左衛門室有平産之告也、

十六日、南大風、在宿、

十七日、雨、南風、愚室到三喜多村宅、有明日太守來臨之儀也、

十八日、晴、今日津輕太守到三喜多村監物宅、因焉予到三彼宅也、晚雨、及夜而止、

十九日、或雨或晴、晴曇不定、今日昌頓忌日、燒香拜禮、

廿日、甚冷、天殆屬晴、在宿、津輕玄蕃來會、昨日得三南蠻之鎧并兜鍪、各有三龍之銀象眼、予甚
自愛、今日愚妻到三喜多村監物宅、明廿一日、津輕太守饗三監物之妻也、今夕短燈下、見三武功雜記
等、庭前櫻開發甚盛、携三酒殺爲花見之會、

(1)以下この種の略稱一々注せず

廿一日、晴、今日喜多村監物并同室、到三越(州)太守之簾中、有祝儀之盃酒、各有三獻貺、晚日子
到三越太守而禮謝、及暮而歸、愚妻亦歸宿、

廿二日、晴、朝拜三神主、食事獻レ食、燒香茶湯如常、令三船井淺右衛門詣三宗三寺、

廿三日、午後雨、稻垣信太守來話、家人山本唯右衛門供奉、津輕太守以レ使賀、一昨日喜多村之參
席、貺三鯛并雙酒、未下刻津輕太守來話、津輕玄蕃、喜多村監物供奉、及夜雨未レ止、信太守、越
太守、及三戊刻歸宿、

廿四日、晴或雨、夕晴、西山太郎兵衛來話、論三道本、別書レ之、午後到三松浦太守、夕、小嶋助左衛
門來三訪松浦亭、及暮而歸、

廿五日、晴、在宿、高橋十郎左衛門來話、岡部有節亦來話、

廿六日、晴、在宿、今日風呂屋修復造畢、今日田村藤大夫、自三京都歸宅之由來話、

廿七日、晴、午前南風、到三津輕越太守、昨日松浦壹岐守參府、仍レ之爲三見舞到三彼地、

廿八日、□、今日到三戶澤彌五兵衛宅、津輕玄蕃、渡邊治大夫等來會、盲人某、唱三平家紅葉及宇治
川、

廿九日、晴、甚溫、堪レ著三綿衣、午後到三松浦太守亭、有三蕎麵、昨二十八日、尾州黃門貺三御暇、

因御不例、盲人相山檢校ヲ召出、得針術之妙也、今日改祠堂、移神主并三神之札於中堂之中、爲祠堂、禮服燒香、獻茶菓、昨日大峯大善院新住、送葛城之札并土産等、

四月

朔日庚申晴、今日甚暖、公儀因御不例無御禮、朝拜神主并三神新祠已上刻到於淺野又一郎主、路歷田村藤大夫宅而立寄、從又一郎到本多備太守、直行桂林院殿謝禮、一昨廿八日、喜多村監物室、至桂林院殿夕到同氏八郎左衛門宅、津輕玄蕃、渡邊治大夫等來會、

二日、晴、南風、到稻垣信濃守、所謂津輕越中太守爲暇乞饗應之、及夜而歸、夜中南大風、三日、朝南風、午後平、喜多村監物內室、同氏八郎左衛門內室來問、饗應、今日松浦彌一右衛門湯治塔之澤、

四日、晴、長閑、中門之中塗、及晝八郎左衛門來、今日熊澤右衛門八、饗八郎左衛門、萬介等、有沙形之會、(繪)五日、晴、甚長閑、戶澤彌五兵衛饗愚妻、

六日、晴、今日酒井雅樂頭、於二御丸可致指上御茶之旨被仰出、并爲御慰、籠拔又阿屋津里等見物可被遊之由、仍之爲用意舞臺等有其催、

七日、晴、或暴雨、諸侯旗本之面々賀昨日之仰、到雅樂頭亭、今夕本多備前守、到喜多村監物

宅、津輕太守來臨、玄蕃及其爲相伴、橫屋宗與來爲相伴、及半更而歸、至夜而甚雨不止、

八日、晴、田村藤大夫饗津輕玄蕃、渡邊治大夫、予亦到彼宅、及夜而歸、九日、晴、渡邊治

大夫饗予、玄蕃、監物等到、

十日、晴、今日雅樂頭於二御丸獻上御茶、今朝、群侯諸士賀之而到雅樂頭、阿屋津里師土佐、狂言師竹之丞、籠拔之面々皆著禮服、卯刻到極樂橋前、(酒)公命、土佐掾、爲朱願童子之曲云

々、自餘者不被仰付、雅樂頭今日之饗應、盡美盡善、凡與金銀衣服卷物等於藝師、擲家財飾銘畫珍器於二御丸、還御之後、自到老中拜禮、且從公儀銀子、腰刀拜領、河內守并下野守亦然、凡其費不可勝云、十一日、晴、

十二日、晴、本多備前守、到同氏八郎左衛門宅、小笠原佐渡守、西山六郎兵衛來會、及半更而歸、(屋)橫也宗與侍座、今日喜多村監物宅、桂林院殿并津輕太守及嗣君等來臨、及夜而歸御、野妻從早朝到監物宅、十三日、晴、明日催見物勸進能、

十四日、晴、朝拜神主、食事上食、今日到勸進能之地、終日見之、甚爲壯觀、勸進能者保生九郎弟子太田市郎左衛門、爲稻荷大明神之社建立、今月從五日爲勸進能、今日者爲終日、番組、小加治、三井寺、羽衣、春榮、熊坂、祝言、

十五日、晴、昨夜已來、甚熱氣病惱、今朝者略得_(生)快氣、然亦餘熱不已、爲_(生)養生引込有_(レ)之、
 十六日、晴、夕雨、在宿養性、十七日、晴、或雨、今日爲_(生)書院之切石、鋸師來附_(生)土藏之白壁、
 十八日、晴、今日稻葉美濃守、於_(生)御丸獻_(生)上御茶、御能五番、及_(生)七番還御、今晝到_(生)津輕太
 守、稻垣信州來會、

十九日、雨甚、津輕玄蕃來訪、昨朝大星相傳之禮謝、太刀折紙持參、同氏八郎左衛門、昨朝於_(生)越
 君亭相傳、晝後到_(生)津輕玄蕃宅_(生)饗應、甚雨不止、及_(レ)夜而歸、唐牛甚右衛門、渡邊治大夫等來會、
 廿日、晴、猷廟御忌日、廿一日、晴、在宿、廿二日、晴、夙燒香點茶、食事上_(レ)食、令_(生)船井淺
 右衛門詣_(生)宗三寺、

廿三日、晴、到_(生)津輕太守、有_(生)暇乞之饗應、廿四日、_(到)喜多村監物宅、野妻、萬介、八郎
 左衛門等來會、廿五日、晴、在宿、□□□□、

廿七日、細雨、爲_(生)暇乞饗_(生)津輕玄蕃之所、津輕太守來臨、獻_(生)疎膳、今日大久保加賀守、於_(生)二御
 丸獻_(生)上御茶、有_(生)傀儡師名永鑑、凡去_(レ)十日已後、老中打續獻_(生)上御茶、然_(生)公方家御不例、逐
 日御草臥之由風聞、自_(生)去八日_(生)吉田伊庵獻_(生)御藥、無_(レ)驗、而玄說又獻_(生)御藥、

廿八日、晴、到_(生)松浦太守、太守之後庭有_(生)覆盆子_(生)甚熟、味_(一字脫カ)不_(レ)約_(レ)貺_(レ)焉却到_(レ)之、及_(レ)晚本多備前

守來訪、去_(カ)三日、東西大名御暇可_(レ)被_(レ)下之由、各出仕之所、御機嫌不_(レ)宜延引、今日各登城之所、
 又因_(生)御_(生)例延引、然御暇之面々、時服銀子拜領、重而御目見可_(レ)被_(レ)仰付_(生)云々、八郎左衛門、萬
 介、爲_(生)阿多計船見物、乘_(生)東國丸到_(生)彼地、及_(生)半更而歸、

廿九日、晴、到_(生)大村太守、稻垣信州來話、本多備太守飯後來話、備之間積、攻城之惣鐵炮等議論、
 并城中和不和之事等有_(レ)之、歸路問_(生)本多備前守、圭田宇右衛門、因_(生)深志將_(レ)傳_(生)三重、故云_(生)此議、
 徑到_(生)津輕太守、今日土井能登守近日於_(生)二御丸可_(レ)獻_(生)御茶之旨被_(生)仰出_(生)之由、

五月

朔日、晴、燒香點茶、今日爲_(生)暇乞饗_(生)喜多村監物、問宮勘右衛門、渡邊治大夫、同氏平馬等來會、
 二日、晴、誘_(生)八郎左衛門、萬介、到_(生)松浦太守、去月廿八日覆盆子之饗、兩人不_(レ)來、故及_(生)今日、先
 到_(生)熊澤右衛門八宅、見_(生)物砂形二十餘、太守亦到此、磯谷十介附_(レ)尾而到、直詣_(生)太守之亭、太守著_(生)
 禮服、萬介初而來也、有_(生)鷹_(生)狩_(生)鶴之料理、料理後太守自點_(生)新茶_(竹庵後昔)其後食_(生)覆盆子、數篇易_(生)之、
 今日盃酒之上、太守賜_(生)腰刀於萬介、村松伊織傳_(レ)之、太守常所_(レ)挾_(生)之脇指也、_(高田也、本明知三秀十兵衛之時分常挾之云々)今
 日議_(生)論義仲、義經之兵略勇剛人品、
 三日、晴、到_(生)八郎左衛門亭、今日爲_(生)暇乞饗_(生)喜多村監物也、及_(レ)晚而歸、

四日、晴少雨、有風呂、今度風呂所々修造、故初試之、今日發价訪大善院、獻寸志於大峯山、

五日、晴、風燒香點茶、各來禮、大村左兵衛、爲太守之名代、夙來、自松浦太守、令价賜一折、今日到又市郎主一禮、直到田村藤大夫宅問病、晝、本郷天澤寺前失火、今日甚長閑、無風而餘煙甚廣及、諸大名出仕、無御目見、

六日、晴、及未刻、江戸中騷動、人馬馳東西、公方家御不例甚急故、老中出仕、御三家并甲府、館林兩家早々登城、及夜而少々御快然、此時自貶熨斗蛇、以館林爲御養君之義有之、則酒井雅樂頭、於黑書院傳嚴命於三家、各承服而退出、役人之外禁登城、大目付等出城外制焉、諸大名皆到老中而歸、夜雨、

七日、細雨、諸大名五ツ前登城、御機嫌少々御快然、玄說、玄徹、伊庵、久保玄貞、平賀玄順、針師一貞、杉山檢校等伺候

今日館林殿被任大納言、渡御二ノ御丸、御書院番、御小姓組、御步行衆迄、如已前若君様之例勤番、諸大名有御養子之仰渡、直到二御丸、大納言家夜々歸御舊宅云々、

凡公方家自去歲八月御不例、醫師代獻藥而無驗、日々御疲瘦御草臥之由、然自去月十日、老中度々獻上御茶、其後於私宅有祝儀之能、天下之列侯饋酒肴器物、名畫、名器、名屏風、

雞犬豕羊之等亦有異相者、歷上覽、其費一日殆萬金、天下之壯觀在此時、去月廿九日土井能登守可獻御茶有上命、既以八日九日爲其日之處、急有此大變而人々皆驚駭不淺、明八日土屋相模守爲上使到尾州、可傳右之趣云々、

八日、晴、今日諸大名爲窺御機嫌登城、堀田備中守謁見而歸、土屋相模守午立、今日到松浦肥太守及淺野又市郎、津輕太守、而午後歸宅、肥太守自城歸之時對謁、談世事、夕又御不例不快云々、

九日、雨、午後屬晴、昨夜公方家薨御御行年四十一歲今日諸大名登城、酒井雅樂頭謁之、云、昨夜公方家御他界、御遺命云、不相變可奉仕大納言家云々、午刻各退出、東西大名皆相聚、松平加賀守、同陸奥守等上座、無一言之挨拶云々、大納言家渡御二御丸、各奉伺御機嫌、公方家於御後命者、自二丸、先可被移西御丸之由、有其定故、今九日迄西丸修造、疊表替云々、世人云、大納言家初官右馬頭、今月者午月也、六日午日也、故將軍家已御歲、大納言家午月午日御相續、殆天命云々、

十日、雨不止、到淺野又一郎主、徑訪津輕公、夕到松浦太守、十一日、雨不止、在宿、十二日、雨、增上寺僧徒等、訴訟今度不葬公方家、僧二千餘徒黨將開寺、江戸在々所々皆然、

十三日、雨、夕到松浦太守、閑談數刻、今日松平陸奥守、到雅樂頭誓詞云々、今日以上使慰
增上寺方丈、立御位牌於彼寺、可有御法事、御遺體者任御遺命、可遣上野云々、
十四日、曇、今日及暮、尊體移上野、方々辻堅等有之、午刻已後屬晴、酉刻、靈柩遷座上野
本堂、近邊諸大名警固辻々甚嚴重、戌刻入御上野、棺上皆覆白練、供奉之輩悉剃髮著素衣、拜
者如堵、各悲歎、今日甚冷寒如秋、

十五日、晴、夕風、冷寒如昨日、在宿、自一昨十三日、諸大名於老中各誓詞、國取者雅樂頭、其外者月番堀田備中守

見其列形

十六日、晴、在宿、到晚暴雨雷一聲、昨十五日之曉、日光御門主遷化、村松伊織來、十七日、

晴、在宿、熊澤右衛門八、瀧川右京等來話、

十八日、晴曇不定、風吹冷、(カ)朝詣淺草寺、夜雨、晚河內山與五右衛門來話、同氏平馬來、有蕎

麵、

十九日、快霽、到松浦太守、閑談、及晚而歸、小倉角入松浦家人、於京都十三日開幕御、十四日發足、五日(目)四時至江府、行年六十八、

廿日、晴、廿一日、晴、廿二日、細雨、晚晴、朝夕奠、食、事上食、詣宗三寺、訪小笠原佐

渡守、

廿三日、晴、甚暑、廿四日、晴、甚暑、山名道與來、夕河內山來謁、今日野荆到喜多村宅、及

薄而歸、

廿五日、晴、甚暑、廿六日、晴、與八郎左衛門到松浦亭、今日夜亥子刻葬、將軍家於上野、此間毘舍門僧

正及若宮、來、著從京都、埋石棺於律梁院舊地、棺銘、人見友元書之、征夷...尊大君、

廿七日、晴、於上野有御法事、昨夕今日將雨而止、人皆感之、

廿八日、晴、自今日甲府殿、御三家御參寺、御裳束、自今日至來月九日、每日御家人參寺、

廿九日、晴、諸大名各詣東叡山燒香、自今日到來月九日、各段々燒香、八日者御月忌故無參

人、自六日、七日九日(之)三日、諸番衆參寺、

六月、先月晝大方旱、曉夜中雨、然更不妨、東叡山之御法祭、今月到半而甚冷、天氣不順、雨或止
或雨、晴曇不定、

朔日、晴曇不定、或微雨、夙拜、兩神主、奉拜、三神、今日到淺野又一郎亭、及午後而歸

宿、路歷田村藤大夫宅、賀田村孫大夫爲館林公之旗下、直問平馬內方之產前、二日、

三日、晴、今日大嶋雲八來話、及暮而歸、四日、五日、六日、七日、晴、今日西山氏來話、

今夕到平馬宅、平馬室臨產而死、死胎、

八日、雨、或止、九日、十日、十一日、十二日、
 十三日、晴曇不定、甚冷、又蒸暑或雨、到松浦太守亭、同氏壹岐守來會、
 十四日、晴、晚雨、及夜而止、到津輕太守亭、今日公家衆御暇、
 十五日、晴、朝少雨、在宿、喜多村監物、松田五郎左衛門來、及晚炊、
 十六日、晴曇不定、甚冷、在宿、十七日、晴、朝甚冷、午後少雨、地震、在宿、今日上野御法事
 終日、輕罪之囚徒御赦免、
 十八日、終日微雨、夕少晴、今日 大納言家初參堂上野、玉步到 御廟前、老中列席於廟前、御
 指貫之紐解、召稻葉美濃守結焉、衆人側目、服 御膽勇、天下之群侯馳价、賀今日之御成於
 月番之老中土井能登守、今日微雨、不及雨具、人皆奉感之、今夕到松浦太守亭、及暮而歸、
 參堂淺草寺、
 十九日、終日雨不止、今日諸大名之香奠獻之、使者到東叡山、自五時迄晝比、一萬石以上之
 大名、午後布衣以上三千石以上之役人、於本堂獻上香奠、今夕到會根五郎兵衛宅、
 凡自去月十四日到今日、每日曇、陰雲或晴、雨必及夜、晝無大雨、御法祭自廿六日到二十七
 日而終、自廿七日每日參詣之御一門、列侯、諸役人、御番衆、醫師、畫師、到今月九(日) 十八

日、御成、人更一日不遇大雨、皆以奉恐感、二王門、車坂、刑部坂、清水口、所々各有番、
 惣奉行大久保加賀守、寺社奉行 板倉石見守 松平山城守 勘定奉行 大岡五郎 奈須遠江守 平野丹波守 此外諸奉行人、群宿
 上野、江戸町中皆自身番有之、終不舉一火、甚靜整、人皆安堵、十八日、諸奉行人皆退去上野
 宿所、

廿日、終日雨不止、在宿、川内山氏來話、廿一日、曇、朝、中野傳右衛門來、
 廿二日、晴少雨、朝拜 神主、食事上食、辰刻詣宗三寺、徑訪稻垣信州宅、午刻歸宅、歸後
 雨、夕從津輕太守貺重內、喜多村監物、田村藤大夫來謁、
 廿三日、雨終日不止、甚冷寒、在宿、痛三里灸、今夕、瀧川右京、熊澤右衛門八等來謁、有蕎
 麵、
 廿四日、曇或微雨、在宿、今日大村太守貺漬蕨、甚冷寒、木村奎助、樋口右衛門等來、凡此間陰
 雨不止、甚冷寒、夜著綿衣、明日既土用、尙雨天、自廿四日於增上寺御法事云々、
 廿五日、土用入 微雨終日不止、甚冷、
 廿六日、微雨、到松浦太守亭、甚冷、
 今日於增上寺、內藤和泉守、忽討留永井信濃守、列座之大名等各抑內藤云々、今晚申下刻御法

事未濟、五百之僧行堂之間、於內陣有^(道カ)此儀、堂上堂下之騷動甚、彼之家々之者、皆馳^ニ集増上寺、増上寺之近邊甚忽劇、及^ニ夜陰之間、永井之死骸未引、内藤塾^ニ居堂側、御步行衆警^ニ固之、廿七日、曇、或微雨、今日到^ニ淺野又一郎亭、今日 嚴有院殿第七々忌、爲^ニ御名代^ニ稻葉美濃守參堂、内藤和泉守切腹、板倉石見守上使、檢使渡邊大隅守、目付(能勢惣十郎)、廿八日、朝晴、晚微雨、廿九日、天氣如^ニ昨日、晝前甚暑、及^レ夕而微雨、今日 公儀御精進開、四品以上并十萬石以上獻^ニ魚味、夕到^ニ松浦壹岐守亭、松浦肥太守依^ニ精進開、壹州饗^レ之也、小嶋助右衛門、同氏八郎左衛門來會、甚暑、

晦日、午前天氣能、晚雨、今日宮津、鳥羽在番被^ニ 仰付、在番大名二人、目付二人、凡當月中雨天甚冷、六月中雨天頻、不覺之熟瓜等皆腐絶云々、

七月

朔日、朝晴晚雨、奉^レ拜^ニ 兩神主、且燒香、拜^ニ 三神及稻荷大明神、依^ニ靈夢之告^ニ也、廿四日夜夢想、常に持神に祈をなすときは、心の願かなはぬはなし、故賀^レ之之所、廿六日到^ニ松浦太守亭、談^ニ一封之義^ニ終、廿七日書^レ之、廿九日於^ニ松浦壹州吉野櫻書院^ニ談^レ之渡^レ之、是又有^ニ夢瑞^ニ、故予封^ニ願文并

夢想之神詠、奉^レ備^ニ 神覽、自^ニ今日^ニ到^ニ七日、心齋禁^ニ他火、待^ニ七日^ニ而將^レ開^レ之、今日上野へ御成、午後到^ニ淺野主亭、午前宿屋武兵衛等來話、今日喜多村監物室來、
二日、朝晴夕雨、朝八郎左衛門來、已刻山崎治部右衛門、藤田八郎兵衛、河内山、毛利等來話、
三日、曇終日、或微雨甚冷、野荆、到^ニ八郎左衛門宅、建部所左衛門爲^ニ使价^ニ來話、
四日、曇、及^レ夜風雨、大村氏使來、賀^ニ七夕、贈^ニ御物御茶貺、磯谷爲^ニ生見靈之賀儀、
五日、曇、從^レ晝雨不^レ止、小笠原壹岐守來臨、長彌一右衛門、岡部有節來、 六日、雨、

八月

朔日^巳、雨終日不^レ止、夙拜^ニ 神主、且拜^ニ 神天、述^ニ所願^ニ燒香、其後家人等禮、朝、八郎左衛門來、已上刻到^ニ又市郎主、今朝松浦太守告^ニ八朔之賀儀、賜^ニ嘉肴數品、且昨夕告^レ得^ニ鱈魚^ニ之事、是者上被^レ爲^レ進^ニ 桂昌院殿之所、院殿賜^ニ牧野備後守^ニ也、松浦主爲^ニ頂^レ之、招^ニ予并八郎左衛門、萬介、故正^ニ禮服^ニ午下刻到^ニ松浦亭、拜^ニ戴此饗應、八郎左衛門、萬介從^レ之、
二日、雨猶不^レ止、夕到^ニ松浦主亭、謝^ニ昨日之儀、及^レ夜而筒井只右衛門來會、有^ニ麵膳、
三日、雨少降、夕少晴、小笠原壹岐太守、贈^ニ雲雀五十、河内山與五右衛門來話、
四日、晴、殘暑甚、夕雷雨甚、 五日、曇、微雨、

六日、晴、午後雨、今日召御勘定奉行、專可決堀田備中守之命、今日御留守居方、大目付等、諸大名取次不可仕之旨法度被仰出之、今日永井信濃守弟萬之丞別賜一萬石、依之宮津、鳥羽之在番、目付賜御暇、

七日、曇、微雨忽晴、今日到石谷市右衛門宅問病、徑到戶田八郎兵衛、同越前守亭、

八日、晴、殘暑甚、夕涼、在宿、凡從昨日殆晴、

九日、朝霧曇、蒸暑甚、及暮而雷大雨如流、戌下刻止、猶夜中雨不止、今日萬介初讀史記、

晚讀東鑑、今日堀田備中守賜松平伊豆守宅、伊豆守賜千村信濃守宅、牧野備後守賜堀田備中守宅、松平山城守賜津輕和泉守宅、永井萬之丞賜山城守宅、

十日、曇、天亦陰晴、午後少晴、今朝賜饗應於家僕等、是去年今曉因瑞夢之告有之也、予從昨夜齋戒、今曉野荊有瑞夢、午刻到松浦太守、蒸暑不可堪、暑衣如流漿、陰雲微雨、然不及大雨、及夜而尚蒸暑陰雲、人皆所謂可地震、

十一日、二百陰雲如昨日、微雨忽止、蒸暑似昨日、今日多田藤大夫來會、

十二日、晴、殘暑甚、今日到大村太守亭、道歷又市郎主亭、而立寄之、及暮而歸、微雨忽晴今日鷹司左大將殿下著、為上使酒井雅樂頭、吉良上野介趣彼處、御馳走仙石越前守、

十三日、晴、甚殘暑、今日到津輕公亭、今夕明月、尚秋色無之、今日近衛左府公下著天德寺、上使如昨日、御馳走相馬彈正、

十四日、晴、朝奠如例、食事上食、令船井淺右衛門詣宗三寺、且訪涼心并長彌一右衛門病、酷暑如炎、南風、夕微雨忽止而暑甚、在宿、今朝大村丈使者來告、昨十二日初而到伊丹大隅守亭、三年而出來云々、今日勅使、院使下著、上使如昨日、今日戶田越前守狀到來、則返書、夕月甚明、各出會積德堂之緣、

十五日、八月晴、朝拜神主及四神燒香、八郎左衛門與河內山、毛利、牧野等來、今朝授山崎治部右衛門、藤田八郎兵衛於大星、各自是來禮、及饗應、饗應終之處、山崎治部右衛門持參太刀折紙來禮、出吸物有獻盃、

大村太守祝明月、既新蕎麥古蕎麥五袋、鮑粕漬一桶、御物初昔茶一器、建部所左衛門持參、高橋亦來、高橋及晚炊而歸、

今夕明月近年無之、十介、萬介等會積德堂翫月、萬介有詩一絕、十介亦有口占、今日各登城有望禮、

十六日、晴暑、月蝕五刻二分夙藤田八郎兵衛來禮、晝與八郎左衛門、萬介、十介到松浦太守、及晚

而歸、殘暑甚、及暮而月甚明無缺、殆如十五夜、各翫月聚會積德堂之東緣、有新蕎麥、今日尾州家人佐藤半大夫、後改平太左衛門、爲國奉行、今日來謁、談木曾山初木衛之、凡自九日予感夢想、去歲所夢、想之神詠、齋戒到今日、今朝饗家僕等、凡自十日到今日、每日有吉祥、所謂人々相會祝、

十七日、晴、殘暑甚、今日凡自去十日、每日之殘暑、勝夏天土用之暑、夜中亦不得闔戶、十八日、晴、殘暑如昨日、今日淺野又市郎等有任官之仰、大久保加賀守、大村能登守、堀田備中守任侍從、今日開韻鏡、得永祿四年之一紙、是祈富貴寶算之儀乎、甚奇妙、

因又市郎主任官之祝儀、到淺野主亭、且獻箱肴一種、今日松浦太守息女卒、牧野半左衛門室、依之慰弔之、今日青山大膳家臣貴田玄蕃來謁、孫大夫從之、

凡去年依夢想之告、自二十日迄二十六日、待吉祥之處、十八日石谷市右衛門方告堀田備中守事、今日又堀田氏任侍從、且予亦獻肴於淺野主、殆有吉祥之兆也、淺野主今年十四歲、故無官位之望、俄有此仰、甚恐悅云々、

十九日、晴、南風甚、殘暑未退、今日嚴有院殿卒哭忌、今日成田藤助來謁、凡上未開素膳、待卒哭忌、明後廿一日御精進開云々、

廿日、有殘暑、會根五郎兵衛來訪、山崎治部右衛門、川内山等來話、(河)

廿一日、朝大雨忽止、到淺野主亭、又市郎去十八日任官、因今日淺野隼人欲威鐵憑予、午前歸宅、祖父名在內匠頭也

小笠原遠江守家人香村丹左衛門來、

今日津輕太守使間宮某勘右衛門、既兩樽兩殺、且平藏主、使戶澤彌五兵衛贈大鯉魚二條、是今日平

藏主定名乘字信之嘉儀也、予因此祝儀、到津輕主賀之、及暮而歸、此諱、予考殘暑甚、定之也

廿二日、晴、自昨夜大雨風、至今日不止、風拜、神主、食事上食、已刻詣宗三寺、寺門之前、去九日雷落、杉

三本割倒、其傍有毛髮、地下所々有小穴、杉大三間五間、間四五尺也、傍有大杉、杉竅中火生、人知之而消之、酉下刻云々、今朝八郎左衛門等來、及暮而風止、甚快霽、

廿三日、曇、自朝雨、午前少晴、未刻以後雨不止、今日將軍宣下、勅使、院使御對顏、諸大名

東帶、辰刻登城、近衛左府、鷹司左大將亦東帶登城、中將三位以上、侍從以上用長柄輿云々、

廿四日、雨終日不止、自昨日甚冷、不堪服暑衣、喜多村室來、山崎氏、毛利氏、牧野氏等、各投魚殺、

廿五日、雨終日不止、今日到小笠原壹岐守亭、壹岐守家督已後初而饗予、其禮甚厚、有初鮭、菅沼主水、同氏八郎左衛門、小笠原佐土守來會、及夜半而歸、雨更不止、今日勅答、各著大

紋而出仕、仙洞御不豫火急故也、

廿六日、快霽、上野、御成、依將軍宣下也、今晚有法皇崩御之告、去十九日崩御

廿七日、晴、南風、諸大名慰弔、崩御登城、今夕到松浦太守、今夕津輕太守賜初鮭、

廿八日、晴、甚冷、朝地震、及暮而少震、在宿、夕熊澤携矢筈、胃來、

廿九日、快晴、微冷如秋末、朝初聞雁聲、在宿、

晦日、曇、朝雨晚晴、今日甲斐庄喜右衛門爲町奉行、到淺野内匠頭亭、徑到本多備前守、西山六郎兵衛、同氏八郎左衛門、彫物師宗與來、及申下刻歸、今月甚不祥之氣、寒暑不定、

閏八月

朔日、晴、朝拜、神主并尊神四位燒香、今日各來禮、野荆微恙、因焉今朝八郎左衛門等來、中村

春碩診脈調藥、會根五郎兵衛、大石賴母助等來、夕到松浦太守、而及暮而歸宿、二日、曇、

三日、晴、今日堀田氏與松浦公之牒到來、齋浴而拜讀焉、今夕禮服拜三日月、凡予配播陽十

月三日也、歸國之左右七月三日也、各三日有吉凶之瑞、故祈三日月、

四日、晴、拜、神主并尊神、是昨日因得堀田氏之狀也、夕到松浦公、謝禮昨日之儀、五日、

晴、

六日、朝赤風起之處、自東方東南風到、甚溫暖如當炎風、辰刻雨、次第風雨甚、到巳刻迅風甚雨如灑、天甚暗、家屋之木片揚飛而覆天、午後未止、未刻風少靜、夕晴、午刻泓亦滿庭、今日江戶中之大風、六十年前難波役前年有此風云々、鐵炮洲邊大潮、水上座敷上、永代嶋邊死人甚多、江戶中騷動、本所之土民工商等、皆悲歎而遁去云々、營中外部甚損、大名高家之家宅、屋上皆破損、津輕主、大村主、松浦主等、各發使价訪風破、

七日、晴、爲咨昨日之大風雨、到淺野内匠頭亭、内匠頭去月十八日任官十四歲家宅甚損潰、道歷松浦主津輕

主、終到八郎左衛門宅而歸、夜來雨、江戶中之繙素悉濕雨、今日畫師法眼永真送四時之繪、

黃蝶群飛互四五尺、長四五町、自東北飛到西南、營中黃蝶等死而爲蟻、三四御丸羽蟻群飛、

八日、曇、朝微雨、在宿、今日大村丈、既久百五十丁、是依家屋損故也、

九日、晴、今夕吉夢、松浦公亦夢一畫中藏山之五字云々、十日、晴、今朝祝吉夢之告、

十一日、晴、到松浦亭、石谷市右衛門來話、石谷氏此間病惱、依秋氣而來禮

十二日、晴、到大村氏亭、寄淺野主亭、今日將軍家有御昇進之禮、凡自今日到二十四日、如元日之禮、

十三日、雨、晚甚、及夜大雨疾風、今年無此雨、庭中潦水甚滿、

十四日、大雨洪水滿門前、晚雨止、凡此間深川本庄等、有_二高潮洪水之風說、男女縑素爲_レ群而遁去、凡五三日、懼_二去六日之洪水_一也、

十五日、晴、十四日之御禮、依_レ雨而延爲_二今日、今曉火事出來、京橋邊無_レ風而甚燒、十六日、晴、今朝賜_二家僕于堦飯、

十七日、晴、今日賜_二僧三百餘人時服_一云々、今日到_二西山六郎兵衛亭、本多備州來會、歸路到_二小笠原壹岐守亭、

十八日、殘暑、天氣能、晝後到_二松浦太守、及_レ晚而歸、太守昨日到_二堀田丈_一云_二予事迹、

十九日、晴、無_レ風、在宿、午前富田武兵衛、高橋等來、今日堀田備中守移_二拜領之宅、

廿日、晴、無_レ風、在宿、喜多村送_二鮭魚、廿一日、晴、南風、夕小須賀佐兵衛_{松浦主家人}來話、

廿二日、朝拜_二神主、燒香奠茶、食時上_レ食、詣_二宗三寺、訪_二多田藤大夫、徑到_二稻垣信州亭、歸路問_二小笠原佐渡守、是去六日之大風、家屋悉破損也、昨日杉浦內藏允爲_二御留守衆、_{板倉市正迹}

今日 嚴有院殿御在世之間、御暇被_レ下候大名御暇、四品以上御腰物拜領、諸大夫時服拜領、津輕太守御暇被_レ下、時服十拜領、息平藏主初而御目見、

廿三日、晴曇、到_二淺野主、_{去五日赤穂大風雨洪水、領地一萬石餘損失、}到_二津輕太守、述_二昨日之祝儀、從_二津輕主御父子_一御

使者、御樽、肴、時服等賜_レ之、午後淺野與兵衛來話、示_下堀田備中守所_レ示_二之代官、條目持參、夕水野宇兵衛來話、讀_二難波十問之答書、夜中微雨忽晴、

廿四日、晴、在宿、昨夜松浦太守夢想隨陪_二二字、今朝夙書_レ之賜_レ予、山崎治部右衛門來問、今夕野妻到_二喜多村宅、山崎等有_二晚炊、

廿五日、晴、晚到_二松浦太守、壹岐守來會、今夕大嶋雲八來問、予他行、萬介在宿、

廿六日、晴、夕瀧川右京、熊澤右衛門八等來話、今日牧野備後守移_二徙新宅、

廿七日、晴、本多備州駿府御暇、息萬之助御目見、爲_二祝儀_一兩樽、嘉看到、今日小笠原壹岐守等御暇、

廿八日、晴、夙奉_二箱肴於本多丈、依_二昨日之祝儀_一也、今夕小笠原佐渡守來話、廿九日、曇、夜來微雨、依_二風氣_一在宿、野妻到_二八郎左衛門宅、

晦日、曇、在宿、八郎左衛門來話、此間甚暖氣、櫻花所々有_レ之、

今月六日之津波、江戸御入國以來無_レ之、深川邊之家屋皆潰流、凡死人三千餘、_{町中七百餘人、代官方千七百餘人、寺社武家方之}

_{死、不知其數云々}、海邊之者云、六日之朝南風之節、津波二打通、其餘波入_二江戸表_一云々、此二波到_二三遠、三州吉田、西尾、田原甚高波、遠州橫須賀、濱松等甚夥、荒井御番所無事、其外皆流潰云々、橫須賀二郭山地上_二水上、死人五六百人、潰家三四十軒云々、吉田亦然、死人少、駿州吉原、原宿入_二

水下、死人不_レ知_レ數、船涉_二屋上_一、凡十餘日間皆以_レ舟渡_レ之、崩家流_二亡富士根方_一云々、中國五日洪水、奥州秋田、津輕邊、初八月廿五日洪水、當月十四日又大雨洪水、上方亦十四日洪水云々、但九州初八月廿一日洪水大風、然不_レ如_二當方_一、依_レ之西國滿作之由、大坂之米代五十六七匆云々、九月

朔日、晴、朝奠、拜_二三神并神主_一、夕雨、今曉予有_二夢想_一、ヨロコヒモ知識モアリヤコノイヘニ、此句甚有_レ感、故書_二是於一紙_一、與_二萬介_一云、予家無_二知識_一而有_レ慶則不_レ爲_レ喜、家之歎也、有_二知識_一而從有_レ慶、可_二以祝_一也、

今日萬介爲_二成童之祝儀_一、朝拜_二神主_一、謁_二兩親_一、凡國俗制額奉_レ快、爲_二成童之形貌_一、爲_二祝儀_一也、與_二饗應於家僕等_一、朝、

八郎左衛門、岩之助到、喜多村監物內室亦至、各相聚而祝嘉、有_二饗應_一、各有_二祝儀之音物_一、凡終日

有_二門人等來問_一、今日與_二大星目錄於津輕太守_一、入郎左衛門等亦與_レ之、山崎治部右衛門、川内山等朝來遇_二饗應_一、

津輕太守與_二賢息平藏主_一到禮、平藏主去月二十二日謁_二將軍家_一、故今來問、賜_二御太刀馬代黃金十兩_一、及_二鄙奧_一出_二吸物_一有_二獻盃_一、雜煮之上吸物、午

前小笠原壹岐守來問、是依_二近日發駕_一也、晚自_二平藏主_一、使_二小倉作左衛門_一、賜_二萬介時服_一、野妻紗

綾五卷、

二日、大村太守、使_二建部所左衛門饋_一萬介銀三枚箱肴、小笠原壹岐守亦發_レ价賜_二目錄之音物_一、今日

與_二萬介_一到_二津輕太守_一爲_二暇乞_一、且爲_二昨日之禮_一、太守悃遇有_二饗應_一、膳獻盃之上、賜_二萬介于腰刀_一、了戒、三枚代、

三日、曇夕雨、此間有_二川口見分之仰_一、御目代高木善左衛門、彦坂源兵衛兩使、乘_二御船_一所々見分、

且巡_二檢川端之屋敷_一、

四日、晴、山崎治部右衛門、川内山等來話、有_二朝饗_一、五日、晴、今日到_二松浦太守_一、壹岐守肥太守來

臨、及_レ暮而歸、

六日、晴、此間依_二風氣_一而在宿、今日與_二村伊與守家人千田彌兵衛來問對話_一、千田云、嘗聞_二高橋十

郎左衛門教、兵學唯有_二勝否之二字_一、常勝則易、不_レ負カコトク可_レ勤云々、千田朝夕守_二此教_一、事

主亦本_レ不_レ負、心術亦然、唯如_レ不_レ負_二利欲_一、不_レ負_二不義_一、謹_レ之慎_レ之、年齡既_二踰_一六旬、而常守

如此不_レ怠云々、予感_レ之、及_レ夜而津輕玄蕃來暇乞、

七日、自_二昨夜_一雨北風、今日津輕太守發駕、發_レ价祝_レ之、雁一羽并雲雀十、北風雨終日不_レ止、及_レ夜而

甚、終夜不_レ止、今日從_二大村太守_一、賜_二萬介于武教全書_一、建部筆

八日、晴、明日加賀太守之家臣藤田八郎兵衛、山崎治部右衛門等、伴_二太守_一而發駕、使_二价賜_一鮮鳥

并鯛、將軍家今日上野御成、其次諸大夫群參、

九日、昨日大雨、及朝而尚雨、及辰刻屬晴、朝拜神主、三神、今夕熊澤五郎右衛門、與同氏右衛門八、瀧川右京、大河内彦七來、有蕎麥麵、

今日到淺野太守亭、從松浦太守祝重陽、貺鮭魚、大村太守价來、各來禮、今日到津輕太守、是太守公御發駕已後初而問之、

十日、晴、從松浦太守祝賀萬介留袖之儀、貺樽代、箱肴兩種、萬介貺羅紗三間、野妻貺交肴、今晚本多備前守為駿府暇乞來臨、有饗應、横屋宗與、龜田堅貞、菊池傳九郎來會、及半更而歸宅、

十一日、晴、午刻到松浦太守、萬介、八郎左衛門同道、太守貺萬介祝儀之嘉饗、且貺陣羽織、同壹岐太守來會、

十二日、曇微雨、及暮大雨、今日到大村太守亭、稻垣信州太守來會、今日松浦壹岐太守貺萬介賀儀數品、

十三日、晴、甚暖、庭前之白桃、豐後梅一兩花綻、夕熊澤右衛門八、瀧川彦七、同氏平馬來話、月甚明白、

十四日、曇、朝拜神主、食事上食、辰上刻詣宗三寺、訪濟松寺、了心等、及暮而雨、今夕

設香茶於妙圓、

十五日、雨、朝拜願神及神主、今日令船井淺右衛門到宗三寺、妙圓大姉之忌日也、

十六日、晴、朝令家僕就饗食、今日甲府殿十萬石御加增、今夕中山外記來話、及饗膳、水野作州老臣

十七日、雨、朝賀萬助誕生日、饗家僕、夕到八郎左衛門宅、八郎左衛門到津輕也、

十八日、朝霧、已刻長閑晴如春、今日御能五番、(寶)保生大夫、東北之終卒絕入倒斃、今日松浦太守、

南部大膳大夫兩人、入四品之座饗應、松浦太守辱其義、(儀)故、此夕到松浦太守賀之、今日為暇

乞招饗八郎左衛門、伴食之者十人、夕雜煮吸物、今日有口切之賀、

十九日、晴、甚寒、今日到淺野内匠頭亭、徑問丹羽若狹守、到本多備前守亭、備州今年勤番駿

府、故為暇乞到彼亭、太守甚設饗膳、出盃臺、有獻酬、西山六郎兵衛、田村藤大夫、同氏八

郎左衛門相伴、幸若八左衛門來為祝舞、有新院崩御之沙汰、

廿日、晴、稻垣信州來話、及晚炊松浦太守來臨、朝地動、

廿一日、雨、朝地動、夕到松浦壹岐太守亭、是依萬介袖留之祝儀也、八郎左衛門、平馬、右京

來、今日評楚項羽本紀、羽云、天亡我、非用兵之罪、太史公評云豈非謬乎、

廿二日、晴、令理左衛門詣宗三寺、夕八郎左衛門暇乞來、

廿三日、晴、昨今朝薄霜、今朝八郎左衛門津輕發足、以飛脚告賀、今夕八郎左衛門泊糟壁、草下、川内山與五右衛門、三木惣右衛門、春積等到、有晚炊、治具用雁并鮭魚、土圭師半兵衛到、糺土圭、

廿四日、晴、今日磯谷十介從糟壁歸、昨日送八郎左衛門行也、本多備前太守今曉發駕、因駿府之御番也、晚送一封之書并一樽鮭、是祝今日之發出也、今日伊藤外記參謁、石川若州家人

廿五日、晴、夕到八郎左衛門宅、廿六日、晴、寒氣甚、貴田玄蕃來話、大村太守發价問予、

廿七日、晴、今夕到大河内彦七宅、松浦太守聞予之來、光臨之、萬介、十介相伴、為漢三傑之評、凡國家之人臣、未嘗無三傑之撰、

廿八日、晴、稻垣信濃守昨日御暇被下、為暇乞來臨、閑談數刻、今日、愚妻到喜多村留守、夕水野宇兵衛、三木惣右衛門來話、有餛飩、廿九日、晴、

凡今月十八日、廿二日、同三日、御能三度之内、各有過失、十八日、寶保生大夫將東北曲舞之内絕入云々、廿二日、舟辨慶御能、長刀落白砂、廿三日、ツレノ役者奔而落地、其日雌雉飛過舞臺、而當垣而死云々、

十月

朔日、晴、南風少暖、朝拜三神、辰中刻到淺野内匠頭亭、直到本多備前太守留守、問町野壹州、且到喜多村留守、本多備前自沼津通書、今日萬介チイサ小刀之削見出納焉、

二日、晴、夕川内山、三木來話、議度量數稱、視觀察等之事、今夕玄猪、松浦太守賀、今夕饋玄猪之餅、

三日、曇晴相交、夕晴有月、晝後到松浦太守、今日澤内藏助松浦家臣獻碗飯、故予亦到此、及暮而歸、壹太守、織部來會、山本唯右衛門為暇乞來話、

四日、晴、朝見大燈國師真迹、澤庵、青岸等之奥書有之、所謂地後莫聽冰、又曰、勿涉異論、予昨夜有所疑、今忽得此證狀、甚安來、殆可謂奇異、今日為暇乞到稻垣信州亭、道歷小笠原壹州亭而寄之、

五日、曇、少雨忽止、夕晴、澤内藏助來為暇乞、今日發平戶、

六日、晴、朝見霜、朝大石賴母助送口切之茶并梟二羽、美柿一折、午前丹羽若狹太守賜糟漬鮎一桶、藤田八郎兵衛為暇乞來話、今日發足、夕河内山氏、森氏來會、問兵法數條、德永加兵衛來問備圖件々、今日御能、日光門跡、增上寺等登城、

七日、晴、申刻小雨忽晴、夜北風、今日小笠原佐渡守來、問兵法結陣之說、

八日、晴、熊澤右衛門八爲_二明日之禮_一來話、今日松浦太守來臨、閑話數刻、
九日、曇、後晴、今日到_二熊澤右衛門八亭_一、松浦太守來臨、萬介、十介到、城沙形卅六、張_レ幕設_二城圖_一、飾_二粧軍器_一、且有_二鎧等_一、今日牧野備後守加祿壹萬石、今晚七ッ過見_二彗星_一、東角星ノ上相并出、其帚之氣及_二半天_一、

凡此間客星之沙汰有_レ之、當月初出現也、甚遲行、歷_二五三日_一而見、甚下_レ東、而其吐氣亦甚薄、十七年前辰年十月十日、出_二現軫之左轄_一、其氣漸_二二三尺_一、今度所_レ吐之氣及_二半天_一甚薄、其年甚寒雪、見_二年譜_一、

十日、晴、右衛門八爲_二昨日之禮_一來會、十一日、晴、今日德松君被_レ爲_二入_二西御丸_一之御沙汰、
十二日、晴、朝飯後到_二松浦太守_一、太守在_二賴母主亭_一、到_二彼亭_一、有_二吸物獻盃_一、徑到_二淺野内匠頭亭_一、夕到_二大村太守亭_一、太守設_二口切之茶會_一、及_レ暮而歸、

十三日、從_二今夕_一精進、明日爲_二妙君之忌日_一也、今日野妻詣_二宗三寺_一、夕設_二茶香燭菓_一、自洗_二饌器等_一、

十四日、晴、未明設_二燭燒香_一、奉_二茶菓_一各拜_二神主_一、夙獻_二膳_一三汁七菜酒湯菓餅、辰上刻、與_二萬介_一、三木惣右衛門等、到_二宗三寺_一、寺僧設_二蕎麥_一、

十五日、晴、如_レ例拜_二神主_一、三神、今曉之夢、忽洗_二塵裏纓_一云々、今日從_二赤熊方_一、吉兵衛弟來、(カ)

十六日、晴、今日賀_二一昨夜之夢想_一、賜_二家僕于料理_一、貴田玄蕃捧_二兩樽雉子三羽_一、今日從_二淺野太守_一、(聖カ)守_二貺_二口切茶并雁一羽_一、東一郎兵衛今日下著之由有_二其告_一、今日引_二別野之大根_一、

十七日、晴、此間嚴寒散_レ雪而晴、一兩日甚寒、爲_二天氣快霽_一、今日遣_二吞_一胃并唐皮於岩井方、今日菅沼主水來話、夕飯後小笠原佐渡守來會、問_二全書第二_一、

十八日、晴、朝吉住明庵來、丹羽玉峯之書到來、二本松之雉子三羽音問、玉峯者左京大夫光重也、去年隱居剃髮、號_二玉峯_一也、東一郎兵衛從_二備後_一來、今日來話、太守作州因_レ招_レ焉也、夕野上彦右衛門來、今日從_二津輕太守_一尊書

二通、去七日、八郎左衛門、久保田領莉和野一宿、
十九日、晴、甚寒霜多、今日到_二瀧川右京宅_一、松浦太守父子三人來臨、予及萬介與到、及_二夜陰_一而歸、

廿日、晴、甚寒、東氏送_二備席三十枚_一(後脫カ)、從_二京都_一戶田越前太守貺_二口切之御茶_一、今夜刁刻新小田原町

三丁目出火、西北風甚、餘炎及_二佐竹氏宅_一、及_二銀町之築地_一而止、廿一日之辰刻後消、今夕貞心來

廿一日、朝甚風天晴、今曉之火事加勢之大名、出_二火事場_一、夕大嶋雲八來話、有_二湯餅_一、及_二戌刻_一而

歸、夜奉_二松浦_一之書數通書_レ之、今夕津輕太守七日之尊書到來、大村太守賜_二頭巾、襟卷等_一、
廿二日、晴、朝拜_二神主、燒香奠茶、食事上_レ食、令_二渡邊理左衛門詣_二宗三寺、饋_二野雉并本庄菜
於大石頼母助_一、及_レ夕河内山、毛利氏、三木等來、有_二兵談_一、

今日、駿河御番水野長門守組中四人御改易、兼松彌五左衛門、西尾十左衛門、三宅内藏助、沖津左
衛門、當三月出_二三保浦_一而過_二刻限_一而歸也

廿三日、晴、南風、在宿、淺野與兵衛到、大村太守賜_二綿子、夕平馬來話、

廿四日、晴、今日淺野與兵衛詔所之杉原到、河内山等到、八郎左衛門室到、今日萬介始講_二全書序
段_一、

今夜夢、觀_二丹羽玉峯送_二櫻一枝、書簡_一、是櫻一枝、似_レ梅白、而花大而不_レ開、其舊_二蓄_レ大也、其書簡、
薄樣之打曇而書少邪也、其後此花名_二更衣_一云々、仍_レ之以_二更衣之名_一、欲_レ詠_レ歌、予以_二更衣_一爲_二狹
衣_一、妻見_レ之必爲_レ不_二狹衣_一、先取_レ紙艸_レ案、書_二其恩惠之盈_一家、人々有_二喜氣_一、而將_レ詠_レ歌之所夢
覺、其後又到_二玉峯之亭_一、與_二萬介_一相謁、其日玉峯宅有_二猿樂等_一云々、夢中始終相照、甚吉事云々、
案更衣者易_レ衣也、脫_二舊衣_一著_二新纓_一、是家門之大吉事也、十四日夢忽洗_二塵裏纓_一、此夢想相照、

廿五日、晴、有_レ風、朝熊澤右衛門八來、東一郎兵衛來話、今日御近習御小姓衆御加増、以_二板倉内

膳正_一爲_二德松樣御用聞_一、

廿六日、晴、甚長閑也、今日松浦壹岐太守口切、肥太守到臨、因_レ之予亦到_二彼亭_一、及_二夜陰_一而歸、
今夜火事兩度、凡自_二去月廿一日_一大雨嚴冷、龜_レ手、雖_レ無_レ風、家々皆談_二火災_一、

廿七日、嚴冷無_レ風、淺野與兵衛方告_二印工之事_一、故以_二其字_一與_レ之、廿八日、晴、甚寒、今夕田
村藤大夫來話、

廿九日、晴、今夕八郎左衛門下著之左右、津輕公以_二飛札_一告_レ之、

晦日、晴、甚寒、今日以_二書翰_一辱_二飛札之義_一、今夕東氏、河内山等來會、

廿三日四日、泉州堺二十五丁餘燒失、政所亦燒失云々、

十一月

朔日、晴、朝燈奠拜_二神主願神_一、家僕禮、辰下刻到_二淺野内匠主_一、徑到_二津輕君_一、寄_二監物留守_一、八
郎左衛門留守、今日愚弟平馬賜_二加増_一爲_二七百石_一、依_レ之到_二松浦亭_一謝_レ之、

二日、晴、小笠原佐渡守來話、談_二全書行列營法_一、申刻歸宅、獻_二晚炊_一、京都大善院住僧來、今夕
見_二白氣出_二西方_一、從_二朔日之晚_一出現云々、其銳氣到_二半天_一、出_二斗牛之間_一、自_二日暮_一甚白見、今夕本
庄之火消役、松浦太守、南部遠江守承_レ之云々、

三日、晴、甚寒、田村藤大夫到、夕到松浦亭、昨日賀本庄火消役被仰出、今日八郎左衛門老母來話、有晚炊、今夕見西方之白氣、自朔日日々廣大、今夕亦白(氣)現中分相別、

四日、曇、夕雨、到夜雨止、野妻到監物宅、

五日、晴、甚寒有風、及暮而彗星出現、其氣及半天、自朔日到昨日、唯白氣出現、今夕初見爲彗星、先月十四五夜之後、近日而不現、而又朔日已後出現、先月氣建西、今月自西方建卯方、殆半天、今夕甚麗壯、可以觀之、人皆群見、野上彦右衛門來話、

六日、晴、午後南風甚、松浦織部口切、故到彼亭、松浦肥太守、同壹太守來臨、因南風而及晚申下刻靜、今夕又見彗星、自昨日其氣依南甚麗銳、今日藤井又助飛脚到、佐藤平太左衛門到、

七日、晴、寒甚、船生源右衛門、戶澤彌五兵衛來會、曾根孫兵衛自駿府歸後初到、夕彗星出現、

八日、甚寒、晴、此間朝霜殆如薄雪、小笠原丹後守來話、今日有風呂、夕彗星出見、甚爲壯觀、昨七日得夢想之名句、久堅の雲のうへ人かよふらし、明日爲啓之饗家僕等、今日藤井又助飛脚歸、與返書并饋綿子、脚力賜青銅五十疋、小笠原丹後守來話、

九日、晴、今朝、祝久堅之夢想、賜家僕于饗應、已刻到于喜多村留守、直問石谷市右衛門病、且到戶田八郎兵衛宅、當月三日爲御目付、即日來告之。又問戶田日州、晚到菅沼主水宅、截鶴有茶餉、小笠原

佐渡守來會、十日、到松浦太守、甚寒無風、

十一日、今朝喜多村監物女共有瑞夢之告、饋里魚二頭、今日正月事始、今日井上吉右衛門來爲家僕禮、晚松浦太守祝口切之茶、村松伊織與茶道具等持參茶壺、切口而出初昔一袋、有數品之美殺、夕行謝之、

十二日、晴、今日桂昌院殿移渡三丸御所、諸大名賀之、爲御迎、牧野備後守、堀田備中守行之、爲上使土井能州到三丸賀之、銀二百枚、綿三百把被進之、今到狩野法眼、直問淺野内匠主、晚到大村太守亭、

十三日、晴、長閑、晚到松浦太守、夕田中清兵衛來話、

十四日、晴、少有風、川内山、毛利等來話、有蕎麥、夙拜神主、食事上食、有微恙、令邊理左衛門詣宗三寺、

十五日、今曉喜多村監物内室小產、因之予并妻共到彼亭、氣分快愈、及暮而歸、

十六日、晴、今日愚妹貞因大姉忌日、素食燒香、奉茶膳、萬介到喜多村亭、

十七日、快霽、到喜多村亭祝三夜、夕河内山等到、今夕彗星、在室宿下、其氣有赤色、其先傾北如長刀、

十八日、小寒晴、甚暖、在宿、今日饋臘臘獸於所欲、野妻到、自喜多村亭、自津輕便至、二日則返狀、彗星如昨日、

十九日、晴、南風甚、在宿、此夜刁上刻谷中出火、有北風、而將到上野、及曉而消、

廿日、晴、有彗星、到室宿上、池田與一兵衛來話、酒井河內守家人

廿一日、晴、到八郎左衛門宅及監物宅、今朝祝賀、當月十六日祝瑞夢、而享家僕、有喜多村內室小產之事、故及今日、今日井上吉右衛門為家僕禮、自今來仕、

廿二日、曇、將雪而晴、夙拜神主、已上刻到宗三寺、問濟松寺病、夕到松浦太守、狩野法眼返所繪之維摩、大司令、王若水、則天后等、今日從加州大聖寺狀到來、松平飛驒守去十五日中氣、十六日少快、高橋去十日為足輕大將、今日內藤若狹守、堀田對馬守、各御加增三千石、傳德松君、今夕夢見春夏秋冬是根本之一句、

廿三日、晴、嚴寒、到會根五郎兵衛宅、酒井與九郎、神保平八來會、彗星在室宿之上、

廿四日、晴、嚴寒如閉、妻到喜多村宅而一宿、

此間淺野火消之廻番、有鈞命而佐竹右京大夫家人晝夜相廻、凡京大阪大雪過尺、奥州會津雪及一丈、彗星出現之歲必有大雪、辰年亦然、今日大久保內藏允送鯉魚二頭、

廿五日、晴、甚寒、硯水到晝而凍、夕妻歸、廿六日、曇、午前晴、甚寒、今日若君樣渡御三、御丸、板倉內膳正為御迎參迎、

廿七日、快霽、今日若君樣西御丸渡御、諸大名參賀、

東一郎兵衛來話、松浦彌一右衛門為口切饋嘉肴二種鯉子、蜜柑一籠、茶二種、今夕賞味、及晚

三木氏、毛利傳兵衛、河內山與五右衛門來會、河內山云、上野清水寺舞臺之上有左足迹、人皆以

為奇、群參而見之、自四五日已前有之、河內山見之云々、案、人迹之沙汰、今年營中之天井

二三所有其迹、甚大云々、是掃除之時人夫等所致乎、河內山云、加州金澤城中屋天井上、人迹度

々有之云々、清水寺之人迹初知之、僧徒為怪異、欲禱祈乎、

廿八日、快霽、建部所左衛門來話、

廿九日、快霽、到松浦太守、今日從西御丸、若君樣到御本丸、各拜謁、

卅日、晴、有北風、在宿、今日於營中、御太刀馬進、若君樣、長星離室而到奎口、凡今月

不雨、去四日晚小雨、甚寒無風、

晦日、立下馬札於和田倉橋、馬場先御門、外櫻田御門、是廿七日西丸御徙渡之節、下馬甚混雜、上下不別、乘輿或破、下人皆損傷、禮服皆損失也、君子云、政在豫之、事有失而後有此事者

皆非君子之政、但優過而不改、

極月大

朔日、快霽、拜_二兩神主及_三三神燒香、今日到_二淺野內匠亭、問_二喜多村監物留守、夕河內山、毛利、三木等來會、戶田越前守、稻垣信州、津輕太守以_レ書問_レ事、

二日、快霽、在宿、長星在_二奎星中、甚薄、三日、晴、甚寒、盛岡主膳來話、到_二午刻一硯尙凍、

三日月甚明也、四日、快霽、在宿、五日、曇、_口強雨雪、在宿、

六日、曇、雪少降、忽晴、奉_二歲暮之書於津輕、自_二昨夜一長星不見、有_レ月也、今日青山大膳息大藏蟄居之命有_レ之、父大膳亮訴_レ之、令_二大藏子久之助_三欲_二家督_一也、世以笑_二大膳亮之髮_一、(老力)

七日、快霽、到_二松浦太守、今夕長星不見、月明薄雲故乎大久保內藏允來禮、而不_レ合、(會力)吉野樞到來、_斗三

八日、曇、從_二已刻_一雪、今日御成無_レ之、終日雪、夜亦然、九日、晴、雪在_二屋上、家僕_三享燕、今日酒井雅樂頭御役御免、

十日、晴、雪殆消盡、今日從_二吉田_一貺_二白魚、今日東一郎兵衛來話、

十一日、晴、今日大村太守病後御禮、去月廿七日、野妻見_二吉夢雙鷹、故祝_二賀之、享_二家僕、今日及_レ暮而上野黑門、車坂等、トビ者_{八百}與_二石切_{千二百}等_一大鬪擊云々、

十二日、晴、松浦肥公來臨、夕大久保內藏允_{小笠原壹岐守家老}(來)、晚享_レ之、戶田八郎兵衛來話、今夕予有_二瑞夢_一、

十三日、晴、弔_二濟松寺、沖岳去七日死且到_二永正寺、此間有_二法事、十三日(元字)直到_二宗三寺、半更之後有_レ雪、朝晴、

今日津輕外記來謁、今日從_二津輕_一中朝事實之下冊到、今日同氏八郎左衛門饋_二口切茶於予、

十四日、晴、朝霧深、夙燒香拜_二神主、食事上_レ食、今日河內山來話、於_二北加藤田八郎兵衛、山崎治部右衛門有_二役替_一云々、夕有_レ風、今日甚長閑、鶯舌少囀、如_二二月之天氣、

十五日、晴、夙拜_二神主_三三神燒香、今日到_二淺野內匠頭宅、且問_二本多丈留守、喜多村監物、八郎左衛門留守、

十六日、晴、各享_二家僕、十七日、晴、今朝拂_レ煤、有_二風呂、祝_二節分、甚長閑也、

十八日、立今朝夙拜_二神主_三三神、賀_二立春、今日鶯舌數囀、甚有_二春天之氣象、今朝貺_二享燕於家

僕、是十一日因_二嘉夢健骨之相之一曲_一也、今晝後到_二大村因州、萬介初乘馬、相共到此、太守甚嘉

_レ之、享_二甚丁寧、塗木具三汁且賜_二腰刀於萬介、及_レ暮而歸、今日津輕君貺_二歲暮之賀儀、

十九日、晴、大久保內藏允來、大村主謝_二昨日之往問、今日井伊掃部頭有_二御先供之命、且又來年諸

國廻國士八人有_二其命、

廿日、曇、喜多村監物女共來、八郎左衛門女共亦來祝歲暮、予及晝後到松浦太守、及暮而歸、野上卯右衛門等來、

廿一日、雨、終日不止、晝小晴、晚又小雨、今日喜多村女共歸宅、今日津輕君賜雪魚雜肴、

廿二日、雪、今日先考正忌日、燒香點茶、食上食、七菜依有用事、令渡邊理左衛門詣三宗

三寺、晚津輕外記來話、因高梨善右衛門需、書武田法性院機山信玄字於像上、今日長九郎左衛門飛脚到來、綿廿把鱒子送之、

廿三日、晴、有北風、夕止、今日松浦太守到愚弟平馬宅、是依家老職并加增之祝儀也、石谷市右衛門來會、到夜陰、酒井雅樂頭可退別墅之由有之、河內守大火事之節、不可入百人組之番所之內云々、御氣色甚不_レ宜也、

廿四日、晴、今日練正月餅、遺祝儀於八郎左衛門、監物等宅、廿五日、晴、有北風、

廿六日、晴、有風、已刻迄紅霞埋日、今日酒井雅樂頭退別墅云々、

廿七日、晴、有風呂、賀年暮、河內山與五右衛門、毛利傳兵衛、三木春碩等來賀、

廿八日、晴、今日於評定所、越後之家老并加加爪甲斐守家人等之事評定、及夜陰亥刻、

評定所之
夜陰事、未
曾有云々、

加加爪甲斐守家人南條三左衛門事、內藤出雲守御預、伊奈左門手代四人亦御預、當分御詮議之由云々、

廿九日、晴、午後到松浦太守、有歲暮賀享、及暮而歸、

晦日、晴、甚長閑、各賀歲暮而來禮、大村太守祝歲暮、祝葉賜抹茶、里魚兩頭、松浦壹岐守、同

織部正、賀歲暮而來禮、今日戶田越前守使節直江宇右衛門來、是訪酒井雅樂頭塾居之使者也、

寄予宅而問安否、且送書狀并羽織地二端、及未下刻、金杉在家失火、及暮而消、佐竹等行消

之、

○今年閏八月大風雨、高潮津波、東西不作、米穀石九十目、百目、金壹兩六
斗云々無雜穀、大根、菜等、

來春必可爲飢饉云々、

○長星胄宿之上有之甚微、唯有其氣而已、

○今年甚寒、近年無之、霜厚冰甚堅、或硯水凍、或鬢水凍、此地未無如此之寒也、北國三十年

來之大雪、上方三川(河)皆大雪、三川已東不雪、

○越後紅雪、越中紫雪云々、其所土民云、大雪之時必有此事、今年五十年來大雪、越後途中二三

是下屋上之雪
故及之也、

(天和元年) 延寶九年辛酉 (九月廿九日改元) (六十歲)

正月小

元日、自夜半雪降無風、午刻屬晴、刁上刻禮服盥嗽燒香、拜大歲、歲德神、次拜宿願之尊神、唱呪如常朝、其後行祠堂燒香點茶、拜兩神主、賀歲旦之祝儀、出座敷著座、妻及萬介等著座、未明婢女等奉鏡餅如例年、各祝之、則奉羹有^{カシラ}三獻、^{子始之、而子終之、妻始之、而妻終之、萬介始之、而萬介終之、}夜未明、與萬介到松浦太守亭賀歲旦、其間雪甚深、到愚弟平馬宅而歸、卯刻、奉朝飯而有^{使者林作}三盃酒、又賀^{左衛門}三獻、松浦太守賀年肇而送^{左衛門}兩樽兩種、各賀年始來禮、大村太守以使者送^{左衛門}太刀折紙、營中西御丸御年禮如常御儀式相濟、今日奉書於津輕太守、且又酬書於戶田越前守、

二日、晴、朝賀如昨日、各來禮、讀書初如例年、松浦太守來禮、^{諸大名}於中亭奉羹、有^{裝束}三獻、營中之義式如例年、

三日、晴、朝賀如元日、今日與萬助為年始之禮、先到松浦壹岐守、織部正、徑行淺野內匠頭、大村因幡守、本多備前守、津輕太守、凌雲院、東漸院、歸路寄同氏八郎左衛門宅、所々有賀羹、

今日松浦壹岐守等來禮、今夕甚有瑞夢、別書之、

四日、晴、各來禮、已下刻小雪忽晴、今日賀年始之祝儀、招族親享之、^{八郎左衛門室、監物室、岩之助并田村藤大夫、野上彦右衛門}

^{門、東一郎兵衛、三木惣右衛門、高橋十郎左衛門、川内山與五右衛門}

五日、晴、今日松浦太守為年始之祝儀、享予及萬介、磯谷十介相伴、有羹祝之後有享膳、膳已後、出馬場而見乘馬數匹、及暮而歸、有獻盃、

六日、晴、為年越之賀、津輕平藏來禮、於中亭有祝羹、

七日、晴、今朝納門松、七種粥後朝飯、有獻盃、今日賀年始、到曾根五郎兵衛并田村藤大夫宅、今日西方富士根方ヨリ到八王子邊、如烽燧上天而不曲、^{風甚而烟尙直上}其度二三尺、而或曲折或

直、而十一所一時立上、恰如合圖之燧、人皆驚見、其內一兩所者烟甚多、是燒炭之地有此事、乎、又烟雲之氣乎、未分明、

八日、晴、朝拜道秀居士神主、曾根五郎兵衛等來禮、今晚因其願被召上酒井雅樂頭上屋敷、被仰渡酒井河內守、

九日、晴、今日萬介始講全書、戶田日向守來禮、今日依例月享家僕、晚享名主權三郎、松本屋十郎兵衛、暮小雪忽晴、

十日、晴、菅沼主水正、中西圖書等來禮、中山外記亦來禮、水野美作守家老已上刻拙妻到八郎左衛門宅、有三年始之享應、

十一日、晴、朝賀祝靈夢之告享家僕、去三日之夜、自公方家、賜色紙之題梅之御製歌歌忘、并被題惜日二字之御繪、謹而頂戴、故今祝之、

已上刻祝具足之圓鏡如例、先於料理間施新席、禮服之家僕昇鏡餅、備吉方、以弓弦割之、置之三方膳、上置慰斗、勝栗、昆布、予并萬介出座敷、向吉方歲德神大歳方祝之、其後有惣祝(儀)義餅、加赤豆居山折敷、向有田作、吸物鯛ノヒレ上菜勝魚、有三獻、今日八郎左衛門老母到上野、詣元三大師取圖、卜予之今年之事、

ウラカダニ 繇云、災軼時々退、名顯四方揚、政故重乘祿、昇高福自昌、

十二日、朝曇後晴、今日到淺野内匠頭亭、晚到大村太守、是為三年始之享也、

十三日、晴、松浦太守來臨、晚為年禮到濟松寺、松源寺、鳳林寺、宗三寺及了心等、歸路問寺尾太郎右衛門病、且到多田氏、夕行小笠原佐渡守亭、賀三年始、

十四日、晴、夙拜、神主、獻雜煮、有獻盃、食事上食、

十五日、晴、各來禮、拙妻詣元三大師、賽禮十一日之占、夕到松浦太守、

十六日、晴、北風揚塵、為年禮到丹羽若州、淺野隼人等、於菅沼主水宅有享、戶田日向守、町野壹岐守、石谷市右衛門等宅、各年禮、

十七日、晴、今朝到淺草寺、朝賀十一日之占瑞、大享家僕、野妻今日到監物宅祝年始、

十八日、晴、夕松浦角左衛門來話、十九日、雨終日不止、台德院殿五十年忌、增上寺御法事初、稻葉若狹守奉行

廿日、晴、無上野御參詣、松浦太守來臨、廿一日、晴、公家衆來著、傳奏屋敷、依增上寺御法祭今日拙妻到同氏平馬宅、

廿二日、晴、夙拜、神主、獻雜煮、有獻盃、食事上食、今日令家僕詣宗三寺、夕到松浦太守、

廿三日、晴、自昨夜南大風、今日甚大也、自去年壬八月六日已後之大風東西南北揚塵而不見、

廿四日、曇、北風、增上寺御成、一萬石以上東帶供奉、火事番衆不出、已後刻出御、午後刻還御

廿五日、晴、朝日有圓規、暈上有日光之出、夕毛利傳兵衛、河內山與五右衛門、三木惣右衛門來話、

廿六日、自朝雪、及晚甚、雪地上二三寸、迄夜不止、自舊冬初而大雪、今日到小嶋助左衛

門宅、松浦太守息織部正來會、今日評定臨時御寄合、有加加爪義之事、今日津輕之左右有之、同氏八郎左衛門任仕云々、

廿七日、晴、今日公家衆御馳走御能、御對顔御能一同有之、從津輕太守令笠岡主膳送書緘且太刀馬代黃金十兩、兩樽、兩肴、內方千疋一種、萬介五百疋一種、是告八郎於衛門去十一日爲家人被召出之、賜領知千石爲家老職、厚惠之餘、賜姓氏一字、改名於津輕大學上賀之也、吸物盃酒、今晚小笠原佐渡守來話、爲晚炊、田村藤大夫等到賀、

廿八日、晴、賀津輕大學亭、到車坂宅、直趣津輕大守謝之、太守及桂林院、平藏主並至、路過戶澤氏、至田村藤大夫、終至松浦太守而歸、桂林院等之使者音物來、東氏來話、因東氏告大學之事於大嶋雲八、

廿九日、大雪、終日不止、今日公家衆御勅答御暇、

二月

飢饉之體、町中新乞食非人所々有之、米以二兩代五斗餘、凡百俵五石七十兩云々、寬永飢年僅五十二兩、其後五十八兩、唯今七十兩、實未曾有云々、

朔日、晴、朝拜兩神主、祝願神、有家僕之禮、今晝與萬介至平馬宅、是今夕因享松浦

壹州太守也、及夜而歸宅、今日津輕太守飛脚到、

二日、晴、到大石賴母宅、是大石近日依到赤穗也、有三廻國使之事、到淺野内匠主、經過本多備前守宅、過石原文、告津輕大學之事也、

三日、晴、今日飛脚發江戶、爲謝大學之事趣津輕也、今朝賀大學之事享家僕等、

四日、晴、南風夕雨、今巳刻騎馬到久保玄貞新宅賀之、到町野壹州告大學事、到西山丈報年禮、到戶田日向守、同八郎兵衛宅、晝後過貴田孫大夫宅、是依兼約也、歸路有雨、

五日、春晴曇、今日到松浦太守、萬介、有孟酒也、村松伊織、熊澤右衛門八、大河内彦七、才庵等相伴、太守賀大學之事賜享應、豫投書於赤穗華岳寺、今井小四郎水戸宰相家人來

六日、曇、今日同氏千介十三回忌、燒香、賜素食於家僕、告之、令燒香、今井小四郎來話、此夕丑刻、山王石鳥居之笠石顛倒、石有血、諸人見之如堵、無風無雨無地震、或云、血者蝙蝠之血云

七日、晴、夕到松浦太守、八日、晴、大石賴母爲暇乞來話、伊藤新左衛門爲暇乞來石川若狹守家

九日、晴、今朝賜享於家僕、今日申下刻於評定所、加加爪甲斐守、松平土佐守御預、息土左守、兄石川若狹守御預、伊奈左門、上杉彈正少弼御預、甲斐守家人南條三左衛門、左門手代等遠嶋、是

甲斐守十四年已前、三千石之御加增地水帳、加加爪云請取之由、左門手代箕浦忠左衛門等云不渡之、雙方度々對決之上、各舊冬廿八九日、手代并南條御預之上、正月中御僉議、終如此云々、十日、晴、朝田村藤大夫來話、今日甚暖氣、東一郎兵衛享予、水野宇兵衛、淺野與兵衛、同氏平馬、岩之助、毛利傳兵衛等來話、

十一日、晴、暖氣、山崎治部右衛門松平加賀守家人、舊冬爲大足輕之頭爲舊冬役義之祝儀(儀)使价來、送樽代箱肴等於予及萬介、河內山與五右衛門爲先容、今夕初服補天丸、午後刻到松浦太守、有蕎麵、夜中雨南風、

十二日、雨晴甚暖、今朝賜享於山崎氏之使价、已刻到淺野太守、是依先日預加加爪甲斐守宅也、徑到津輕太守、問伊奈左門之事、夕東氏來話、

十三日、北風甚寒、晝已後屬暖、原半平來話、今日於二御丸御能、慰桂昌院殿、此夕昴與太白星相並、其間四五寸、太白在昴南、十四日、晴、朝拜神主、食事上食、令家僕詣宗三寺、

十五日、曇、朝拜兩神主及三神、各來禮、林吉右衛門與多田藤大夫到、十六日、晴、在宿、貴田長大夫室到、十七日、曇、喜多村監物內室到、晝少雨忽晴、

十八日、晴甚冷、大學室來、俱訪戶澤彌五兵衛、及暮而歸、今日田中孫十郎到、

十九日、晴、平馬室到、甚冷、今日保科筑前守隱居、十四郎相續、於松平筑州御祝儀之御能有之、今日御使役四人被仰付、中坊長兵衛、城小四郎等、

廿日、晴、在宿、東氏來話、田村藤大夫到、所謂太守脫黃金且及拜借今日女房小川到會在戶澤能登守所廿一日、晴、今日稻荷大明神祭禮、拙妻與監物室到大學所、午刻微雨忽止、今日土井能登守御役御赦免、

廿二日、晴、朝拜神主、燒香點茶、食事上食、已刻到宗三寺、訪多田藤大夫、一昨廿日之夜多田近所火災、南風今日松平日向守、拜領板倉內膳正本屋敷、即日移之、夜中南風甚暖、

廿三日、晴、自夜中南風甚暖、夕到松浦太守、歸路依南風甚而廻自兩國橋、廿四日、晴、自夜中雨甚大、自今日大工八郎兵衛來修營作、今日戶澤彌五兵衛家內來、享之、夕雨、

廿五日、終日雨不止、北風甚寒、今日堀田備中守加增五萬石、合九萬石賜下總古河城、板倉內膳正加增壹萬石、賜岩付、土井周防守所替勢州鳥羽、元古河阿部對馬守所替丹後宮津、元岩付奈須遠江守賜烏山二萬石、元奈須一萬二千石備中守、以仰改筑前守、

廿六日、晴、甚寒、朝到松浦太守、三浦平大夫及水野宇兵衛等來話、今日戶田越前守從京都下着云々、

廿七日、晴、今日酒井雅樂頭隱居、十三萬石河內守、二萬石下野守、河內守拜領之高者被召上之、

廿八日、晴、到戶田越前守亭及石谷市右衛門宅、今日戶田越前守御禮、阿蘭陀人御禮獻物如例、

銀千枚分、到大學、監物留守、廿九日、雨、

晦日、雨、到大村太守及淺野内匠亭、及申刻歸宿、東一郎兵衛、三木陪席、

二月甚旱、河無水、穀以一兩易六斗、飢民甚多、或云、飢死自數奇屋橋迄二十町餘四十人餘云々、車善七積屍於舟而棄之嶋云々、

三月小

朔日、終日雨不止、夕甚風雨、夙拜神主及三神三寶、家僕等有祝禮、各祝桃源之佳節、

有年魚、干鱈等之祝儀、今日松平右衛門佐、黑田、例年二月廿八日御暇云々、松浦肥前太守、大村太守御暇、依之

爲祝儀到松浦太守亭、甚雨、

二日、細雨、夕止曇、東氏、三木氏來話、有晚炊、夕河内山、毛利氏來、

三日、曇、各來禮、夙燒香拜兩神主、且奉拜願神、今日在宿、依雨天也、四日、朝細

雨、晝後屬晴、戶澤、三木來話、

五日、朝晴、夙禮服而到松浦太守、太守亦著禮服、床具足櫃上置恩賜之御衣、白綾有御紋、旁親筆

之素絹之中文字、風雲易向人前暮、歲月難從老底還、是朗詠歲暮部、春道詩也、傍有御諱、此二色、此間牧野備後守

附與太守、殆不異拜領、爲示之予、有今朝之招、綾御衣之切二賜予、又御切二萬介拜領、甚

以奉恐感、再三頂戴、有饗應盃酒、正月三日之夜、有惜日之瑞夢、今日所拜之御親筆、歲暮之

二句、甚協惜日之意、甚奇々々、

六日、曇、夕晴有北風、遠山庄大夫來、今日尾張殿御禮、酒井河内守續目御禮、

七日、晴、北風甚寒、相庭丈右衛門、平山勘兵衛來、及暮津輕太守去三日發駕之左右有之、今日

公家衆對顔、

八日、晴、夕到戶田越前守亭、閑談數刻、亥刻歸宿、太守去月末六日下著、廿八日御禮云々、及

曉增上寺門前失火、一町云々、

九日、晴雨、今日爲内庭之屏、予有風恙、今日牧野備後守爲上使、到三家并甲府殿、是以老

中爲其取次也、

十日、晴有風、今日於御城御能、爲公家御馳走、

十一日、晴、甚暖氣、曾根五郎兵衛等來、及夜而林九郎右衛門來話、今日松浦太守所賴之旗之招出淺黃色、書天人之三字一絹爲三字送之、

十二日、晴、甚暖、著一衣、今日勅答、今日淺野内匠到松浦亭、予爲案内者到彼亭、夕雨、今日新造學問所之天井、

十三日、今日普照大姉正忌日、夙燒香、甚暖、皆人著帷子、今日塙界屏、庭前之櫻花皆散、

十四日、曇、夙拜神主、食事上食、今日學所席改之、壁壇上、在宿、令渡邊理左衛門詣宗三寺、夜中大雨、

十五日、朝雨、午後屬晴、夙拜神主三神、在宿、十六日、雨、

十七日、晴、到淺野内匠頭亭、訪高橋留守、今日上野御佛殿笠石到淺草橋、而則引之、酒井左衛門尉勤之、役夫貳千餘云々

十八日、晴、今日笠石到上野御佛殿、及暮而松浦彌市右衛門來話病後三郎介爲暇乞來、蕎麵及有享食、熊澤右衛門八、大河内彦七等來、今日飛脚發宇都宮、今日西山六郎兵衛來、

十九日、午後雨、及暮而止、今朝夙燒香、昌頓正忌日、午後松浦肥前太守爲暇乞來話數刻、廿日、晴、到松浦太守爲暇乞、萬介召連、

廿一日、晴、今日津輕太守參府、依之及晚到彼亭、徑到大學宅、及晚津輕大學、同監物來禮、太刀折紙持參、

廿二日、夙拜神主、朝到松浦太守、太守今朝發駕、松田五郎左衛門太刀折紙持參、及夕大學、平馬、三木惣右衛門來、今朝發飛脚、訪松浦公於戶塚、

廿三日、曇暖、到大村太守爲暇乞、廿四日、晴、今日大嶋雲八丈與息圖書來會、圖書太刀馬代今夕到津輕太守、有蕎麵、

廿五日、晴雨、廿六日、晴、廿七日、曇、甚暖、夕小雨忽止、廿八日、甚暖、夕到津輕太守、謝津輕大學爲家來、以三太刀馬代今日赦田邊出雲守町奉閉門、

廿九日、晴、甚暖、今日德山五兵衛、市岡五左衛門御勘定奉行水野但馬守堺政所御目附宮崎勘右衛門、日根野猪十郎、御步行頭牧野傳藏、御馬屋方須訪部彦兵衛其外、以上十一人御役御免、

今月米值同先月、西國、中國甚飢饉、土民飢死甚多、北國亦然、越前飢死萬餘、飢民四五萬、自三遠(東カ)以來者不然、江戶飢民不多、

四月

朔日、晴、霧及午而不止、夙拜神主并三神三寶、辰下刻到松浦太守、訪留徑到淺野主、

已下刻歸宿、松浦壹岐守來禮、有_二才德之談、夕毛利傳兵衛、河內山與五右衛門來、有_二蕎麥、今日津輕太守參勤之御禮相濟、令_三小倉作左衛門贈_二賜土產數品、

二日、曇、晚雨、在宿、船生源右衛門來話、三日、雨終日不止、堀九兵衛來、堀者土井周防守家來、勘左衛門也、今度依所替自_二古加_一到相庭丈右衛門書音、且祝_二大學歸國_一送_二嘉味、

四日、晴、五日、六日、七日、晴、已刻到_二津輕公_一、有_二晚炊、

八日、晴、貴田長大夫來話、於_レ奧有_レ享、東一郎兵衛、三木惣右衛門來、九日、晴、今日小笠原佐渡守來話、

十日、晴、今日津輕監物來會、有_レ享、今日於_二御丸_一御能、公方家自_二三番_一爲_レ能、

十一日、今日松平加賀守御禮、野妻到_二津輕大學宅_一、十二日、晴、到_二松浦壹岐太守_一、

十三日、晴、甚暖氣、足_レ著_二暑衣_一、在宿、今日初葺_二長屋_一、自津公送_二覆盆子_一、又脫_二津久井_一廿牧野角左衛門、田村武兵衛來、

十四日、晴、朝拜_二神主、令_三吉左衛門詣_二宗三寺_一、十五日、晴、夙拜_二神主、且奉_レ拜_二三神_一、

十六日、晴、今日到_二本所_一、徑問_二淺野主_一、到_二大嶋雲八宅_一、歸路到_二本多備州留_一、及津輕主之家臣等宅、歸問_二津輕大學_一、明日津輕太守依_二青蓮院門主御馳走_一、從_二昨夕_一到_二御馳走場_一、

十七日、晴、時々雨、昨日松平因幡守賜_二大村能登守屋敷_一、

十八日、午前雨、夕晴、川內山到、今日稻葉丹後守賜_二松平因幡守宅_一、十九日、曇、終日在宿、

廿日、晴、東氏、三木等來會、夕暴雨雷風、

廿一日、晴、今日獻_二杉重於津輕太守_一、野妻自_二十九日_一持病氣故、招_二桑田玄益_一診_レ脈、服_レ藥、玄益者松浦太守家醫

廿二日、晴、夙燒香拜_二神主、食事上_レ食、辰刻詣_二宗三寺_一、徑_二到_二昭光院_一、去月廿六日、岡部有節卒、有香奠百疋、節者舊識也、故行燒_二香_一彼院、今日返_二書於平戶松浦太守_一、去四日大坂著故、以_二岩長孫左衛門_一告_レ之也、

廿三日、晴、夕津輕大學妻來問_二母病_一、及_レ夜大學亦來問、今日醫師勝田養元來、今朝享_二河內山與五右衛門、毛利傳兵衛、三木惣右衛門_一、河內山北歸之告故爲_二暇乞_一、未下刻圭田宇右衛門來話、及_二八條目_一、今日上野嚴有院殿御廟御入佛、

廿四日、曇、津輕監物妻來、夕歸、雨甚、廿五日、雨甚、勝田養元來、夕津輕大學妻來宿、入_レ夜大學來問、

廿六日、雨不止、如_二五_一月雨今日上野御法祭初、勝田養元來、夕津輕大學妻歸宿、及_レ晚河內山明日有_二發出之義_一、爲_二暇乞_一來話、河內山歸北之序、以_二水豹_一鹽菱喰一羽、送_二長九郎左衛門_一、河內山之主入也

廿七日、雨、自昨廿六日、上野御法祭、自京都、妙法院御門主、青蓮院御門主、毘沙門堂門跡、勅使大炊御門內大臣等參向、自今日迄來六日、十日之間、御譜代、上方衆、及幕下之諸頭、諸奉行、諸士皆以參詣、廿八日、雨、廿九日、雨、

五月

朔日丑、雨終日不^(カ)休止、夙拜^ニ 神主、且拜^ニ 願神、津輕監物來、

二日、雨、到^ニ丹羽玉峯^ニ、左京大夫、隱居、落髮號玉峯、享^ニ予及^ニ家僕、歸路到^ニ戶田越太守、

三日、曇、菅沼主水到、津輕大學到、 四日、雨、田村藤大夫到、

五日、雨、夙祝^ニ端午、拜^ニ 神主、且拜^ニ 願神、依^レ雨而在宿、各來禮、夕東一郎兵衛來話、

六日、曇、今日端午之禮、到^ニ松浦太守及淺野太守、津輕太守、桑田玄益來診^ニ野妻之脈、用^ニ其藥、

津輕監物來、有^ニ晚炊、今日上野御法事皆濟、自去月廿六日、法祭相初、

七日、曇、明日有^ニ御成之用意、今日於^(谷カ)野中、布施行、夜中微雨、

八日、夏至、庚申曇、及^レ午屬^レ晴、今日辰中刻上野御成、諸大夫以上東帶、御成以前聚^ニ本堂^ニ而供奉、

未刻還御、此間天氣不快、今日於^ニ雨天^ニ者不可^レ及^ニ行列^ニ之處、忽天霽、尤天威之所爲也、

九日、曇、津輕大學、東一郎兵衛等至、夕澤田平大夫藤堂和泉守家臣來話、夜地震、今日於^ニ上野^ニ納^ニ御香

奠、日光門主上座、大久保加賀守、松平山城守、御目付衆著座、凡昨今欲^レ雨而不^レ降、甚希有之天氣也、

十日、雨、在宿、越後守家來片山主水、小栗大六御預、

十一日、晴已刻後晴、在宿、才藏主到、賴^(平カ)土屋清大夫、今日御能、公家衆門跡方御馳走、

十二日、時々雨、土屋清大夫到、今日大御目付坂本右衛門佐、長崎奉行宮城監物、 十三日、曇、

微雨、在宿、

十四日、終日雨不^ニ休止、夙拜^ニ 神主、備^ニ酒茶菓、食事上^レ食、已上刻詣^ニ宗三寺、問^ニ多田藤大夫、

今日丹羽玉峯投^レ書、今日 勅使、院使御暇、

十五日、終日雨不^レ止、夙拜^ニ 神主、拜^ニ 三神、今日服部甚藏到、妙法院御門跡、青蓮院御門跡

御暇、

十六日、雨、夕少止、津輕大學到、丹羽玉峯賜^ニ鹽鶴并蠟燭、 十七日、雨、

十八日、細雨、或晴、今日妙法院、青蓮院發駕、今日從^ニ津輕太守^ニ賜^ニ平魚二頭、 十九日、細雨、

午後津輕監物來話、 廿日、朝細雨、午後晴、上野御成、

廿一日、曇、今曉有^ニ瑞夢、初夢、於^ニ途中^ニ得^ニ扇子、後牧野備後守以^ニ扇子二本^ニ與^ニ松浦公、公賜^ニ

一本於予、此扇中有三五言四句詩、將軍家之親筆也、其句中唯醒得一字、彌字也、見三字書滿也、是予心願滿足之義、甚有瑞吉云々、以二十七日爲壽祝之、板倉伊與守(像)安中、五千石加增、堀田(カ)豐前守爲大番頭、

廿二日、曇晴相交、夙燒香拜、神主、食事上食、令吉左衛門詣宗三寺、今日因公命葬酒井雅樂頭尸於厩橋、去十九日午刻死去、

廿三日、曇、東氏來話、廿四日、南風甚雨、及夕屬晴、津輕監物室到、夕甚暑、廿五日、雨晴、監物室等與拙妻到淺草寺、

廿六日、晴、津輕太守來臨、多田藤大夫到、貴田長大夫到、今夕東氏爲暇乞設蕎麵、及晚津輕玄蕃、同大學、同監物、松田五郎左衛門、毛利傳兵衛來會、及初更而各歸宅、今日各享鶴、是丹羽玉峯老所賜也、今日奉書於松浦太守、

廿七日、曇、從已下刻雨、今朝開瑞夢、是去廿一日所夢想也、故享家僕、今日拙妻詣元三大師、與監物室到津輕大學亭、

廿八日、曇、屬晴、長彌一右衛門、松田五郎左衛門等來話、平馬來、廿五日乘輿之面々、雖爲五十已上、可令遠慮之旨有仰渡云々、

廿九日、朝曇、已刻已後雨降、今日到松浦織部宅、聞有乘輿禁制之命而今日步行、有熟瓜、今日松浦宮內爲使節自平戶來訪予、有太守之書翰、

六月

朔日、曇、夙拜、神主、次奉拜、三神、已刻馬上自津輕君所來、號宮一到淺野太守、晝後到津輕太守、太守今日從營中拜領嘉肴、禮服頂戴之、有盃酒、有熟瓜、萬介同座、及暮出馬場、有乘馬數疋、今日礪谷十介賜領知三百石、

二日、曇、東氏來、夕雨、津輕監物來話、有蕎麵、三日、午後雨、在宿、酬書於松浦太守、今日紅葉山御成、御服明初而御參宮、衣冠有行列

四日、曇、夕雨、在宿、凡此間甚冷寒、堪累綿衣、今朝堀田筑前守爲御名代發駕日光山、昨三日御暇云々、拜領名物數品、被爲少將云々、

五日、曇、細雨、夜中東氏來、明後七日歸國、爲暇乞云々、
六日、土用入快晴、南風甚、暑氣甚、平馬、監物、津輕玄蕃到話、有蕎麵、今朝吞(カ)蒜小豆、晚炊用鯨魚、

七日、晴、甚暑、凡六日土用入之後甚暑、然六日之朝迄著綿衣、津輕大學到、

八日、曇、夜中雨、暑氣退、又冷、到松浦太守、訪留守、
九日、曇、有暑氣、田村藤大夫到話、有麥飯、今日從津輕太守、暑服三領袴衣五具到、今日堀田
筑前守從日光歸著、

十日、曇雨陰晴、尙曇、夕津輕監物到、今日筑前守登城、

十一日、曇、午後大雨如流、今日津輕大學招請予及萬介、平馬、津輕監物、田村藤大夫等爲享、
木具三汁
向詰鳴臺及夜而歸、大學爲津輕太將之老臣、初享予、予以太刀目錄祝之、家室、家人等及恩

賜、太守賜濃茶兩種大鯛及熟瓜等於大學、大學夙來禮、日今

十二日、曇、晚晴甚暑、大學爲昨日之禮到、長彌一右衛門來、今日拙妻詣愛宕山、十三日、

曇、凡此間陰雲不及雨、甚冷、風如秋、

十四日、曇、南風夜雨、今日令渡邊利左衛門詣宗三寺、凡去月廿五日已後、有乘輿之制、故不
乘之故、不任心底也、(理)

十五日、南風甚、夜雨有涼氣、今日淺草川筋左右之屋敷大小名并町人等、皆除破川端之家屋、今
日明日之內可破却之云々、今日到津輕太守亭及初更歸宅、今日松平飛驒太守使高橋十郎左
衛門賜國本兩種能州索麵
瀬破鹽辛并象眼小柄一箇三本、

十七日、快晴、甚溫氣、夕暴雨、暑猶不退、今日野妻到大學宅、(夜雨カ)

十八日、曇、冷氣有之、到會根孫兵衛宅、及夜而歸、午後晴、甚暑、(夜雨カ)

十九日、甚暑、晝雨、在宿、今日酒井下總守等御役御免、廿一日(松平)越後守家來於殿中、御僉議
可有之云々、夕津輕監物來、中朝事實板行成而持參十部、

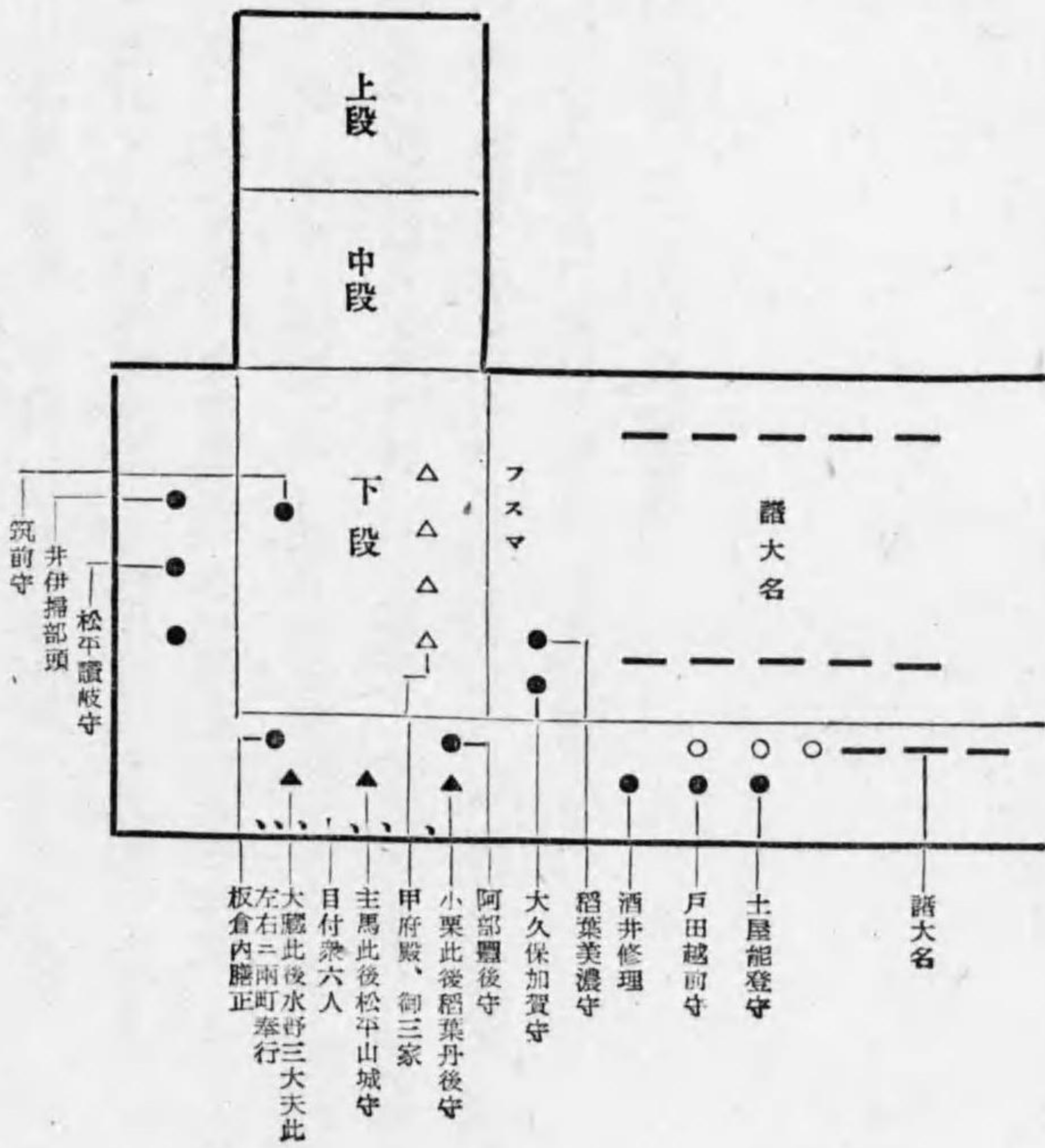
廿日、曇、終日微雨、或止或雨、小笠原壹岐太守來訪、今日上野無御成、

廿一日、曇、微雨、晚屬晴、今日松平越後守家來三人小栗美作、永見大
藏、萩田主馬召營中直被、聞召、辰

刻諸大名并甲府殿三家各登城、於大廣將軍家著座、御中段下段之左甲府殿御三家、板緣左右板
倉內膳正、阿部豐後、左右右之三人有之、以堀田筑前守傳嚴命、大老言上美作守奢侈之事、

小栗對之有再命、萩田又言上、其後退出云々、

夕大學來話、及亥刻有蕎麵、



廿二日、曇、南風雨或止、朝拜_二神主并_三三神、奠茶燒香、食事上_レ食、令_二渡邊理左衛門詣_三宗三寺、今日淺野内匠頭_二著衣_三二領一筥、

今日越後家臣小栗美作守、同大六切腹、荻田主馬、永見大藏_{八丈島}、遠嶋、其外流罪等之、仰出有_レ之、
別注

廿三日、朝雨、今日於_二評定所_一御預之者數多有_レ之_{越後家人} 今日越後守與_二伊達遠江守_一到_二遠江守宅_一、

三川守入_二寺天德寺_一云々、廿四日、快霽、南風甚暑、

廿五日、快霽、南風甚、今日於_二評定所_一御預之者三人有_レ之_{越後守家人之子} 今日因_二戸田越前守招_一到_二彼亭_一、及_二夜陰_一而歸宅、有_二蕎麥及料理、濃茶_一、

廿六日、終日曇、或雨、夕雨不_レ止、蒸暑難_レ凌、今日依_二津輕監物招_一到_二彼亭_一、終日奔走、及_レ夜而

歸、大學、萬介、田村藤大夫、松田五郎左衛門、磯谷十介等來會、今日越後守依_二鈞命_一到_二井伊掃部頭宅_一、稻葉美濃守、内藤新五郎、戸田八郎兵衛來會而傳_二嚴命_一、松平隱岐守御預、道中京極備中守可_レ送_レ之云々、三川守到_二酒井修理大夫宅_一、水野右衛門大夫、坂本右衛門佐、藤堂主馬等來會傳_二嚴命_一、水野美作守御預、道中黑田甲斐守可_レ送_レ之云々、去年今日於_二増上寺_一、内藤與_二永井_一双傷、今年今日越後滅却、人皆爲_二不思議_一、

廿七日、如_二昨日_一陰雲微雨終日不_レ止、蒸熱難_レ凌、凡土用中甚曇微雨無_二暑氣_一、廿六日廿七日兩日蒸暑當年不_レ覺_レ之、

今日諸大名登城、昨日之御仕置、稻葉美濃守傳說之、高田城仕置、松平日向守、秋元攝津守、請取松平大藏(大輔)、榊原式部大輔、牧野駿河守、在番溝口信濃守、糸魚川城(番堀左京亮)渡邊大隅守八丈嶋、遠嶋、子三人御預、嫡子半右衛門相馬彈正、次男安藝守(金森萬助)、三男平岩助右衛門大關信濃守、廿八日、快霽、有南風、各登城無御禮、今日松平三川守家人二人亂心云々、廿九日、晴、殘暑甚如燒、有南風、及夕平馬、津輕監物、田村藤大夫來話、今日夕西方有氣、町中群見、

晦日、快霽、殘暑甚、淺野與兵衛、磯谷新八來話、今日酒井河內守、同下野守、久世出雲守閉門被仰付、廿九日已後、西方赤氣見之、平生唯有日沒之射氣、其氣映日而甚赤、或一二三筋、

七月

朔日、快霽、殘暑如燒、不可堪之、朝拜三神、燒香奠茶、次拜三神三寶、受家僕之禮、津輕大學、毛利傳兵衛、松田等來話、夜亦不得寐、今日松平越後守趣配所豫州、京極刑部大輔送之、此間西有赤氣、今夕見之、

二日、曇、微雨、有北風、津輕監物來話、夜中雨、夜來甚冷、堪著夜衣、夜中本庄火事、(元字)二日榊原式部大輔發北越、行粧見者甚多、騎兵五十餘云々、

三日、終日雨、北風涼氣如中秋、夜大雨地震、今日齊修舊事臣道終筆功、

四日、蒸暑、微雨、或晴或雨、夜中冷、曉雨、今日野妻到津輕監物宅、及暮而歸、昨日姫路御目付堀小四郎、平野九左衛門被遣之、

五日、朝晴、晝少雨忽止、蒸暑、夕曇、小笠原佐渡守來話、夜中雨、

六日、終日雨、夕小晴、夜中大雨、今日遣餞別物於若山九左衛門、今日小笠原佐渡守等為書院番頭、

七日、朝雨、晝已後晴曇、夕晴甚暑、朝拜三神、燒香奠茶、拜三神、津輕玄蕃、同大學、同監物等來禮、

八日、晴曇不定、雨數下、今日道秀居士忌日、朝燒香奠茶、食事上食、野妻詣瑞輪寺、及暮而歸、高橋十郎左衛門、三木惣右衛門等來話、到上野權現堂之石華表、酒井雅樂頭忠世建立之及嚴(有)廟之

銅燈籠等皆沒倒之話、去二月山王石鳥居笠石、無風震而顛倒、依之石鳥井御成道筋不可然之由云々、此間天氣甚不順、東北風甚而南風不競、故或冷寒或雨數降不已、

九日、朝晴、已刻已後北東風、雨數下、夕津輕監物來、天氣快霽、有月、

十日、南風晴、雨微下、午後甚晴著、有月、此間無此快月、南風甚涼、高橋十郎左衛門來、傳

飛太守之命、借語類五冊於飛驒太守、夕田村藤大夫來話、
 十一日、快霽、此間連日不吹晴、從昨日南風、今日甚快霽如秋天、此間淺草川甚溢、無渡之
 船、假橋亦既將落云々、今日萬介獻生見靈之饗應於予、凡此間連日雨、從今日南風無雨、朝
 夕如秋涼、
 十二日、快霽、津輕大學、同監物、携一種一瓶而有生見靈之享、夕水野宇兵衛、桑田玄益來話、
 有蕎麥、今日殘暑甚敷、夕月甚明也、
 十三日、晴、今日奉燈籠於宗三寺、鳳林寺、松源寺、慶養寺、俱益祭、田中儀左衛門到、明十四
 日秋元攝州發越後爲暇乞、夕設益祭如例年、
 十四日、晴快、殘暑甚、及夙祭、合祭、
 以右爲上

先妣公 同 外祖父母二位亦在此列、
 先考公 同
 祖母公 同
 祖父公 同

會祖母公 膳

會祖父公 膳 茶酒菓瓜各如此

早朝食事上食、一汁三菜、食後奉餅、獻新茶、抹茶、新酒、并獻索餅、又獻茶菓酒、及申下
 刻新獻茶酒新餅、燒香送神、
 十五日、晴、殘暑甚敷、各來禮、夕月甚明、自昨十四日駕護乘物禁之、凡此間籠乘物甚多、殆
 無上下之禮、五月廿五日有乘輿之禁、其已來町人等籠乘物御免甚多、
 十六日、自朝陰雲、雨數下、及暮月甚明、今日獻親類書於公儀、大學、三木惣右衛門來話、
 十七日、晴、終日或雨或晴、夕有月、此夕蘆田清爲家僕之列來宿、今日戶澤能登守發大坂、
 十八日、自朝殘暑甚、終日無風、夕津輕監物來話、朝蘆田清介拜謁、今日 姬君樣被下紀伊中
 將殿之由被仰出、紀伊中納言殿御暇被下之、今日獻軍船二艘於津輕太守、
 十九日、晴、麻生長泉寺夙來謁、今日戶田越前守御暇、御加增一萬石拜領、
 廿日、晴、無御成、今日津輕監物室來一宿、南風甚暑、今夜南風甚、當年無此風、夜中津輕大學、
 同玄蕃等以使來訪、有雨、
 廿一日、曇後晴甚暑、夕甚涼風、自廿日之南風、蚊去涼屬秋、

(1)軍船の
模型なるべし

廿二日、晴、甚涼、詣_正宗三寺_百、松源寺_正、五十、鳳林寺_正、五十、盆中痛_正脚、故今日參詣、途逢_正小栗五大夫、而立_正馬而談_正往事、歸路寄_正小笠原佐渡守亭、佐渡守當月六日爲_正御書院番頭也、終寄_正津輕大學宅、夕甚涼、今日松平因幡守_{五千}、石川美作守_同、板倉市正_{二千}、金田遠江守_{三千}、御加增、

廿三日、晴、甚冷、晝殘暑雨、在宿、水野宇兵衛來話、夜雨甚、
廿四日、曇、微雨終日不_レ已、津輕監物、同大學來話、及_正晚炊、夕田村藤大夫來話、及_正初更談_正往事、今朝妖虫自_正上野_正群_正飛于南方、其形如_正蝶而甚白、其羽如_正白紗_正薄而透_正、虫之體如_正蛾而_正小_正シ大也、自_正蝶少_正サシ、人以爲_正妖虫、今日增上寺御參詣、依_正雨而御延引、明日從_正紀伊中將殿_正御結入之御祝儀獻上云々、

廿五日、曇微雨、入_レ夜細雨不_レ止、今日到_正戶田越前守亭、十九日御加增_{御暇被_下}、及_正亥刻_正而歸、有_正蕎麵_正、閑談、及_正世政、道歷_正菅沼主水_正訪_レ之閑談、今日紀伊中納言殿、同中將殿登_正城、有_正御結納之義、_儀記錄別有_レ之、今朝尾張中將殿發駕、去_レ十日、伊勢山田大風洪水大火事云々、

廿六日、曇、微雨、今日諸大名依_正昨日之御慶事_正登_正城、獻_正御樽肴、廿七日、晴、殘暑甚、
廿八日、晴、到_正淺野内匠亭、直行_正津輕太守、太守、今日爲_正生見靈之饗、同氏萬介伴食、_{三汁}九菜、及_正夜而有_正蕎麵、殘暑甚、

廿九日、晴、夕到_正小笠原佐渡守宅、及_正暮而歸、殘暑甚、微雨折々、松浦壹岐太守來話、且從_正松浦太守之與方_正賀_正明日_正而賜_正物、

○凡今月九日十日、上方風、廿日勢州大風洪水火事、此風尾、勢及大坂邊大風云々、此間米甚貴、以_正金一兩_正代_正五斗餘、

八月

朔日、快霽、殘暑甚、夙燒香拜_正神主、如_正例拜_正三神三寶、今月子生月故祝_レ之、且爲_正諏訪祭、爲_正赤飯、醴酒、各來禮、

二日、晴、朝甚冷、津輕監物來禮、夕水野宇兵衛來話、今日依_正松浦主水歸國、而奉_正書於平戶太守、

三日、曇、昨夕甚冷、著_正夜服、微雨、今日因_正戶田越公之招_正而到_正彼亭、其路歷_正町野壹州、小笠原壹州、故各訪_レ之、相逢對談、及_正暮而到_正戶田宅、閑談及_正戌刻_正而歸、歸路雨、

四日、曇、甚_正殘暑、在宿、津輕大學、同監物來話、

五日、晴、甚_正殘暑、晝微雨、到_正松浦壹州亭、夕田村藤大夫來話、明日掘_正本所之堀_正云々、從_正戶田越公_正賜_正樽代、箱肴并暑布兩疋、藤堂泉州家人澤田平大夫、携_正二子_正□□來話、

六日、晴、殘暑甚、今日戶田越公歸京、及夜而殘暑如蒸、人々不能寐、今日從津輕太守一觀二初蛙一、

七日、朝曇、大雨甚不止、及夜而甚大風雨、當年不知之、津輕太守以レ使問之、其外夜中訪風雨之使有之、

八日、晴、今朝曾祖父君市介主之忌日、禮服燒香奠茶、終日素食、田村孫大夫來、今日從津君米俵到、

九日、晴、朝大學到、已刻津輕玄蕃、同監物來話、有晚炊、小笠原壹岐守來訪、有音問、夕松平飛驒太守、令高橋十郎左衛門來訪、大村備後守、令根岸六郎左衛門來訪七日八日之風雨、

十日、雨終日不晴、在宿、甚冷氣、今日奉書於平戶、

十一日、雨、晝後漸陰雲屬晴、今日奉軍船之形於津輕太守、

十二日、晴曇、在宿、津輕監物來話、午後原勘解由堀田筑前守家人來話、

十三日、微雨終日、大嶋雲八丈來話、午後歸宅、今日痛齒及癩而在宿、有熱、夜中甚雨南風、今日松平加賀守有猿樂、招老中、

十四日、朝曇、已刻已後大雨南風、甚七日之風雨、朝拜神主、食事上食、今日令吉左衛門詣

宗三寺、且以書訪原勘解由、十六日到古川、爲暇乞投書也、

十五日、快霽、有月、磯谷十介來話、萬介、十介有口占、甚冷氣、津輕大學來話、

十六日、晴、有月、夕津輕監物來話、今日會根孫兵衛來話、

十七日、晴、貴田孫大夫、三浦平大夫、牧田嘉兵衛來話、有晚炊、有月、

十八日、晴、奥野將監、同長大夫來禮、去頃從播州赤穂來也、吸物酒盃、今日榊原式部大輔從越後歸府云々、去月廿六日已刻、越後高田城請取云々、今日野妻到監物宅、今日稻葉美濃守招老中、有嘶、

十九日、晴、南風晚雨、今日法皇御一周回忌、午刻大嶋圖書來話、午後津輕大學、三木惣右衛門來話、從昨夕同氏平馬女共臨產之告有之、

廿日、細雨、夕大雨及暮、戌刻到平馬宅、彼妻自去十八日臨產、猶不出產而死、及亥下刻而歸、

廿一日、雨終日不止、今日藤堂和泉守亭有猿樂、招老中、朝津輕大學到、午刻津輕監物來、及三木惣右衛門、磯谷十介來會、及晚炊、夜中大雨、

廿二日、雨終日不止、朝如例燒香點茶、拜神主、食事上食、令江右衛門詣宗三寺、

廿三日、曇、甚冷寒、及夜而雨、寒氣及襲綿衣、今日從淺野內匠頭家老奥野將監、外村源左衛

門、令_三黑川小介使_三予宅、告_三內匠兵法稽古之義、淺野與兵衛來話、

廿四日、曇、微雨終日、不_三吹晴、會根孫兵衛來話、問_三全書攻城、

廿五日、晴、微溫、小栗五大夫田中大隅守組、大御番衆、知行四百石來訪、三浦平大夫到、今日礮谷十介老母來、十介

領_三新知_二之禮、今日堀田筑前守、牧野備後守、石川美作守、爲_三淺草川見分_二乘船、有_三棹歌、

廿六日、朝雨、夙令_三使价到_三永正寺、賻_三香奠百疋、是平馬室、死後七日、今日堀田筑前守、招_三請老中、

廿七日、九月終日陰雲、或微雨、夕吹晴、戶澤彌五兵衛來話、

廿八日、快霽、到_三淺野內匠亭、問_三奥野將監、將監此間到_三江府、先頃問_三予宅、午後到_三津輕太守、及_三初更_二而歸宅、

未刻已後屬_レ雨、夜中少晴、

廿九日、雨終日不_レ止、在宿、

卅日、雨或曇、夕津輕太守來話、及_三晚炊、夜中快霽、

今月陰雲久、七日之夜十四日大風雨、諸國此風雨或吹或不_レ吹、奥州豐年云々、北國邊七日十四日

大風云々、米值一石、上方七十二三夕、江府一兩六斗餘、米新

九月

今月半、米以_三一兩_二代_三四斗、途中所々有_三餓死人、

朔日、快霽、朝拜_三神主、且拜_三三神三寶、家僕各禮、各來禮、津輕監物來禮、及_レ午而歸、今夕奎之助來宿、夕雨、

二日、雨、在宿、同氏平馬到、三日、雨終日不_レ止、瀧川右京、松浦求馬、從_三平戶_二爲_三使節_二在_三江府、到_三予宅_二傳_三太守命、

四日、雨、五日、雨、六日、晴、大嶋圖書來話、今日從_三津輕太守_二賤_三重陽之時服、七日、

晴、八日、晴、夕雨、

九日、朝雨、早晨拜_三神主、賀_三重陽、拜_三三神、辰刻少雨、巳午後雨不_三休止、高橋十郎左衛門

來話、及_三初更、

十日、雨終日不_レ止、今夕招_三瀧川右京、水野宇兵衛、有_三饗應、夕雨甚、

十一日、雨終日不_レ止、今朝萬介執_三前髮、改_三姓名_二號_三山鹿藤介、享_三家僕等、津輕大學、太刀折紙

并鞍鐙持參_三藤介、津輕監物、賤_三上下及嘉肴、津輕玄蕃送_三蛇一折、津輕太守馳_三貴价、賤_三藤介

于猩々皮并檜肴、賤_三余于檜代及肴一種、慶林院殿、津輕平藏主各有_レ賤、礮谷十介以_三太刀折紙_二賀、

今日各來賀有_三贈物、

十二日、雨少止、藤介爲_三昨日之謝禮_二到_三津君、津君御對話、且有_三獻盃、親賤_三腰間之脇指、備前雲上、折

紙有之、午後細雨、今晚大學內室母義各來賀、有饗應、雨晚來甚急、藤介答嘉肴、箱肴於祝儀相送之衆、

十三日、微雨、田村孫大夫到、今日藤介饋箱肴於津君之用人大目付間宮求馬、木村李(助)、久保田一耶左衛門、唐牛長右衛門、是各有祝賀之送也、今夕無月、堀田筑前守、牧野備後守、依召登城、有二月見之御會、

十四日、雨、夙拜、神主燒香點茶、食事上食、今日令吉左衛門詣宗三寺、

十五日、晴、微雨折々有之、夙拜、神主如例月、今日妙圓忌日、食事上食、今日到津君、

謝二十二日之嘉惠、及慶林君、平藏君、徑到本庄、暇乞瀧川右京及松浦求馬、各爲使者到江戶、兩入明日發駕、今日爲暇乞來私宅也、有南風、

十六日、快晴、夕風、津輕玄蕃、同道津輕左門到、太刀馬代、有吸物盃酒、十七日、晴、在宿、及夜而雨、

十八日、夙詣淺草寺、朝微雨頓晴、夕田村藤大夫到、

十九日、微雨、修塗垂土藏、夕會根孫兵衛來話、及初更而歸、雨天、廿日、曇、自暮前暴雨、(元字)廿一日、

廿一日、快霽、自今日屬晴今日爲奧座敷之疊、タ、ミ、表替、是廿八日招請津輕大學事初也、(カ)從今年終設

之也、今日從津輕太守、賜御茶壺及蛇一折、今日淺野與兵衛、携神君之御直判與予、甚祕藏之、

○藤介到田村藤大夫宅、田村招請津輕玄蕃、同大學、同監物等也、○今日平城木形初、○大村備後守賜圭魚一尾、

廿二日、晴、夙拜、神主如例月、令江右衛門詣宗三寺、朝津輕大學來、晝監物來話、夕津輕玄蕃來、今夕到本庄、問松浦君、是依賴母水痘也、今日戶田八郎兵衛來臨、

廿三日、快霽、午前與藤介到松浦壹岐太守、謝先日賜祝義、晝後到津君、有饗應、賀藤介執前髮之義、(儀)到大奧拜謁慶林君、藤介亦到此、

廿四日、快霽、在宿、永田平兵衛到、牧野因幡守家人廿五日、快霽、同氏平馬到、廿六日、晴、廿七日、晴、津輕大學到、

廿八日、快晴、已刻已後北風甚烈、

今日招請津輕大學父子及家人等、是賀祝爲津輕君之家臣也、津輕監物、松田五郎左衛門、三木惣右衛門、爲相伴、戶澤彌五兵衛、田村藤大夫因官事而不來、三汁十菜、後段蕎麥麵、各及暮而歸、今日松平無三老下著、是松平圖書、尾陽大守之家臣也

廿九日、快霽、今日到淺野太守、訪本多備州留守、未上刻到松浦壹州太守、有饗應、今日參勤之御禮、稻垣信州等御禮、予此間有頭痛不食之氣、今月江戸米甚值貴、飢餓之者多、然政事有賑恤之御事、而(餓死者)不及數人、

十月

朔日、快霽、夙拜三神、今日饗津輕大學母儀及內室、同監物內室、是依大學祝儀也、各及暮而歸、今日各來禮、從今夕藤介異例、

二日、快霽、津輕大學到、招桑田玄益、予及藤介服藥、夜中藤介熱甚失氣故、招勝田養元服藥、中村道休等到、津輕大學、磯谷十介到、藤介氣分快復、是依痞之塞氣也、

三日、晴、朝養元到、及夜而雨、三上泰元留宿、津輕大學亦泊宿、今日津輕兵助及大學室、監物室、訪藤介疾而來宿、

四日、微雨、藤介病彌快、朝大學母儀到、今日上原春良來、針藤介、彌快復、今日津輕君、問藤介疾而光駕、

五日、春良來針、六日、今日松倉彌七等為津輕公之家人、七日、雨、春良來針、八日、雨、大學到、春良來針、

九日、改元天和快霽、今日有改元之仰渡、一萬石已上大名登城、改元天和元年、松浦太守壹岐來訪、問數條之兵問、

十日、晴、津輕監物到、及晚炊、今夕灸治甚快、夕高橋十郎左衛門來、

十一日、甚寒冷、霽雨下、北東州皆有雪乎、殆如雪天、平馬來、及晚炊、小笠原佐渡守送三州之鴨、高橋送北國之鱸、

十二日、晴、今日安藤安齒來、為入齒、終日為細工之談、安齒甚得細工之妙、且得其物之性氣、

十三日、晴、甚寒、夕燒香點茶菓、明日依先妣御月忌也、

十四日、快霽、夙燒香點茶、食事上食、已刻到宗三寺、夕前田勘右衛門松平飛騨守家人來會、歸路到大學宅、

十五日、晴、夙拜三神三寶、今日松平日向守等御暇被下之、

十六日、晴、各饗應、今日大村備後守貳鱸魚二喉於藤介、夕田村藤大夫來話、及晚炊、

十七日、晴、饗應家僕、夕到松浦織部亭、午刻小笠原壹岐守來訪、及數問、及夜津輕監物來話、

十八日、曇微雨、曉大雨、今日午前問本多備前守、是去四日從駿府依歸府也、歸路及雨、及夜甚雨、

十九日、晴、甚暖、昨夜夢鷺鷹十數連、十介來問、大嶋圖書來話、淺野内匠主賜茶并雁賀口切、

廿日、曇、藤介病後初到津輕大學宅、津輕監物來問、菅沼主水賜書并岐阜鮎糟漬一器、

廿一日、晴、今日津輕太守賜口切之茶初昔竹庵并鯉魚兩頭、小倉作左衛門爲使者、吸物雁有盃土器

酒、夕津輕監物、同大學來會、賞津君之御茶并淺野主之口切茶、及夜林九郎右衛門來話、今日於營中有能、高家衆、奏者番、番頭等、有其名之輩勤之、於二御丸有之、

廿二日、晴、朝燒香點茶、食事上食、令江右衛門詣宗三寺、申刻小笠原佐渡守來話、有新蕎麥、今日御役替等有之、今日松浦主、有三月可令參勤之旨、松浦主之使者中條カ門來禮、

廿三日、在宿、夜雨、今日廿一日勤能之面々拜領時服、各有品、

廿四日、晴、午前大嶋雲八來話、及午刻而歸、朝筒井唯右衛門來話、及晚炊、夜來雨、廿五日、晴、在宿、廿六日、晴、

廿七日、曇、已上刻到淺野内匠亭、午後到津輕君、是依兼約也、及亥刻而歸、

廿八日、晴、今夕藤介灸治、磯谷十介來宿、有蕎麥、今日獻強飯并北鱈五尾於慶林院殿、

廿九日、晴、到德總寺、是亡姊十三回忌也、田村藤大夫設懺法會、彌一右衛門來、津輕大學到、(元字)田村爲今日之到德總寺之謝禮來問、歸路到蓮光寺、弔野上彥右衛門、去朔日於大坂卒、

晦日、晴、大石賴母自在所歸著、

霜月

朔日、快霽、各來禮、夙燒香點茶、拜神主及願主之神、津輕監物、同大學來禮、今日諸大名有近所火消可勤之旨 鈞命、二日、快霽、

三日、快霽、大石賴母送在所之士宜數品、今日外村馳价告内匠主火事番、且借押太鼓、

四日、晴、五日、晴、夕戶田喜右衛門來話、

六日、晴、已刻已後北風烈、無火事沙汰、今日獻口切茶初昔長葉於津輕君、早朝、茶有到信、雁

一、鯉二、鮑十、砂糖漬一壺、栗餅強飯各重内有目錄、午後到津君、君披今朝所獻之茶、有饗

應、於茶店自點茶立盆今日太田攝津守御暇被下之、敘四品、賜御腰物御馬、時服廿一

七日、晴、今朝津輕監物送口切之茶、鴨二、今日松浦太守自平戶發价、賀藤介執前髮之義、(儀)

賜_二兩樽一種、予、愚妻各有賜、水野宇兵衛爲_二使節、及_二晚炊、食後平馬來話、
 八日、晴、甚長閑、今日捧_二書於平戶、謝_二昨日之嘉儀、今日松浦彌一右衛門送_二嘉肴、賀_二藤介、
 九日、快霽、慶林院殿賜_二頭巾二、松浦太守簾中賜_二國魚、夕中野傳右衛門來話、自_二駿府、在_二番、歸、今日送_二
 一樽一種於大石賴母、賀_二移_二新長屋、進藤庄兵衛從_二津輕、送_二鹽鶴、
 十日、霜甚、此間甚靜、無_二火事沙汰、夕平馬到、十一日、晴、今日津輕君渡_二御監物宅、依_二之
 午後到_二彼宅、次到_二間田村孫大夫、及_二夜而歸、
 十二日、晴、已上刻到_二淺野内匠亭、大石賴母下著已後初會談、徑到_二本多備前太守、太守去月從_二
 駿河番歸著、初會談、貴田孫大夫及宗與來訪、
 十三日、晴、今夕戶田越前太守因_レ召而下著、今晝松平無三卒、八十三、
 十四日、冬晴、夙燒香點茶、食事上_レ食、令_二吉左衛門詣_二宗三寺、今朝從_二戶田公_二以_二短書_二告_二昨夕
(カ)之無事駕著、
 十五日、晴、夙拜_二願神 神主如_二例、今日戶田越前太守、爲_二御本丸御老中、稻葉丹後守賜_二新
 知三萬石、爲_二京都所司代、今日 若君様御髮置、堀田對馬守獻_二上白髮、夕曇、有_二雪氣、忽晴、津
 輕大學到話、有_二蕎麵、

十六日、晴、寒氣甚、凡此間朝夕甚寒、晝長閑如_レ春、今朝水甚冰、今日貞因廿三年(忌)、廿三年無_二法祭、唯點

茶燒香、食事上_レ食、丹羽玉峯送_レ雁、是玉峯自所_レ留也、今日諸大名爲_二昨日之御祝儀、登城云々、

十七日、甚寒、午後到_二松浦壹太守、茶之口切、日暮依_レ招到_二戶田越前太守、暮問_二石谷市右衛門、
 自_二太守_二亥刻歸宿、甚寒難_レ凌、十八日、晴、

十九日、晴、大嶋圖書來話、夕飯後到_二津輕君、是依_二無三松平圖書制、無三、卒去_二悔_レ之也、無三去_レ十日、

者尾陽黃門之家人也、父者松平因幡守康元、今日戶田越前守依_二台命_二改_二山城守、

廿日、晴、午後松浦壹太守來問、今日令_二价送_二白銀五枚於宗三寺、是亡父公十七回忌法祭也、實者
 極月廿二日也、月迫寺僧苦_二勿忙_二故及_レ之、

廿一日、晴、松浦太守賜_二口切茶并雁一羽、林九郎右衛門爲_二使節、夕水野宇兵衛來話、

廿二日、快晴、曉天刀一燒香點茶之後、到_二宗三寺、有_二懺法、同氏平馬、津輕大學、田村藤大夫、
卑妻及大學母儀、多田藤大夫、

同彌一右衛門、津輕監物、同氏藤介、磯谷十介各來詣、捧_二香奠、內方、平馬娘、皆以來詣、午前法

事濟、各歸宿、亡父貞以公十七回正當者來月也、然月迫故、以_レ今爲_二此祭禮、

廿三日、晴、發_レ价謝_二昨日各詣_二宗三寺、今夕甚寒、夕晴寒、津輕監物來訪、有_二蕎麵、

廿四日、晴、午後曇、殆有_二雪氣、卑妻等到_二磯谷十介宅、十介新宅故、及_レ暮而歸、夕雲雨少降忽止、

晴寒氣甚、今日野上淺之進祝_二家督相續_一而有_レ饗、

廿五日、晴、今日到_二淺野内匠頭亭_一、廿二日有_レ故而真田伊賀守預_二與平小二郎_一、息
彈正預_二内匠頭_一、領知沼田沒收、故問_レ之、

廿六日、晴、甚霜、戶田越前守、改_二名山城守_一、板倉内膳正御役御免、

廿七日、晴、戶田公賜_二板倉内膳正屋敷_一、

廿八日、曇、午後雨雪少下、到_二戶田公_一、明日京都發足也、

廿九日、小寒晴、到_二松浦織部宅口切之會_一、夕到_二津輕大學宅_一、大學風氣發也、今朝戶田公發駕、日

向守移_二板倉宅_一、今日秋元攝津守、酒井大和守、爲_二寺社奉行_一、松平修理亮_{元名}山城御役御免、

晦日、晴、甚暖、

極月大

朔日、晴、朝拜_二神主及_一願神、今朝爲_二外祖母妙芳大姉之忌_一、故精進、從_二津輕太守_一、貺_二鷹_一、

鳴并鶴膊、夕平馬來話、今日稻葉丹後守任_二侍從_一、二日、晴、甚暖氣如_レ春、

三日、霜、甚寒氣、夕田村藤大夫來話、今夕戌上刻蠟燭町出火、忽消、

此曉靈夢、二日之夜三日之曉所_レ見也、甚奇、

コカネ金ノカメ金ノ太刀ヲモチテ來テ我ニアタフル末廣ノ松

(一)義、儀
兩用セリ、儀
一々註セズ

案、金龜者印綬也、金太刀是又官人所_レ帶也、

四日、晴、霜甚、今日真田彈正發_二赤穗_一、五日、快霽、六日、晴、到_二大學亭_一、問_二内室之疾_一、

七日、甚快霽、已刻到_二淺野主_一、問_二戶田日向守_一、賀_二秋元氏爲_二寺社奉行_一、午後到_二津輕公_一、及_レ夜而
歸、

八日、晴、今日渡_二御紅葉山新御佛殿_一、稻葉美濃守御役御免、九日、晴、

十日、晴、自_レ夕雪、晝前到_二大學宅_一、今日酒井日向守、井伊掃部頭御預、息萬千代松平伊豆守御預、

今朝稻葉丹後守到_二于京都_一、稻葉美濃守依_二日向守義_一而遠慮、

十一日、終日雪不_二休止_一、近年之大雪也、今日堀田筑前守任_二少將_一、酒井雅樂頭、同河内守、役義

被_二仰付_一、月番加判御免、阿部豐後守爲_二侍從_一、牧野備後守爲_二四品_一、

十二日、快霽、甚寒、各爲_二昨日之御祝儀_一登_二城_一、

十三日、晴、大嶋圖書來話、御煤拂、御年男大久保佐渡守勤_レ之、今日駿州田中御目付加藤兵助等

被_二仰付_一、今夕到_二松浦壹太守_一、及_二戌刻_一而歸、今日伊勢内宮本社自_レ内出火、御神體亦消失云々、

十四日、大寒快霽、甚寒、夙拜_二神主_一、食事上_レ食、奉_二年暮之義_一、田村彌市右衛門來、謝_二明日爲_二

津公之家臣_一、

十五日、晴、夙拜_二神主、願神_一如例、各來禮、
 十六日、晴、朝曇、大嶋雲八丈來話、到_二誠意正心之條_一、及_二未刻_一而歸宿、
 十七日、晴、今朝煤拂如_レ例、合_二吉夢_一賜_二饗於家僕_一、磯谷十介母義來話一宿、
 十八日、晴、到_二津輕大學_一、及_二夜陰_一而歸宅、今日大學病後初來話、公方家御咳病、依_レ之御三家、
 甲府殿、以_レ使被_レ窺_二御機嫌_一、凡此間風疾甚滿_二于世_一、家々無_二不病_一風者、家々多_二病人_一、故俗
 稱_レ送_二風疾神_一、叩_二金鼓_一被_二異面相_一、喚叫而送_レ之、凡此間甚暖氣、如_二春二月末_一、朝々不_レ見_二霜冰_一、
 近年無_二如此之義_一、
 十九日、晴、津輕監物來話、津輕太守自_二今日_一風氣、予自_二夜中_一風氣有_レ熱、凡此間世以爲_二風疾_一、
 貴賤上下皆然、
 廿日、晴、桑田玄益來診_レ脈、服_レ藥、廿一日、晴、今日從_二津輕太守_一、賜_二歲末之嘉儀_一、銀子二百兩、小袖二
 愚息、愚妻各有_二恩賜_一、
 廿二日、今日亡父公第十七回忌、先月既於_二宗三寺_一修_二法祭_一、今日自_レ夙於_二神主前_一燒香、奠_二茶湯_一、食事上_レ食、三汁七菜予有_二風疾_一、不_レ能到_二宗三寺_一、令_二江右衛門詣_レ寺、家僕各賜_二齋食_一、廿三日、晴、今日津輕大學送_二歲暮之鏡_一、

廿四日、晴、今日練_二正月餅_一、遣_二津輕大學及監物等宅于歲暮之嘉儀_一、津輕監物室祝_二歲暮之嘉儀_一、
 送_二圓鏡_一、嘉肴數品、廿五日、廿六日、
 廿七日、今日酒井河內守、久世出雲守、遠慮閉門御赦免、廿八日、曇、及_レ夜而細雨、今夕節分、
 岡田吉兵衛勤_二儼名_一、世上甚靜謐、
 廿九日、(元字)立春立春、夙燒香、奉_二茶於_二神主_一、祈_二來歲之吉祥除災之事於願神_一、今曉傳馬町邊火事、
 晦日、晴、及_レ夜而陰曇、曉晴、各守_二年夜_一、晝松浦織部來話、各爲_二歲暮之嘉儀_一來禮、

天和二年 (六十一歲) 金神_{刀卯} 歲德_{亥子} 大將軍_{午方、今年迄三年塞}
 正月小

元日、亥曇、刁刻燒香、祈_二今年之嘉儀於_二願神_一、神主、且賀_二元旦_一、家僕各賀_二年始_一、曙雜煮、盃酒、卯上刻到_二松浦太守_一、在平戶、本所宅歸路所々年禮、辰上刻梔飯、盃酒、土器如到_二淺野内匠頭及大村太守_一、本多太守、午前到_二津輕太守_一、在宿、有_二引渡_一、雜煮、盃酒、藤介同道、歸路到_二津輕監物_一、大學等宅、各有_二雜煮_一、吸物、盃酒、今日各來禮、水野宇兵衛來、太刀馬代津輕大學、同監物來禮、太刀馬代及_レ暮細雨、至_レ夜雪、

二日、快晴、夜中之雪、殆半尺終日長閑、無一點之風雲、松浦壹岐太守來禮、小笠原壹岐太守使者來禮、津輕太守、令同氏玄蕃賜太刀馬代、

三日、入、入事晴、公儀自元日到今日御禮如常式、

四日、晴、及夜而細雨、今日任例有椀飯、山鹿平馬、津輕大學、同監物、田村藤大夫、戶澤彌五兵衛、三木惣右衛門、高橋十郎左衛門、磯谷新八、毛利傳兵衛治具

二汁七菜、後段饅飩、吸物、津輕監物室來禮、大學室依病、氣而不來戶田日向守來禮、

五日、晴、磯谷十介携太刀折紙來禮、依病氣而今日來禮大村備後守來禮、今日甚長閑、鶯聲稍有之、庭梅既綻、

六日、晴、公儀僧禮如常、津輕平藏主、松浦織部來禮、今日名主權三郎十郎兵衛松本屋等賜饗應、

七日、曇、甚有餘寒、及夜而雪、今日七種粥如常、後椀飯、本多備前守來禮、兒嶋助左衛門來

禮、今日稻葉美濃守御禮、長上今日賜饗於店商十數輩、野妻到津輕監物宅、

八日、朝雪、辰刻屬晴、甚長閑、今日上野御成延引、

九日、晴、甚長閑、今日到戶田日向守宅、直到津輕太守、有二年始之饗應、同氏藤介同道、今日

公方家御誕生日之御賀儀、於水戶相公有二年頭之饗應、

十日、晴、大村數馬來禮、松浦内匠為暇乞來會、

十一日、晴、今朝祝具足之圓鏡、向吉方以弓弦割之、載之三方膳、予與藤介出書院、供於吉方、父子拜禮而頂戴之、其後於中室六帖飾胃、頰、大袖及采幣、扇子、藤介禮服而拜神、

讀始全書之序段、載文日天子待之札守、供物載之、

自津輕太守賜兩樽兩種、使者小倉是津輕主殿主撰諱字春政之嘉儀也、主殿主亦賜生鯛兩頭、及

夕本多備前守賜今日所拜受之、柳營之御祝儀餅并長慰斗、今日津輕監物為家老職、依之送

兩樽二種賀之、

十二日、晴、津輕監物來、依昨日之祝儀也、午後到松浦壹州太守、鶴料理、久保玄貞來會、

十三日、晴、夜中甚雨、夕平馬、大學、田村藤大夫來話、

十四日、曇、北風、燒香供茶酒、拜神主、先奉雜煮、食事上食、獻盃酒、宗三寺佛詣、

十五日、月蝕、晴、烈風、本所火事、今日到津輕太守、謝監物役儀、於監物有二年始之饗應、

平馬、大學等來會、今夕夢、松平備前守、奏者曰、號云ナラ知樂、

十六日、雪終日不止、小川兵左衛門從難波來謁、

十七日、曇、午後晴、戶田八郎兵衛來禮伏見奉行、去十一日、御加增千石、為伏見奉行、今日紅葉山

御成、如式年、十八日、晴、

十九日、晴、町野左門來禮、及夕水野宇兵衛來話、廿日、快霽、上野御成、今日灸治、
 廿一日、晴、今日堀田筑前守加增四萬石、牧野備後守二萬石御加增、
 廿二日、朝雪後雨、午後晴、風燒香拜、神主、雜煮吸物、食事上食、獻盃酒、令吉田江右衛門詣宗三寺、

廿三日、晴、到淺野内匠主、午後到津輕太守、弔兩弟之死、

廿四日、晴、甚長閑、増上寺御成、高橋十郎左衛門來話、廿五日、晴、北風、酒井主稅來話、

廿六日、

廿七日、晴、北風、午後止、金助町出火、及酉下刻而止、近年無之大火、今日到戶田八郎兵衛宅、歸路依火事而到津輕監物宅、

廿八日、晴、將軍家御風氣、無御禮、今日奥州福嶋城主本多中務大輔依召而著、廿九日、曇、

夜雨、

二月六

朔日、己卯、二月節快霽、北風及夜而休止、日光御門主御禮如常式、松浦壹岐守來話、町野壹岐守來話、

二日、快霽、但有北風、三日、四日、雨、五日、雨、松浦壹岐太守來話、

六日、快晴、到津輕太守、夜細雨、自本所松浦太守之簾中移上屋敷、

七日、晴、長閑、酒井主稅到、駒木根惣兵衛來謁、水沼五左衛門來、八日、九日、晴、

十一日、微雨、晚晴、今日堀田筑前守加增拜領之祝儀之能、今日到津輕大學宅、年始且又新宅之賀儀、同氏藤介、田村藤大夫、津輕玄蕃等來會、

十二日、晴、吉田大之丞、杉村清右衛門小笠原遠江守家人來謁、

十三日、晴、到淺野内匠主、直問戶田山城守亭、午後到津輕太守、及初更而歸、

十四日、雨終日不休、朝拜如例月、令吉田江右衛門詣宗三寺、

十五日、二月曇、到松浦壹岐守亭、今日戶田山城守拜領岩付城、且加增一萬石、合五萬石

十六日、晴、夕北風、今朝松浦壹岐守來問全書、十七日、晴、今日愚妻與監物室、到大學宅、

十八日、彼岸晴、松浦肥太守參府、與藤介到彼亭、十九日、曇、南風微雨、風終日不休、

廿日、雨、上野御成無之、

廿二日、西風、拜神主如例月、到宗三寺、及初更而雨、今日日本多出雲守、同越前守、領知被召上、一萬石被下之、兩人不斷之形儀不正、且領分仕置甚不宜也、

廿三日、自曉大雨、東北風、午後雨止、到松浦太守、廿四日、晴、今日戶田八郎兵衛所賴之

武器出來遣之、

廿五日、晴、朝地震、下谷稻荷社祭、藤介爲見物到大學宅、廿六日、晴、餘寒甚、本多美作守卒、爲其悔到本多備前守亭、廿七日、曇、微雨、廿八日、阿蘭陀人御禮、廿九日、堀田對馬守御加增五千石、晦日、雨、今夕夢、五層天守大屋瓦葺上有龍、其尾在屋上、其頭在予前、於行路見之、

三月大

朔日、三月節、己酉朝雨、午後晴、朝拜神主願神如常、今日松浦太守御禮、夕到彼亭、

二日、雨、三日、晴、夙拜願神神主如常、在宿、各來禮、松浦太守賀上巳、祝嘉肴、

四日、晴、辰中刻到淺野内匠亭、午後到津輕太守、藤介同道、五日、晴、到松浦壹太守、太守、饗肥太守也、六日、晴、佐藤平太左衛門來話、

七日、晴、大嶋圖書來話、今日開瑞夢、八日、微雨、南風、

九日、晴、甚暖風、西尾隱岐守賜橫須賀、本多越前守跡今日祝饗於家僕、十日、晴、甚暖、愚妻到

監物宅、

十一日、曇、南風、貴田長大夫來、及晚炊、(孫)長大夫自舊冬腫物相煩難平治、行步足不任心故

來話、三浦平大夫來、今日西山六郎兵衛來、

十二日、曇、晝後到松浦太守、太守今日獻馬、十三日、土用雨、北風迅雨、終日不止、天文

者才庵來話、今日玉淵禪尼忌月、燒香、食事上食、

十四日、到津輕太守、藤介同道、十五日、入專晴、夙拜願神神主如常、未刻津輕太守來

臨、松浦壹太守亦到、

十六日、(三月)中晴、松平若狹守拜領播州明石、土井能登守祝越前大野、

十七日、晴、到松浦織部宅、肥太守及兒島介左衛門來會、

十八日、曇、夕雨、貴田孫大夫來、今日幕下之諸士、於御丸有射的、

十九日、南風甚、及夜而北風雨、今日昨日射的之諸士祝黃金、

廿日、晴、甚冷寒、北風、稻垣信州來話、廿一日、

廿二日、晴、祭神主如例月、令大津吉左衛門詣宗三寺、石川美作守小室拜領、西尾隱岐守跡、奏者御番

稻葉石見守爲若年寄、朽木和泉守爲御本丸御近習、石見守跡今夕南風甚、宗對馬守屋敷北之步行衆失

火、

廿三日、晴、甚長閑、人皆著給、午後到津輕太守、

廿七日、晴、到津輕太守、有暇乞之饗應、及晚急雨如灑、淺草邊辻風無雨、

廿八日、晴、御禮有之、廿九日、晴、到松浦太守、

五月小

朔日、戊申晴、神拜如例、今日栗毛馬號別到厩、二日、晴、為暇乞到津輕太守、

三日、五月節曇、細雨忽止、今日津輕太守發駕、依上野御法事、淺草通也、津輕大學、同監物供奉、

四日、曇、午後雷雨、北風甚盛、淺草後雷落、家人無別條、旅人忽入此家、待雨晴、逢雷落而

死、今日御法事、聽衆、馳走衆、賜雨衣笠、畫前牧野因幡守勤之

五日、入專朝晴、神拜如例、已刻雨、藤介到松浦太守、六日、晴、到松浦太守、太守饗予及

藤介、有盃酒、

七日、晴、藤介到松浦太守、謝昨日之饗應、今日麻生二郎兵衛初來、

八日、晴、上野御成、御東帶、諸大名供奉、七日八日有被物等、今日牛丸道策來問、牛丸元肥州加々山城主、加

々山者佐々木餘流也、九日、晴

十日、澤田平大夫藤堂和泉守家人為暇乞來、十一日、朝少雨、晚晴、為暇乞高橋十郎左衛門室來、

是近日大聖寺へ引越也、今日代松浦太守裁書翰、送長崎聖福寺鐵心和尙、鐵心和尙者隱元禪師

高弟、

十二日、朝霧、夕熊澤作右衛門來話、有蕎麥、十四日、晴、祭神主如常、令吉田江右衛

門詣宗三寺、

十五日、晴、朝拜如常、今朝高橋十郎左衛門發加州大聖寺、予所召遣之女、亦賴高橋送播州、到松浦太守、訪

水野宇兵衛腫物、

十六日、晴、今日馬別號斃、自去七日患祕結、中西壽閑療治之、水沼五左衛門為暇乞來話、明

日到備後也、五左衛門事、藤堂和泉守召抱之、七月初可到勢州云々、

十七日、晴、朝細雨忽止、終日冷氣、今日津輕大學室為年始來禮、自舊冬久病、頃日快氣也、

十八日、(五月)晴、甚暑、今年無之、今日到大村太守、有饗應、到淺野内匠亭及大嶋雲八、本

多備前守宅、

十九日、大雨、午後屬晴、熊澤作右衛門、同右衛門八來話、

廿日、快晴、今日田村彌左衛門十三回(忌)、以使弔之、於德雲寺有法祭、予以腹中煩不得

到之、

廿一日、朝曇、夕雨、今日求樽木欲葺書院、

廿二日、曇、法祭如例月、令吉田江右衛門詣宗三寺、廿三日、從今日造榑木、
 廿四日、微雨、午後及夜中大雨、及晚大風雨南風、潦水甚滿、今日津輕監物室來、今晚有奇夢、
 有台命令僕爲檜垣能、僕答云、檜垣名亦不知之、況其能乎、然台命不可默止之、畏承
 之、則今日ヨリ可習之、此時予上下禮服而答之、夢覺之後、問檜垣之能、此能謠家四座共
 爲大事、三老女之一也云々、

廿五日、晴、夕雨、大嶋圖書來話、大村太守送鮎酢(鮎)、今日內藤出羽守爲御留守居、米津周防守
 爲大番頭、松浦市左衛門爲步行頭、

廿六日、雨終日不休止、今日桑山美作守知行被召上之、三百俵被下、上野御法祭之節、有亂心體之事、狩野法眼

令源八問畫事、廿七日、晴、晚微雨、到松浦太守、

廿八日、晴、朝詣淺草寺、凡此間甚冷寒如秋、世上瘟病甚多、賤民多死、京都飢饉之上、瘟病甚
 行、町人賤人皆死亡、今日晝已後猶冷寒、午中刻如白虹貫日、而日影不曇、自乾、到巽、唯有中無兩
 端、夕曇、

廿九日、朝曇、松浦太守、使村松伊織送兩種、是堀田筑前守所送之也、今月甚冷寒、

六月小

朔日、丁丑雨、朝拜如例月、今日、開廿四日之夢、饗家僕、今日大村太守賜熟瓜、

二日、朝晴、午後雨、大學母儀來話、今日修書院之屋上、

三日、晴、甚暑、到松浦太守、今日見松浦太守所賜之金扇并暑服、予去歲五月廿一日、夢見此
 扇子之義、今想合此甚奇、今日於松浦亭、談予先日所夢之檜垣能事、太守云、是祕曲也、其
 言云、冰出於水冷於水云々、甚奇瑞云々、

四日、(六月)節晴曇相交、微雨、今日津輕使者來、五日、微雨、六日、大雨、午後晴南風、

七日、晴、夕到松浦太守、甚暑又冷、

八日、晴、未及甚暑、稻垣藤九郎爲暇乞來話、津輕使者岡勘解由來、賜恩賜之裕貳領、丹羽
 玉峯左京大夫、隱居號玉峯、使者到、賜瀑布、

九日、晴、甚暑、今日監物室與野妻到戶澤彌五兵衛、從津輕飛脚到來、津輕監物自途中病
 氣、然得快氣、未及本復、

十日、微雨數下、白山本御殿御成、有御馬、各御供、

十一日、曇甚暑、小笠原佐渡守來話、有蕎麥、今夕夢、後齒四壁悉熟柿、在大木俗所謂如鈴
 成、木之上下皆柿、或以桶取之、或以籬取之、

十二日、晴、甚暑如燒、到津輕太守留守、謝岡勘解由之使來、十三日、甚暑、十四日、甚暑、神拜如常、已刻到宗三寺、馬上甚暑、草木亦不_(元字)動搖、午前到稻垣信州太守、及申下刻歸路、今日之暑近年不知_(元字)之、及夜而月明涼氣、十四日、佐野主馬_(改三右衛門)、國領半兵衛、爲御勘定奉行之列、

十五日、甚暑、有風、神拜如例月、及夜田村藤大夫來、告津輕監物死、_(當三日夜半死去)於營中、北條安房守與久保吉右衛門有口論、

十六日、晴、溽暑、依嘉定各登城、今日監物死告內室、甚悲歎、愁淚無止時、

十七日、_(土用)有風甚暑、松浦太守、大村太守、稻垣太守、以使价_(賀)弔悔監物卒死、有音信、

十八日、酷暑、南風、松平加々守御暇、加々守病氣又有私用、而今日迄御暇無之、十九日、曇、涼風如秋、夕細雨、

廿日、_(六月)雨終日不止、冷氣甚、今日吉田江右衛門發津輕弔監物、小笠原壹岐守來訪、慶林院、本多備前太守、各有惠賜、

廿一日、雨、涼如昨日、自十九日如秋、久保吉右衛門_(儀)、牧野駿河守御預、依去十五日之口論也、今日松浦太守貺公方家御所持之金扇子貳本、去年五月廿一日所夢果相應、

廿二日、晴、甚冷如秋、不堪暑服、白日皎々如秋、終日無暑、及夜而快星甚冷、法祭如常、令蘆田清介詣宗三寺、晝嘗沼主水來話、

廿三日、快晴、冷如昨日、今日津輕監物三七日、燒香、廿五日、晴、甚冷、

廿六日、晴、冷如昨日、夜中微雨、自廿三日之曉、牧野備後守痢病、近日快愈、今日太田兵大夫來_(監物家人)

廿七日、微雨、甚暑、夕甚涼風、大村太守貺暑衣_(桑二領)、

廿八日、微雨、午前南風、微夕不止、如秋冷、今日監物遺室歸宅、_(自去月廿四日滯留野妻亦送之)

廿九日、朝晴、少而雨、夕雷鳴夜雨、野妻歸宅、今月甚冷風如秋、

七月大

朔日、_(丙)朝雨、忽晴、神拜如例月、午後暴雨甚雷、及夜而不止、初更晴、雷落所三十餘所、御城中所々落、人馬或死、_(ソノカミモ)昔年來人不聞之云々、

二日、曇、晝後又雷雨、今日諸大名依昨日之雷落、到月番之老中窺之、

三日、晴、暑冷相交、今日津輕監物初月忌、燒香點茶、夜中西方大雨、

內宮臨時御造營、并兩宮式年之御遷宮、桑山下野守、大嶋雲八兩人、奉行被仰付、兩宮之御

年譜

三〇九

造作領三萬石也、各有其職家勤之、不及入札、自今年八年而式年之御遷宮有之、松浦太守三鱸魚、

四日、曇、午後大雨、夕止、酒井主稅、持參飯田半兵衛所持之、大神君之御書等、盥嗽而拜之、飯田半兵衛者、織田信雄之老臣也、今其三代半兵衛牢人、

五日、雨、夜中大雨、到松浦太守、依牧野備後守痾病平愈、有賀儀之饗應、大村太守三七夕之嘉儀數品、松浦太守三桑染之暑衣二領、

六日、(七月)朝雨、夜中大雨、戶田山城太守三暑衣三領、十蛇一折、(個)直衣宇右衛門三使者傳三自翰、

七日、入朝雨、午前晴、午後又雨、夜中大雨、神拜如例、各來禮、藤介到松浦太守津輕太守、三七夕之禮、

八日、快晴、殘暑如燒、今日道秀居士忌日、法祭如例年、今日津輕監物五七日、於宗三寺法祭、施餓辰刻到宗三寺、夕遠雷、鐵炮藥貳箱遣平馬宅、

九日、快晴、殘暑甚、大村太守三日州糯、十袋、有馬周防松浦太守三川越瓜、小笠原佐渡守三縮衣并炮一籠、今日送大石賴母縮衣一領、素麵一器、能州鯖、

十日、殘暑甚、夕熊澤作右衛門來話、十一日、殘暑甚、夕岩之助、代大學三為生見玉之嘉饗、

十二日、殘暑甚、今朝藤介三為生見玉之饗、午後涼雨遠雷忽止、板倉市正送素麵、酒井主稅來話、十三日、曇、夕雨、中川金右衛門戶田山城來話、大石賴母來會、大村太守三嘉肴、令下天津吉左衛門詣寺々、送墓前之燈籠、

宗三寺

貞以公 大挑燈

妙圓 中挑燈

妙知公 同

鳳林寺

松源寺

悟法昌頓 中挑燈

了室貞因 上同

慶養寺

青春 同

今夕設合祭之座於上壇、トス上右、凡八座、

一 鷗宗慶 考妣 二座

月山宗鎮 考妣 二座

貞以尊神 妙智尊神

二座

普澤宗慶 考妣 二座

年譜

酒茶菓瓜團子抹茶、每座三拜燒香、野妻、藤介相^ス之、

十四日、雨、夙燒香點茶、拜^ニ神主、食事上^一食^五汁^一、午前索餅、夕團子酒茶、日沒^ヒ刻送^レ神百拜、又期^ニ來歲之合祭、夕戶澤彌五兵衛來話、

十五日、雨終日、夕晴、月甚明、神拜如^レ常、月甚明、出^ニ南亭、各出座、野間源介、富田義兵衛、蘆田清介、藤介、談^ニ江戸

城事、至^ニ今年二百廿六年、康正二年初、長祿元正終、道觀廿五歲築^ニ此城、初在^ニ品川館、見^ニ水

十六日、晴、已刻已後雨、蒸暑難^レ凌、今日書^下加去卯歲予到^ニ當地^一之後所^ニ書寫^一之書籍目錄、

十七日、終日或雨或晴、一日之間數變、夕到^ニ松浦太守、今日諸町人天下一號御禁制、京、大坂、堺、南都、長崎以^ニ繼飛脚^一傳^レ之、

十八日、微雨、稻垣新右衛門、近木權右衛門來話、松浦家

廿日、微雨、夕晴、大嶋雲八爲^ニ暇乞^一來話、到^ニ勢州^一

廿一日、中細雨不^レ止、田村藤大夫來話、今日從^ニ播州室津^一具足櫃之覆來、是兼所^レ詔也、

廿二日、微雨、拜^ニ神主如^レ常月、今日津輕監物七々忌、令^ニ藤介詣^ニ宗三寺^一、

廿三日、曇、夕雨、夜中不^レ止、今日吉田江右衛門從^ニ津輕^一歸、成田兵助書狀到、大村太守貺^ニ數品之嘉味、是明日監物遺室開^ニ精進^一也、

廿四日、雨不^レ止、今日監物遺室開^ニ素食、野妻從^ニ夜前^一到^ニ彼宅^一、

廿五日、甚雨終日不^レ止、夜亦然、此間南部大膳獻^ニ上初鶴^一、不時之物不^レ足賞、御機嫌不快云々、

廿六日、晴、殘暑甚、到^ニ津輕太守、謝^ニ監物死後之厚情、今日述^ニ合戰年月短歌^一、廿七日、曇、殘暑、大學室爲^ニ盆禮^一來、

廿八日、晴、殘暑甚、廿九日、晴、微雨、晦日、晴、微雨、

今月陰雲微雨、有^ニ殘暑、然屬^ニ秋涼、凡諸國甚豐饒、唯欲^ニ大風之無^一吹而已、今月朔日之雷落、江戶竟人不^レ覺^レ之、

八月小

朔日、丙晴曇不定、或微雨忽晴、夙神拜如^レ例月之初供、今日諏訪祭、供^ニ醴酒、強飯等、祈^ニ七難之即滅^一、

庭前有^ニ囊荷草、一實生^ニ數花^一有^レ日、今日花瓣甚美而又生、故取^レ之賀^レ之、此草依^ニ音聲之響^一訓^ニ冥加、人皆賞^レ之、冥加者天命之加也、故賀^レ之以祝^レ之、

今夕夢、賴朝迎^レ盆送^ニ迎百神、浮^ニ百餘艘之船、音樂滿^レ空、群侯相集迎^レ神又送^レ神、十七日有^ニ賀儀之猿樂、予詳^ニ此事告^レ人、發^ニ价於遠方^一、

二日、二百十日晴、今曉見彗星、戌方出現、其芒丈餘、此間久出現云々、三日、殘暑如燒、夏後不覺之、菅沼主水來話、

四日、殘暑如昨日、今日松田五郎左衛門從津輕來著、今月監物遺室爲臨產之月也、夕、松田來謁、

五日、殘暑、酒井主稅來話、作内外之幕小形、來問藤介、今日從津輕數品之嘉味到來、今夕寺星見西方、二日已後初見之、其光尤堪觀、今日野妻到監物遺室、

六日、八月朝微雨甚涼、今朝監物遺室送嘉肴數品、去月依忌中生見玉之賀饗延引也、

七日、雨終日不止、夕西尾小左衛門來話、談西尾系圖、小笠原丹後守送鱸魚、

八日、入事曇、夜中雨、平馬來話、馳价送數品於大石賴母、明日內匠頭發三嶋也、是依朝鮮人來著之馳走也、

九日、細雨、今朝既饗於家僕、昨夜夢宇津宮大神宮及二荒明神參詣、十日、雨、夕止、蛭ヲ飼予癩、

十一日、雨、夕止、今日酒井大和守、稻葉石見守御加增五千石、今日小山田彌市郎等惡黨人曝市、此彌市郎自當春一度々諸大名蒙仰、人別索諸國、去月初得之、拷問數度、坂本右衛門佐、北

條安房守承之、

十二日、雨、午後止、西玄甫來、見予痛所、

十三日、晴、夕戶澤彌五兵衛、田村藤大夫來話、夢見、詣神社登高、社人整行烈上(列)山坂、予敬屈對之、輿中開戶問予、予以姓名告之、神馬黑牽之、夜來初聞雁聲、

十四日、晴、冷寒如冬、法祭如例、令大津吉左衛門詣宗三寺、予依痛癩而不能參詣而已、午後甚惡寒、瘧疾、

十五日、雨、神拜如常、無月、惡寒甚於昨日、新木玄登來診脈、十六日、雨、今日又惡寒如昨日、

十七日、雨、午後晴、玄登來針、惡寒熱少減、十八日、晴、玄登針、瘧疾減、大學母儀來訪、今日鹿毛馬來厩、十九日、晴、玄登針、瘧疾退如常、

廿日、晴、玄登針、夕松田五郎左衛門、牧野角左衛門、毛利傳兵衛來訪、有湯餅、今夕夢江州多賀神、故浴湯而祈監物遺室平產、今夕暮後、西方有芒星出現、

廿一日、晴、今日朝鮮人來著本誓寺、已刻已後雨甚、午刻後雨止、未刻各來著、大嶋雲八發勢州、

廿二日、(八月)曇、堀田筑前守、大久保加々守、阿部豊後守衣冠至本誓寺、微雨、今日法祭如例、令吉田江右衛門詣宗三寺、大村太守賜甲州梨子一籠、

廿三日、曇、夜中大雨如灑、大村公貺品川濱燒一籠、今日野妻到鷹匠町、田村藤大夫來話、昨夕夢、與稻葉美濃守對話、(太)守問聖賢之差別、予答云、不知聖賢如何知人乎、(太)守屈服、招予於閑所問之、

今日朝鮮人上官、到(賀)大久保加々守謝禮、

廿四日、彼岸晴、赤熊又左衛門來訪、岡六之介亦來、爲朝鮮人見物來也、佐藤平太左衛門饋(右)岐阜鮮、

廿五日、晴、甚冷寒、初浴湯、今日家僕依不義而追放、山中外記送鯛鹽辛、寺尾太郎左衛門饋庭前柿五十顆、

廿六日、晴、刁刻藤介等用意、爲見物朝鮮人到本町、

廿七日、晴、朝鮮人登城、見者如堵、今夜刁刻、監物遺室有產氣、夜明到彼宅、戶澤彌五兵衛、久保田五郎左衛門、須田宗入、田村藤大夫來會、

廿八日、晴、今日朝鮮人西御丸御禮、見者如堵、於西御丸朝鮮人御禮之式有異論云々、

廿九日、晴、午刻出產男子、各慶賀、則以飛脚告津輕、慶林君、平藏主各賜价有慶儀、今月彗星出現、朝鮮人登城、

九月大

朔日、乙晴、在監物遺室宅、不及神拜、松浦公、大村太守、本多太守、各馳价有慶賀、予爲浴湯歸宿、夕到產家、

二日、雨終日不止、在產家、三日、晴、在產家、四日、晴、爲浴湯歸宿、晚到產家、

五日、晴、在產家、今日朝鮮人於屋容須有曲馬、將軍家於和田倉石垣上御覽、新造御殿、馬場五町左右、有土居、今朝喜多見若狹守賜御腰物、

六日、晴、甚長閑、於產家有七夜之賀儀、松田五郎左衛門捧目錄、夙來貺產子、產婦、所謂護刀、產衣、箱肴等也、予及野妻、大學母儀夫妻、皆送賀儀、慶林君、平藏主亦賜賀儀、戶澤、田村、松田皆呈賀儀、朝有饗應、松田爲上座、田村、久保田、戶澤、田村彌一右衛門、三木惣右衛門、養運、宗入、藤介列座、晚饗女中衆、

今日松浦太守、大村太守、本多太守、各賜七夜之賀儀、產衣、鳥目、箱肴、樽酒等盈座、今日朝鮮人御暇被下、堀田筑前守、阿部豊後守上使、

七日、晴、甚暖南風、今日松田五郎左衛門歸國、午後到松浦太守、謝昨日之餽、有饗應、今日朝鮮人到宗對州亭、及晚南風甚雨、

八日、(九月)節、晴、晚到大學宅謝禮、今日浴沐、及夜而雨南風、

九日、快霽、今朝神拜且燒香、饗報願神、奉告產婦、產子之平安全非人力偏在神慮、

松浦太守賜嘉肴賀、今日藤介爲重陽之嘉儀、到松浦太守、津輕太守、今夕灰降、以黑漆之盆受之多聚、淺間燒灰乎、

十日、晴、到產家、到松浦太守、十一日、晴、十二日、曇、夕晴、今日朝鮮人歸國、到神

(奈)川、晝品川、

十三日、午後南風暴雨、近日無之、今日大村公貳桑染一襲并品川兩味、及甲州葡萄一籠、獨活一籠、夕晴有月、如三五之明月、今日產家二七夜、

十四日、曇、法祭如例、令吉田江右衛門詣宗三寺、今日津輕監物卒哭忌、江右衛門燒香、

十五日、微雨、神拜如常、今日妙圓大姉第十七回忌、一昨十三日令大津吉左衛門詣宗三寺、爲

讀經領(料カ)白銀貳十兩送之、從昨晚法祭、今日食事上食、今曉夢大福神之舞、黑色直衣、烏帽子

十六日、晴、今日愚妻從產家歸宿賀之、

十七日、晴、甚冷寒、朝貳饗於家僕、是例月之賀饗、及長命出產之賀、十五日之夢賀也、松浦太守得初鱈、招予及藤介、故到彼亭、有饗應、今朝頂戴神前冥加草、今曉夢、登神殿之屋山、有千木堅魚木、

十八日、晴、到長命宅、十九日、晴、大村太守來臨、吸物有盃酒、太守病後五年而來臨、

廿日、土用晴、今曉夢、紅紙有堀田筑前守狀二行、其言借予書見之云、是非人間作、抑神作

乎云々、猶欲借他書、殆似雄、備集予示於野妻、其上書山鹿甚五左衛門樣堀田筑前守有之、樣之字甚

草(體)、如抄字、

今日產婦三七夜、贈嘉肴三種、藤介、到長命宅、野妻從昨晚在產家、

廿一日、晴、今日妻歸宿、大村太守貳鴨兩翼、賀昨日三七夜之義、廿二日、晴、法祭如常、

令吉田江右衛門詣宗三寺、予有脚痛也、

廿三日、(九月)中雨、今日津輕太守飛脚到來、問予瘡病已後、且賀長命出誕、貳串蛇一箱、明朝野

間源介歸鄉、是戶澤能登太守不好在江戶也、藤介、清介各有送行詩、

廿四日、晴、源介發足、廿五日、晴、南風、廿六日、晴、北風、

廿七日、晴、甚長閑、堀田筑前守、牧野備後守、到松浦太守、予與藤介及暮而行問之、

廿八日、晴、松浦太守貺_二口切之茶、峯肌、初昔并嘉穀、大村太守亦貺_レ之、
 廿九日、晴、藤介與_二新木玄等_一到_二長命宅_一、
 晦日、晴、甚長閑、今日長命宮參、藤介辰刻到_二長命宅_一、予亦到、有_二饗應_一、
 凡朝夕神拜咒文、自_二申歲九月迄_二今日_一、殆三年勤_レ之、自_二明日已後_一、唯朔望晦三度用_レ之、シヤクシヤク數_二似_レ瀆_レ神也、

十月小

朔日、乙亥晴、甚長閑、各來禮、北村彌右衛門、渡邊將監_{津輕太守家人}各以_二箱肴_一賀_二長命生誕_一、今夕玄
 猪、各登_二城_一、夕松浦太守以_レ价賀_二玄猪_一、貺_二赤餅_一、野妻從_二長命宅_一歸宿、此間長命虫氣故在留、
 二日、晴、如_レ春、自_二大坂_一小川兵左衛門、河合作右衛門、以_レ書賀_二長命出生_一、青山大藏(少輔)家
 人横山十郎右衛門、送_二庭前之秋菊數朶_一、藤介有_レ詩、三日、晴、
 四日、細雨終日不_レ止、田村藤大夫來話、今夕津輕太守姉君卒死、
 五日、晴、到_二津輕太守_一、弔_二姉君之死_一、菅沼主水贈_二岐阜鮎鮓_一、六日、晴、大石賴母來話、
 七日、(十月)節細雨、及_レ夜而雨、今日灸治、送_二熟柿及素菜於_二慶林君_一、
 八日、晴、大村太守、令_二建部氏問_二昨日之灸治_一、

九日、晴、今朝貺_二饗於家僕_一、十日、晴、十一日、晴、十二日、晴、
 十三日、晴、明日先妣公正忌日、依_レ之詣_二宗三寺_一、及_レ暮而設_二茶菓酒_一、拜_二神主_一、今夜北風烈、
 十四日、晴、甚寒、今曉燒香、設_二茶菓酒_一、食事上_レ食、三汁七菜、今日及_レ夜初食_二冬瓜羹_一、今日收_二
 別墅之大根_一、
 十五日、晴、神拜如_レ常、多田藤大夫來話、及_レ晚炊、戶澤彌五兵衛携_二外孫_一而來謁、
 十六日、晴、到_二大村太守_一、藤介同道、十七日、晴、入_レ夜而雨、十八日、大雨終日不_レ止、夕
 水野宇兵衛來話、
 十九日、晴、夜中雨、淺野内匠頭貺_二口切茶并雁_一、廿日、雨終日不_レ止、今日長命五十日之賀、野
 妻從_二昨日_一在_二彼宅_一、
 廿一日、晴、夙到_二淺草寺_一報賽、夕熊澤右衛門八、大河内彦七來、松浦太守家人
 廿二日、晴、法祭如_レ常、令_二吉田江右衛門詣_二宗三寺_一、廿三日、(十月)中晴、
 廿四日、今日津輕鹽物遺跡百人扶持貺_二長命_一、田村藤大夫傳_二說之_一、依_レ之爲_二禮謝_一、大間兵大夫明日
 發_二津輕_一、

廿五日、晴、菅沼主水來話、及_二長篠十間_一、晚到_二松浦太守_一、於_二馬場_一見_レ馬、廿六日、晴、

廿七日、晴、御堀廻御成、 廿八日、晴、晦祈如常、 廿九日、晴、到淺野主、歸路到本多備前太守、

霜月大

朔日、甲辰從昨夜雨不_レ休止、今日大雨北風、登城之大小名供奉悉濕_レ雨、暴風、民屋多損、神拜如常、自今晚講大學、終序

二日、曇、今晚大學經一章終、 三日、曇、夕快晴、駒井半右衛門來、豫三浦平大夫爲先容、

四日、晴、夜雨、小笠原佐渡守來話、有蕎麵、

五日、晴、甚寒有風、今夕松浦太守簾中招_レ予饗蕎麵、今日高倉主計來、津輕太守家人今夕講傳二章、

六日、晴、甚寒有薄氷、霜尤重、今日到津輕太守、謝長命拜領亡父之遺跡、大學室來泊、今夕講大學、

七日、晴、甚寒、大村太守賜綿子、襟卷、頭巾、 八日、晴、無御成、

九日、八事入晴、賜饗於家僕如例、稻葉美濃守所上之濱屋敷、賜堀田筑前守、今日到菅沼主水

亭、有口切會、問淺野隼人、歸路寄石谷市右衛門訪病、且到西山六郎兵衛宅、西山今年爲駿府之番、依病氣而延引也、

十日、月十一節甚長閑如春、 十一日、晴、丹羽玉峯賜雁、 十二日、晴、到松浦太守、見弓鐵炮之藝、

十三日、晴、甚冷、今夕講大學第九章、戶田山城太守、賜口切御茶并炮一折、

十四日、夕雨、甚冷、法祭如例月、依癩痛令大津吉左衛門詣宗三寺、大村太守賜饗食數品、

十五日、晴、神拜如常、今日堀田下總守、聚松平伊與守娘、丹羽玉峰外孫甚簡略無美麗、今夕大學講終、

十六日、曇、雪少降、夜晴、有月、 十七日、寒氣甚有氷、今冬初見厚氷、今日初練正月餅米、初講論語、

十八日、晴、甚冷、長命母子初到、大村太守賜醴酒、鴨、 十九日、晴、甚冷、晚地震、大村太守與予到松浦太守、有饗應、至馬場有馬、 廿日、晴、

廿一日、晴、到松浦織部宅、口切松浦太守亦到、今日御代官中川八郎左衛門父子切腹被仰付、近年依不屆也、凡三萬兩之引負云々、晚戶田山城太守賜放鷹之雁、

廿二日、晴、法祭如常、令吉田江右衛門詣宗三寺、今夕到戶田太守亭、有蕎麵、有政事之談、且及大學天下國家治平之義、

廿三日、晴、田村藤大夫子彌左衛門、藤左衛門、爲藤介門人、今日爲誓約、

廿四日、晴、今日開放鷹之雁、此間甚寒無風、朝夕地氣甚厚、日色如銅、米代甚賤、以金一兩代壹石六斗、大坂甚下直、上總介殿於信州諏訪、此間病氣、以奉書被尋之、

廿五日、(十一月)中、冬至晴、廿六日、晴、廿七日、晴、津輕長命歸宅、此間在滯、

廿八日、晴、神拜如常、已刻川田窪出火、北風甚、松平攝津守、松平上野介類火、自是其餘火四五裂、而紀州屋敷及尾州五段長屋西少々類燒、悉類燒、飛火上杉彈正屋敷、終到芝札辻、及夜半而猶燒、近年無之大火事、風者不如先年西歲風、

今夜夢想、或人扇子端書澤庵宗彭六十二歲富士歌、予扇子白書之、上句迄覺之、

知者ナラハ修行ニヤセン富士ノ山、此下句失念、

今夕上屋上見火災之間、向有富士山、左右類燒之餘煙相分、而其中富山出現、尤堪壯觀、

廿九日、晴、到松浦太守、徑問淺野亭、内匠主昨日爲火事加勢出勢今日令阿部豐後守、賜金二萬兩於紀州

中納言殿、

晦日、晴、晚到松浦太守、饗牧野備公所進之鷹雁、

極月大

朔日、甲戌神拜如常、今日朔日之終、故神拜尤厚、今日外祖母正忌日、(獻)茶湯、爲今日之賀儀、

藤介到松浦太守、津輕太守、夕田村藤大夫來話、

二日、晴、夜講八份篇、北方有火事、三日、晴、半陶藥、居家必用來、拔書之、

四日、晴、今日開廿八日之瑞夢、午後與藤介到松浦太守、有饗應、又施足輕之藝、此間甚寒、

欲雨雪而晴、夜中地震、夜講論語、

五日、細雨如春雨、筒井只右衛門來話、及晚炊、示不見衆人之向背唯順道義、

六日、自夜中霧深、無風甚暖氣、凡此間如春日、人以爲不祥之氣、今夜終八份篇、

七日、曇雨、八日、晴、甚長閑、九日、晴、甚長閑如春、十日、寒晴、暖氣如春、到松

浦太守、壹太守口切之茶到、故饗應之、

十一日、霜重、甚長閑、夕南風微雨、十二日、甚霜、其暖如春三月省衣、今日改藤介居間之

疊、依甚破損也、今日津輕飛脚到來、津輕大學加增云々、

十三日、晴、菅沼彌一右衛門注水家人來話、及兵談、今日松浦太守賜兩樽兩種、是依大學加增之賀

儀也、十四日、晴、法祭如常、詣宗三寺、

十五日、晴、神拜如例月、今日到津輕太守、謝大學加增之義、直到大學宅、又到松浦太守、孫

女依緣組之仰出也、十六日、晴、
 十七日、晴、及夜而微雨、雪少見、夜半屬晴、十八日、甚寒、近日無之、淺草市如例、菅沼
 主水父子到、岡織部爲藤介門人、太刀折紙及馬具持參、
 十九日、寒氣甚、今夕松浦太守招予父子、饗應鶴料理、依大學加增之祝儀也、廿日、甚寒、
 拂煤、
 廿一日、甚寒、今日津輕長命魚味初、藤介早朝到彼宅、今日口切之茶送津輕、明日先考正忌日、
 故從今晚燒香茶菓湯餅供之、野妻及藤介列座相之、
 廿二日、土用晴、風法祭、食事上食、三汁有酒盃、野妻、藤介相之、午後津輕太守祝歲暮之祝
 儀、廿三日、晴、此間御老中、女中之衣服禁金紗、皆改之云々、未仰出無之、今曉廿四日夢、
 太閤家與天下於予、告之督遂云々、督遂ハ父ノ義也、可告之父ト云ヘリ、
 予所謂是非吉夢、我非其器、又非其事、甚可怖畏之也、廿四日夙起、書之於反古裏、
 廿四日、晴、練正月餅、大學、長命各供鏡、賀歲暮之祝、今晚發價、予亦賀歲暮、
 廿五日、大寒、十二月中晴、大村太守來臨、奉雜煮吸物、村上三右衛門來訪、本多備前守、令筒井只右
 衛門賀歲暮、

廿六日、南風北風相交、廿七日、北風揚塵、今日奉歲末之嘉儀於淺野太守、松浦太守、
 廿八日、晴、北風甚揚塵、未上刻駒込大圓寺中小庵失火、小笠原信濃守、水戸宰相殿、松平加
(賀)々守屋敷類燒、自是火災甚夥、本郷油嶋、下谷池端、上野石橋以南類燒、南日本橋、北石橋、西
 北者駒込本郷、東南者本所深川、ウナキサワ、此間之町屋、侍屋敷悉類燒、及廿九日之曉、筋違
 橋、淺草橋其間之橋共、日本橋、江戸橋其東之橋共不殘、筋違橋、淺草橋、升形矢倉各類燒、傳
 馬町籠舍、谷御藏類燒、
 予與藤介到松浦太守、火事鎮而歸、田村父子兄弟三人、戸澤彌五兵衛、磯谷十介、新八、松田
 五郎左衛門等各類燒、今日之火事、津輕太守家宅殆危故、長命母子依慶林公之命、到白山屋敷、
 故夜中遣包物及席等、晚歸宅、
 廿九日、晴、今日到津輕太守、橋皆墮故、歷水道橋而到、
 晦日、晴、卯刻松平下總守上屋敷失火、無風而不及類燒、此時花房外記能消火達、上聞、稻
 葉石見守承別命賞之、明年爲百人組頭、下總守藏多鐵砲藥之由、家人傳之、火消衆依之猶
 豫、花房捨身在此、故堅行禦之、
 及夜而燒香神拜、守年夜、

凡今年豐饒、四海同一、無大風、無大水米甚下直、草木之菓實亦盛熟終無之、カフナ蔓蕪大根等下下皆棄之、士民亦不貯之、大根賣所如_レ山貯之、歷年而人不買之、

今年冬甚暖氣、終雪不降、北國奥州亦然、十四五年酉、已前冬如此、但越後、山形邊者深雪同申歲前三年冬、濃州、勢州深雪、奥州亦到_レ春深雪、

當春夏京都飢饉餓死人、京都老人未見之、伏見、大坂、堺亦然、大寺皆設_二施行_一、凡一日之非人來食者廿萬餘云々、道中之人馬亦然、京都之賑恤甚遲而餓死人滿_二道路_一、大方老人幼人之卑賤皆盡云々、當春夏之飢人飢死、京都老人前代未聞云々、道中往來之傳馬、於_二途中_一忽死云々、

○五星二ツ在_二柳星之上北_一、相去僅一二寸、舊臘其後次第相遠、然到_二三月_一相去僅一尺餘、猶在_二柳星上_一、天文者ノ云、剋木之星也、案、鎮星、辰星乎、
珍事

○今年七月朔雷落、前代未聞、○今年春夏、京都之餓死及疫死、前代未聞、京都老賤今年殆死盡、○彗星出現、天文者云、今年甚剋木云々、今年霜月、辰星、鎮星、在_二柳宿上_一、相去寸許、臘月末已後又相去、三月在角上熒惑、在_二亢星上_一、秋太白、在_二西半天_一、速退隱、亥ノ三月在_レ東甚明、

○豐年終不聞之、無_二大風洪水_一、五日一風、十日一雨、日々之雨次甚可、無_二大暑大寒_一、草木五穀

皆豐饒、

○霜月廿八日、舊臘廿八日大火、殆如_二天火_一、本所、石町邊者夏既燒、此火事土藏大分燒失、

○大神宮託、將_レ到_二江戸神田明神_一、依_レ之美濃路、東山道宿宿送_レ之、其行粧建_二萬度之祓_一、作_二鹿形_一載_二之馬_一、在_二々宿々送_レ之、路次之散錢不可勝計、既到_二浦和_一、告_二事於板橋宿_一、宿窺_二之江戸_一、未_レ可_レ然之由有_レ之、忽歸_二大宮_一、極月廿六七日也、廿八日江戸火事、神田明神在_二火中_一不燒、人皆爲_二奇異_一、亥正月猶於_二大宮立_二假宮_一、近所之參詣甚多、

天和三年 (六十二歲)

(一月以降二月廿五日迄開、二月廿六日より七月十日迄は原本になく、「集亂本」の綴中より補ふ)

二月

廿六日、晴、甚有_二餘寒_一、(元カ)雨夜終夜不止、迅風、午後到_二松浦太守_一、小嶋助左衛門御船手來會、

比阿蘭陀人來朝、本月三日長崎奉行蒙_二嚴命_一、禁_二毛織_一、翫物及不_レ爲_レ藥物、生類等、依_レ之今度彼國者訴訟願_二今年斗賣_一、ラシコトヲ之、否、則歸帆難_レ叶之間、願_二拜借金_一云々、

昨廿五日、榊原式部痲瘡依_二危急_一、招_二大目付林信濃守_一見_二養子願出之判本_一、是去_二廿一日_一有_二嚴命_一、

向來急病之者、無頭之輩者招目付、壹萬石以上之輩者招大目付、而可令見判本云々、凡此間疱瘡甚多、

凡今年有女服之制、去月廿九日依之、有殿命依之京都之吳服屋二萬餘、窺稻葉丹後守往知恩院訴之、大悲淚挿路、丹後守不能行而歸、凡依此制禁京師之町人殆十萬餘飢云々、

江戸當座之爲繡者千三百人者、頃訴奉行所願繡五所紋、不免之、舊冬火事已後、御服屋所_{有之繡衣八萬五千兩分云々、}凡町人等皆爲絹紬之間糸不入、長崎京都大痛云々、

廿七日、雨止、烈風終日、及夜又不止、微曉、自去冬無如此之烈風之久、夜中火事無之昨日榊原式部大輔卒、廿歲或云十九歲今日(堀)七郎左衛門來、爲全書之誓紙、以藤介、新八爲宛所、今日奉書於津輕、

廿八日、晴、風猶不止、入夜而止、餘寒尙甚、今日野妻到長命宅、朝拜願神、阿蘭陀人御禮、此間四人還俗被仰付、齊阿彌道陸(カ)道三弟子、元道圓、元役者、四郎兵衛正永元館林大夫其後逐、電爲道心者近年依仰切髮、今度還俗被仰付、

廿九日、晴、甚長閑、然有餘寒、晚到津輕長命宅、長命此間有熱也、朔日快氣如常、今日慶昌院殿護國寺御成、戶田山城守、牧野備後守御供、未刻還御、今夜四所有火事之氣、雲甚赤、添(桂)

田八左衛門津輕太守家人、近年在京來謁、

三月大

朔日、卯雨、午前晴、南風、夜中甚風或雨、朝拜如例、今日無月並御禮、松平右衛門佐御暇、

二日、晴、甚長閑、人皆着一衣、晚到松浦太守、三日、巳曇、微雨、朝拜如例、節句、藤介到松浦太守、津輕太守、大村太守馳、價賀今日、松浦太守馳、鴨兩翼四日、雨、今日送鴨兩翼於木村養運、

五日、終日雨、送數子於松浦太守、雨終日不止、五日之夜六日之曉止、今日甚、夕講論語憲問、

六日、快晴、餘寒有之、今日稻垣守貺白魚、目、今日松浦壹岐太守參府、祝參著、七日、晴、到松浦壹岐守亭、賀昨日、備前守家來長衛門來謁、八日、曇、上野御成無之、

九日、晴、今日宗衛門事訴奉行所、夕田村藤大夫到、及晚炊、從大村公嘉看數子到、今日瑞夢、

ウレシサハサテモサカミノ江ノ嶋ヤ

十日、細雨或晴、今日到津輕長命宅、爲年頭之嘉饗、予及藤介、田村藤大夫、戶澤彌五兵衛、田村彌市右衛門、間宮求馬到、及暮而歸、

十一日、雨終日不止、松浦壹太守貺嘉肴一折、夜中春雨不止、今日博奕之徒十人遠嶋、

十二日、三月雨終日不止、大村太守、貺枸杞餅、山芋餅及羹、茶、都松飾、小笠原佐渡守來臨、

九日、小笠原信濃守家來岩波源左衛門事、本多飛驒守御預、

十三日、雨終日不止、夕大雨、間宮求馬來問兵書、堀七郎左衛門來話、今日普照大姉忌月、各素食法祭、今日尾州中納言公著御、

十四日、晴、法祭如例、令吉田江右衛門詣宗三寺、大村太守貺數花并素菜數品、

十五日、曇微雨、朝拜願神、神主如常、夕到戶田(山)城太守、及初更而歸、今日松浦壹太守貺器物、尾張黃門御對顏、無月並之御禮、今日博奕徒子各御預、

十六日、夕雨、到松浦太守、今夕野妻從長命宅歸、今日堀田下總守登城之節、直到御座間御禮可申上之旨被仰渡云々、

十七日、雨、今朝賀去九日之瑞夢、貺饗於家僕、燒香拜願神、向吉方祝長慰斗、三方膳之上、忽然有辨才天之御供米、瑞夢之兆甚揭焉、是十五日、野妻參詣上野辨才天、得取候御供米備

三方膳置之、及夜快霽、星見月白、

十八日、□□晴、甚寒、及夜而雨、今日淺草祭禮、唯神輿、獅々頭、鉾渡之、是寬永五年以前所

渡也、其後天台、天海大師謂知樂院云、江都甚繁昌、作物等可渡之云々、依之如近年大母衣

其他作物渡之、當春法事祭禮、輕可仕旨依仰如此云々、今日有祭、賀淺草觀音、設強飯、

醴酒、各祝賀之、藤介等皆淺草之產也、明日昌頓居士三十三回忌、依之令下大津吉左衛門詣鳳林

寺、遺白銀十兩告燒香之義、赤熊又左衛門爲燒香到江戶、今朝來話、今日岡田吉兵衛遣、

、今曉夢、長命母方送淺黃之上下豆他入黃紋云々、今日東一郎兵衛狀到來、藤堂泉州兵

學之志甚盛欲包語類云々、泉州紋ツタ也、今日送疊表貳十枚於田村藤大夫、近日移新小屋云

々、

十九日、雨、今日悟峯昌頓三十三回忌、貺素食於家僕、辰刻詣鳳林寺寺主設施餓鬼午後歸宅、赤熊又

左衛門來話、及夜有蕎麵、廿日、雨、

廿一日、晴、到大村太守、有兵談、今日於堀田筑前太守、招請老中有猿樂、夜雨、今日松浦

太守貺蛇一折、

廿二日、晴、拜神主如例、令大津吉左衛門詣宗三寺、熊澤民部小大膳來話、大村太守貺素食

年譜

三三三

之具及餅數品、夜中雨、

廿三日、曇、已刻大雨、終日不止、晝後到松浦壹岐太守、參府之祝儀、有饗應、肥太守亦來臨、廿四日、

朝雨、午後曇、凡此間餘寒如冬、

廿五日、晴、今日勅使、院使、新院使、中宮使、東宮使著府、上吏本多筑前守、吉良上野介、今日

桂昌院殿花鳥御成、(松平)讚岐守京都歸^(九)御目見、畠山民部同前、是東宮中^(九)立后之御拜後

爲^(九)御名代、當^(二月九日)上京、今日任^(將)少^(九)、小笠原佐渡守、招請予父子、有饗應、藤介病、脚不、到菅沼主水

來會、歸路到松浦太守、太守今日有急病也、今日津輕大學上著、故到彼宅、而到小笠原亭、大學夕到予宅、

廿六日、快晴、今日津輕太守著座、(府)廿七日、快晴、到津輕太守賀著府、直到松浦太守、淺田

帶刀到、大村太守家僕今日勅使御對談、今日御臺所御花鳥出御、

廿八日、三月晴、南風、爲^(九)勅使御馳走、有御能、今日津輕太守來臨、到^(九)中室、歸路到津輕長命

宅、小笠原壹岐守貳串刺、昨日觀世新九郎父子御追放、

廿九日、微雨、南風、及夜雨、津輕太守來謁、及^(九)晚炊、今日惡徒等於品川、火罪磔罪、

卅日、晴、夜中雨、今日勅答、今井小四郎^(水戸宰相)來謁、及^(九)舊記之談、相公久欲述作百王百代之

記、舊記殆數十部到來云々、關屋新兵衛、有澤九八郎來謁、松平加々及及談話、有兵談、今日柳原町

材木薪悉除之、今日別野園爲^(九)栽植、

凡今月過半雨天、其間陰雲、自廿五日屬晴、北國、飛驒洪水、道中大水、松平右衛門佐滯留嶋

田、五日云々、江戸無洪水、

四月小五星、在柳上、二星、又相近、發惑在三角星上、

朔日、^(癸)夙燒香拜^(三)願神、神主、賀^(三)初夏更衣、有^(三)月並之御禮、多田藤大夫、津輕大學來禮、大

村太守以^(三)使節^(三)賀^(三)更衣、津輕太守貳賀狀、今日送^(三)鯛一折二ツ共於津輕玄蕃^(越州公)、藤介亦送^(三)蛇

一折於玄蕃、今日大久保加賀守發^(九)駕日光^(九)由、

二日、晴、晚到津輕玄蕃及田村藤大夫、津輕大學、今朝公家發駕、

三日、雨、夕止、今日津輕太守參勤之御禮、松平讚岐守任官之御禮、石川才阿彌可^(九)改名之由、今

晝後到松浦太守、有饗應、太守嘗有夢、歌云、

四方ヲミレハ光サヤケキ月影ヲ晝カトゾミル沖ノ松カ枝

爲^(九)世爲^(九)家爲^(九)吉兆、故^(九)圓^(九)之、有^(九)鶴鳥料理、津輕太守貳參勤之賀儀、

四日、晴、午後微雨、雷一聲、忽屬晴、今日賀^(三)津輕太守昨日之儀、到^(三)彼亭、夕津輕大學到、田

中清兵衛^(淺野内)、菊池傳九郎^(菊池東)、鹽瀨與三左衛門來謁、五日、快晴、

六日、快晴、夕熊澤右衛門八、同民部、大河内彦七來及兵談、今日松平薩摩守輕罪之徒五十六人御預、放逐彼國、

七日、快晴、甚暖、今日於日光山、大猷君三十三回御法祭、萬部(經)始、今日長命初到、

八日、晴、到淺野内匠亭、大石頼母依病氣也、九日、晴、南風、在宿、津輕大學到、今日長

久手戰及百年、池田庄入百年忌云々、大村太守送鮮鮎一籠、十日、

十一日、晴、野妻到大學宅、十二日、晴、夕雨、十三日、雨、

十四日、晴、令吉田江右衛門詣宗三寺、燒香拜、神主、如例月、食事上食、十五日、晴、

甚暑、問菅沼亭、

十六日、南風暑氣、天氣曇或雨、夜中大雨、到松浦太守、十七日、終日雨不止、風呂、既享

於家僕、十八日、北風甚寒如冬、五星之内二星去南斗二寸斗、

十九日、北風冷寒、今日木挽工到、廿日、快晴、大猷院殿三十三回忌、上野御成、束帶□□□、

廿一日、晴、諸大名登城、奉賀御遠忌□□法祭成就、昨日登城各奉獻嘉肴美味、今日五星之二

星相去可寸、

廿二日、晴、如例拜、神主、獻茶食、令吉田江右衛門詣宗三寺、今日參勤之御禮并御暇被下

云々、

廿三日、晴、午後雨、大村太守御暇、長命母子歸宅、

廿四日、風雨甚寒、夕晴、到松浦太守、大村太守賜枸杞餅并胡麻餅等、

廿五日、晴、夕雨、今日脇坂中務少輔爲御詰衆、廿六日、晴、夕雨、今日壞土倉修覆之、

廿七日、晴、到津輕太守、有享及暮而歸、廿八日、晴、晦拜如常、公家衆御馳走御能、

廿九日、晴、申刻已後雨、爲暇乞到、大村太守、藤介相從、有兵談、

五月

朔日、曇微雨、夙拜、願神々主、如例月朔、從大村太守、令淺田帶刀來禮、今日勅答、

二日、曇、水沼五左衛門自勢州來著來謁、藤堂泉州家人山田久介爲松浦壹太守吏來謁、今日賜草花及

□一折於大石内室、頼母頃日大病二日、榊原式部大輔遺跡賜於養子某、式部病中、林信濃守至見其判

形云々、今日梶左兵衛敍四品賜加增千石、是三十二年無懈怠朝夕守日光山大猷廟也、

三日、雨、各賜端午時服、大村太守、小笠原壹岐太守、本多備前太守、四日、晴、津輕太守、

松浦太守賜端午之服、各有差、

五日、晴、有端午之賀、拜願神々主、如例月、大學、藤大夫來、有晚炊、

六日、晴、此夕五星(之中)土木之兩星與月相並、其間可^{ハカリ}一寸、今日到^{ハカリ}本多備前太守、太守久病、初享^レ予有^ニ盃酒、藤介、十介到、今日令^ニ松田大和守息女^カ縁^ニ組堀田對馬守、
 七日、快晴、今日土藏修覆棟舉、大工太郎右衛門與^ニ酒肴等目、今日南部大膳大夫復^ニ本知十萬石、
 敍^ニ四品、五星之二星去^レ月可^ニ六尺、二星相去可^ニ六寸、
凡去月廿二三日比相近可^{ハカリ}寸、今其小星甚速西、火星遲舒、
 八日、上野御成、 九日、晴、桂昌院殿上野御參詣、松浦織部到、 十日、雨、 十一日、晴、
 十二日、晴、到^ニ戶田城公、 十三日、晴、朝霧、
 十四日、晴、朝拜^ニ 神主如^レ常、令^ニ大津吉左衛門詣^ニ宗三寺、今夕白雲一毛自^カ西到^レ東、□□末如^レ帚、一□□、去^レ十二日之戌刻、東方有^ニ此雲、 十五日、晴、夕曇、朝拜^ニ 願神々主如^レ例、今日南部四品□□有^レ之、
 十六日、朝曇雨、松浦壹岐太守來禮、 十七日、晴、大村太守爲^ニ暇乞^ニ來臨、有^ニ蕎麥、盃酒、
 十八日、晴、成田半平到^{尾州家人}、今日板倉內膳正知行分散、
三萬石千二郎、內膳子、二萬石越中守、(兄)伯耆守子 今日大石賴母卒
淺野内匠頭家老 與^レ予舊識、
 十九日、晴、弔^ニ大石到^ニ彼宅、 廿日、晴、凡此間陰雲無^レ光、人皆畏^ニ地震、無^ニ暑氣^ニ而著^ニ綿衣、
 廿一日、晴、

閏五月

廿二日、晴、令^ニ大津吉左衛門詣^ニ宗三寺、凡此間病氣、朝拜如^レ例月、
 廿三日、晴、夜小雨、辰後刻地震、今日松平飛驒守、令^ニ高橋十郎左衛門送^ニ白布十疋、千鯛一箱、津輕太守問^ニ予病、星野初昔 賜^ニ濃茶、鹽鴨三、田中孫十郎來話、
 廿四日、晴、辰後刻地震、其後小動數度、自^ニ日光山^ニ注進、去^レ十七日大地震十七度、昨廿三日大地震、所々大破、依^レ之安田勘兵衛爲^ニ見分^ニ今日發足、日光山大地震、御急(報)、御堂無^ニ別條、與院、御寶塔、假御拜殿、假殿、石垣、竹冊^欄大方不^レ殘廢壞云々、依^レ之堀田對馬守今日發足、
 廿五日、晴、夕雨、依^ニ日光山地震^ニ各登城、今日奈須遠江守石(州)扇拜領、
 廿六日、曇、夕晴、津輕玄蕃來話、凡此間無^ニ暑氣、皆著^ニ綿衣、 廿七日、晴、蒸暑、
 廿八日、晴、午後雨、晦拜如^レ例、 廿九日、晝後雨、到^ニ津輕太守、又問^ニ松浦太守、
晦日立 晴、大學到、有^ニ蕎麥、今日松平備前守、安田勘兵衛、山下五郎右衛門、爲^ニ日光寺修復御奉行、

朔日、快晴、晝微雨、忽晴、夙拜^ニ 願神 神主如^レ例月、到^ニ松浦太守、土井能登守去月廿五日於^ニ大野^ニ死卒、依^レ之爲^レ悔到^ニ津輕太守、

二日、晴、那須遠江守養子之願相叶被_二仰付、津輕太守二男主殿頭爲_二養子_一改_二與市郎_一、三日、晴、晚到_二戶田城公_一、依_二招請_一也、

四日、晴、今日到_二津輕太守_一、賀_二與市主之事_一、及_二晚炊_一、入道宗理來(相)伴、今日內藤若狹守御役御免、五日、晴、今日南部大膳、脇坂等御暇、六日、雨、寺尾太郎右衛門、三木來話、

七日、晴曇、田村藤大夫到、述_二田村藤左衛門爲_二添田八左衛門養子_一之賀、

八日、曇、凡此間無_二快晴_一、日夕陰雲冷寒、人々相煩、

九日、晴、前田又兵衛爲_二番頭_一、今日野妻到_二長命宅_一、今日津輕君二男爲_二那須遠州父子之約_一、

十日、晴曇不定、微雨、及_二晚大學到_一、津輕太守賜_二生鯛_一、及_二夕南東風甚冷_一、_二酒_一、地震、

十一日、晴、夕雨、到_二津輕_一、_二與市郎主_一、藤介同道、_二酒_一、午後與_二藤介_一到_二松浦太守_一、有_二晚炊_一、此間於_二西御丸_一、若君御不例、今日西御丸_一御成、

十二日、晴又微雨、午後雨、十三日、晴曇不定、地震少動、夕雨、若君御不例、依_二之諸大小名登城_一、御成、

十四日、雨、夕晴又雨、朝拜_二神主_一如_二例月_一、十五日、微雨、十六日、微雨、夕晴、菅沼主水來話、今日土藏修繕終_レ之、

(1)大嶋雲
八善近、天
和三年二月
十二日出
羽守に任
義也、八と
改名す。

十七日、晴、大嶋出羽守來話、戶田喜右衛門來訪、此間蒸暑、

十八日、晴、大暑、午後風、今日津輕太守與_二奈須與市主_一來臨、_二西御丸御成_一、若君御不例、自_二一昨夜_一御不快、

十九日、溽暑、夕飯後到_二津輕太守_一、今日日本庄屋敷不_レ殘被_二召上_一之由被_二仰渡_一、廿日、溽暑有_レ風、大嶋雲八來話、_二出羽守_一息男

廿一日、曇、今曉甚雨疾雷、未刻又雷雨、西丸御成、甲府主、御三家、大名各西丸登城、

廿二日、晴曇不定、及_レ夜而雨、夙拜_二神主_一如_二常_一、詣_二宗三寺_一、問_二多田氏_一、今日大久保加_二守_一自_二在所_一歸、_二去_レ十月初而到_二領_一、_二分_レ佐倉_一今日歸宅、依_二若君御不例_一、

廿三日、雨終日不_二休止_一、朝大學到、酒井主稅_{小平次}息男、水野宇兵衛來話、今年夏至自_二例年_一日長、世以爲_二沙汰_一、水野宇兵衛云、以_二阿蘭陀天文器_一考_レ之、夏至之後尙日道在_レ北云々、

廿四日、曇、蒸暑、午後雨、廿五日、雨、蒸暑、今夏未_レ覺_レ之、終日不_レ見_二日色_一、只陰間甚、

間、微雨、寅刻已後大雨、依_レ招到_二戶田城公_一、有_二蕎麥_一、城公於_二釣殿_一有_二熟瓜之冷味及濃茶_一、戶田喜右衛門來會、

廿六日、西風雨又微々、終日不_二休止_一、甚冷寒、夜中大雨、

廿七日、雨、南西風、蒸暑、今日稻葉美濃守隱居、息丹波守十萬二千石、今日日光山御修復御手傳被_(カ)仰付、御宮并本坊、七萬石役丹羽若狹守、五萬石役內藤左京亮、三萬石役津輕越中守、御假殿并大師堂、七萬石眞田伊豆守、五萬石戶澤能登守、今日未刻俄西御丸御成、

廿八日、晴曇不定、及_(レ)夜而雨、終日北西風甚、今日西丸御成、到_(三)津輕太守_一賀_(三)日光御手傳之儀、

今夜中若君御逝去、久脾疴之御煩、自去十一日俄被指發、安齋御藥中比少々御快然、終無本復一安齋嘗自御三歲禁乳而奉飯、甚微少、常幾飢、故及脾虛云々號_(三)淨徳院殿、今

夕若君御近侍之女中不_(レ)殘御暇被_(レ)下候、

廿九日、雨終日不_(レ)休止、諸大小名登城、自_(三)今朝_一魚味、無_(三)御精進_一、老中今日精進、

六月

朔日、朝晴夕細雨、夙拜_(三)願神々主_一、如_(三)例月_一、今日例月之出仕如_(レ)常、無_(三)御禮_一、老中今日精進□、

二日、朝晴、陰雲有_(レ)風、酷暑、今日葬_(三)若君於增上寺_一、若君之老中近侍無_(レ)供奉、賜_(三)葬料於寺僧_一、

云々、明日爲_(三)津輕監物第三回忌_一、依_(レ)之參_(三)詣宗三寺_一、今晚野妻到_(三)長命宅_一、明日與_(三)長命母_一爲_(レ)詣_(三)宗三寺_一、

三日、晴曇不定、微雨、夕晴溽暑、今日訪_(三)津輕監物第三回忌_一、

四日、晴、日色不_(レ)常、佐藤平太左衛門到_{(尾州) 宰人}上方大旱又洪水云々、

五日、甚暑、到_(三)松浦壹太守_一、肥太守來會、今日酷暑土用中無_(レ)之、凡今年土用暑氣難_(レ)凌而日色不_(レ)常、夜中大雨、迅雷一聲、

六日、有_(レ)風、此間爲_(レ)窺_(カ、)御機嫌_(レ)諸大名登城、七日、日有_(レ)暈、酷暑、八日、酷暑_(カベスリ)人來_(マンス)場_(カベスル)、

九日、酷暑、大嶋出羽守贈_(三)暑服_一、十日、酷暑、長九郎左衛門贈_(三)鯖甘頭_一、

十一日、晴、津輕太守賜_(三)國本之鯖十頭_一、十二日、酷暑、近年無_(レ)如_(レ)此之炎暑、

十三日、酷暑如_(三)昨日_一、今日公儀御忌明、諸大名出仕、

十四日、溽暑、令_(三)大津吉左衛門詣_(三)宗三寺_一、夙拜_(三)神主_一奉_(レ)食、如_(三)例月_一、

十五日、炎暑、山王祭禮、甚輕簡、除_(三)金銀_一、音樂、錦繡等之器物、無_(レ)風而炎暑不_(レ)可_(レ)凌也、今日祭禮之節、於_(三)城中_一山鳩中_(三)神輿_一而死云々、

十六日、炎暑如_(三)昨日_一、嘉祥之御祝儀、有_(三)御目見_一、本多備太守賜_(三)御前之嘉祥餅_一、而拜戴_(レ)之、去四

日於_(三)越後_一得_(レ)異獸_(レ)、其長六尺餘、足二尺、眼三寸、耳三寸、尾貳尺、爪如_(レ)虎、噉_(レ)人尤久、土民畏_(レ)之遺_(三)農業_一、依_(レ)之以_(三)鐵炮_一打留也、以前越後太守時亦此獸出、土民獲而殺_(レ)之云々今日土用明、凡自_(三)五日六日_一日々之

大暑、人皆不堪_(三)假寐_一云々、

年譜

三四三

十七日立秋炎暑不可堪、今日戶田城公老母養德院卒去、今日作醬油、
 十八日、有南風甚暑、自下總多古一板到、今日夜有光物云々、今日稻葉丹後守跡目御禮、家老四人
御目二萬石被召上、村上方可被下候云々、
 十九日、甚暑不可堪、今日參勤之御禮、御暇有之、若君三七回、無參詣忌、館林城破却云々、
 廿日、朝西有虹、微雨、到戶田公弔大喪、夕松浦太守賜河越熟瓜、夜半大雨並少風、冷氣少
 出、凡此間之酷暑近年人不知之云々、平山勘兵衛自多古來訪、
 廿一日、曇終日、長命母到、今日從城公得書、
 廿二日、曇、令吉田江右衛門詣宗三寺、夙拜神主、奉茶酒食、如常月、午前大雨、如灑
 水、久晴、及暮到戶田公而歸、秋元攝州來會、
 廿三日、晴曇不定、暴雨疾風、或晴、西有虹、淺野内匠頭等御暇、
 廿四日、如昨日暴雨、午前光枝土左衛門到、青山大膳家人
 廿五日、如昨日朝雨、今日到堀源五衛門宅、藤介同伴、今朝於西丸下馬有喧嘩、雙方死云々、
 水野周防守組云々、廿六日、曇、及夜而暴雨、如此間、
 廿七日、晴南風、今日到淺野内匠亭、凡自廿日到昨廿六日暴風疾雨、或晴一日之内數回、如

此天氣近年無之、今年之暑甚、自廿日已來少々得涼氣、廿五日巳刻、日光山大洪水、先年田
 中三左衛門流死、水高五尺餘、自廿三日大雨不止、山大鳴云々、
 廿八日、晴、夙拜願神、如晦日、御禮有之、廿九日、晴、朝小笠原佐渡守來話、夕到大學
 宅、凡廿七八九日皆朝曇而夕晴、

七月

朔日、晴、夙拜願神々主、如例朔、二日、晴、朝甚冷、小笠原壹太守來臨、三日、晴、多
 田藤大夫到、四日、晴、小笠原丹後守來話、
 五日、晴、蒸暑難凌、戶田喜右衛門來話、此間美濃、伊勢洪水、大坂、(美濃)高須、桑名、河内、和泉、
 河内堤三千間流亡、水戶七萬石餘洪水、水荒、
 六日、晴、贈美魚三種於津輕太守、太守此間有異例也、
 七日、晴、夕雨雷甚、各來禮、今日於願神前卜筮天下之吉凶、今日黑川小介到、傳淺野太守
 命、
 八日、晴、今日道秀大居士正忌日、自昨夕設茶菜酒、燒香拜禮、夙起燒香拜禮、食事奉食、三汁七菜、野妻爲主、
 予與藤介助祭、野妻詣瑞林寺、夕雷雨、

(一) 耶略、以下々々註せず

(二) 集亂本よりの補こる。尙ほ集亂本の終と次、多少の脱字あるやもしれず。

九日、晴、二御丸御暇云々、長命母子、爲生見靈之祝儀來、大學内室到、朝磯谷十介爲此祝賀、十日、朝、自曉本庄雷雨、晝前到津輕太守、今日藤介、爲生見玉之賀、十一日、從昨夜中雨、今朝猶不休息、今日大學爲生見玉之賀享之、土井能登之遺跡息内記拜領御禮、奈須遠江守養子與市(郎)御禮、日光奉行并大坂加番御暇被下之、^(九)十二日、朝晴、午後雨夕晴、雨後之暑不可堪、松浦壹岐守來問兵法、學問、奈須與市主發使賜太刀馬代、十三日、曇、今日送灯於宗三寺、松源寺、鳳林寺、瑞林寺、慶養寺、如例秋、今夕爲盆祭設卓、合祭如例年、予有風疾、令藤介代之、十四日、晴、合祭如例年、夙拜、神主、野妻、藤介助祭、^(三)食事上食、晝素麵、夕團子茶菓酒如常、十五日、朝晴、晚微雨、大學來、有晚炊、今日紅葉山御成、各染帷子御供、^(無三白)帷子、今日黃金、御樽肴、被獻、桂昌院殿、生見玉之賀云々、十六日、晴、十七日、晴、今日到淺野内匠頭宅、夕到松浦太守、戶田城公忌御免、明日登城云々、十八日、雨終日不止、今日若君公七々忌、今日堀田豐前守御奏者番、稻垣安藝守御傍衆、兩人者

若君公之御傍衆殆老中也、小倉半左衛門、平野九左衛門、加藤兵助御目付、十九日、晴、甚暑、到宗三寺、松源寺、鳳林寺、徑問濟松寺、涼心、戶田喜右衛門、廿日、殘暑甚、三州荻屋城主稻垣信濃守來話、廿一日、殘暑如炎、夕曇、微雨涼氣、藤田八郎兵衛^{松平加賀守家人}來話、太刀馬代持參、廿二日、雨、夙拜、神主、食事上食、如例月、令吉田江右衛門詣宗三寺、今日淺野内匠發駕、廿三日、雨終日不止、今日松平備前守發足日光山、津輕太守爲生見玉之賀、予及藤介到、彦坂壹岐守、爲大久保佐渡守迹御留守居、廿四日、晴、老人可休來謁^{是元勇士、今爲町人、八十餘歲}、談轟^{ト、ロキ}彦右衛門事、廿五日、晴、今日一萬石以上登城、御條目被仰出之、堀田筑前守傳之、林春常於御上段讀之、嚴有公御代者、於下段讀之云々、廿六日、晴、今日諸番頭、物頭、物奉行登城、御條目被仰出之、廿七日、於津輕太守有饗、奈須遠州等到、藤介到、廿八日、晴、夕大學到、廿九日、今夕熒惑守心星、其間三尺計、熒惑在上、心星在下、此間熒惑甚速退東、晦日、晴、爲八朔之賀儀、松浦太守賜嘉肴、申刻炙治、

八月

朔日、晴、夙燒香拜_二願神々主、如_三例月、今日諏訪祭日、予氏神_二故獻_三赤飯及醴酒於_二神前、朝多田藤大夫來、有_レ享、大學亦到、松浦太守、津輕太守、馳_レ价賀_三今日、藤介代_レ予到_三松浦、津輕太守_二賀_三八朔、大學母儀及野妻有_三參宮之志、故命_レ之而令_三用意、津輕長命、到_三太守之大奧、有_二引出物、今日各登_三城御禮、如_三常八朔、

二日、晴、夕雨、長命詣_三慶林主、三日、雨、筒井唯右衛門到、

四日、朝雨、午後屬_レ晴、大學到、大學母儀爲_三參宮之暇乞_二來謁、有_三盃酒、五日、雨、

六日、雨、二丸御能、七日、晴、八日、晴、九日、雨又晴、津輕太守來臨、野妻爲_三參宮也、今日長命母子到、

十日、晴、津公賜_三美菓、湯衣於野妻、十一日、細雨、忽晴、今日各參宮、大學、藤介到_三川崎旅店而歸、津輕太守賜_三鯛三頭并後庭之美菓、

十二日、晴、高橋十郎左衛門到、十三日、殘暑、夕到_三松浦太守、

十四日、曇、夕雨、夙拜_三神主如_三例月、今日令_三吉田江右衛門詣_三宗三寺、小田原夕飛脚到來、

十五日、雨終日不_レ休止、午後大風暴雨如_レ灑、夙拜_三願神々主、如_三例月、今夕無_レ月、

十六日、晴、有_二殘暑、到_三松浦太守、晚間_三町野壹岐守、今日從_三三崎飛脚到、

十七日、晴、到_三本多備太守、太守去月欲_レ爲_三生見玉之賀、予不_レ堪_レ暑、故及_三今日、道_二問_三淺野太守及小笠原丹後守、橫屋宗與、大學、藤介爲_三相伴、

十八日、微雨、晚晴、淺野與兵衛送_三鮭魚、木村柰助送_三鯛魚、中川小隼人、送_三太守別墅之菜草、

十九日、朝微雨、夕屬_レ晴、廿日、晴、甚暑、夕有_三秋涼、今日沐浴而賀_三明日參宮之義、

廿一日、晴、夙拜_三大神宮、愚妻今日依_レ可_三參宮也、今朝以_三鮭魚享_三家僕、田村藤左衛門、爲_三添田八左衛門養子、間宮求馬事加增百石云々、今日從_三江尻有_レ便、慶林主以_三重内贈_レ予、

廿二日、朝拜_三神主、如_三例月、令_三吉田江右衛門詣_三宗三寺、夜中甚雨大風、

廿三日、雨、北風甚、終日不_レ休止、近年不覺之廿四日、晴、

廿五日、晴、到_三松浦太守、佐藤平太左衛門、津輕大學來、自_三赤坂之飛脚狀到、

廿六日、雨、夕止、大嶋雲八到、熒惑在_三南斗之西、其間少計、廿七日、晴、到_三津輕太守、今日松浦太守送_三皐皮一枚、トシノカハ

廿八日、晴、各登_三城、津輕太守來臨、予他行待_レ之、及_三初更而歸亭、今日奉_三手鏡要錄二冊、

廿九日、晴、今日津輕長命誕生日、然依_三津輕太守精進日_二以_三朔日爲_レ賀、今曉_日大地震、久不

止、近年無之、同時日光山大地震、過夏地震、所々不殘顛倒云々、凡今秋甚豐年、五穀及草木之菓實、キコメケ桐茸甚多、五畿、中國、北國、雖有洪水、ニヤスシ米直日賤、

九月

朔日、曇、自夜中雨、依今曉之大地震、小動數、午後又小動、夙拜、願神神主、如例月、各來問今曉之地震、津輕太守、松浦太守各賜使、今日津輕長命誕生日、送酒肴於長命母子、長命母子亦送酒肴、享家僕賀長命之誕生日、凡日光山今度朔日二日大小動地震、七百六十餘度云々、二日、雨、麻生二郎兵衛贈鳴五翼、到津輕太守、藤介同伴、有鶴之料理、今日牧野備後守、拜領關宿五萬石、三日、晴、到松浦太守賀牧野、四日、晴、於二御丸新舞臺御能、御三家、松平加賀守并御普代大名出仕、見物被仰付、今日之御能、亂舞祕曲有之、石橋、道成寺、狸々亂、五日、晴、暮雨、小笠原佐渡守來話、六日、朝雨、晚晴、津輕公賜重陽之時服、七日、曇、八日、入夜雨、御佛殿御成、九日、夙拜、願神々主、如例嘉節、終日大雨、各來禮、藤介代予重陽之禮、松浦太守送鱸魚二

頭、津輕太守令黑土小大膳賜新茶壺、戶田城公賜柏漬炮、

十日、晴、夕到戶田公、今日松浦太守來臨、十一日、今日上京參宮之衆、京都發駕、大學隣家

相調爲大學屋敷、熒惑侵南斗、

十二日、曇、夕雨、牧野駿河守爲御詰衆、今朝真田伊豆守日光發足、爲見分也、今日初秋之鴨

一羽、從松浦織部到來、

十三日、無月、大雨終日不休息、津輕太守、戶澤能州、各日光發駕、大學供奉之、

十四日、雨、午後尙不止、朝拜神主、如例月、公家御馳走御能、甲府前參議正忌日、令大津

吉左衛門詣宗三寺、

十五日、雨、朝拜如例、今日妙圓正忌日、點茶燒香供茶菓、食事上食、如每年、

十六日、曇、晚雨、熊澤右衛門八來、及兵談、十七日、大雨終日不止、十八日、晴、弔津

輕太守宅、去十六日津輕左京卒

十九日、晴、津輕太守從日光歸府、藤介代予賀之、今日上方飛脚到來、去ル十二日京都發駕、

廿日、晴、甚冷、藤介爲迎參宮之衆、今日發足、蘆田清介同伴、

廿一日、細雨、昨日摠大夫伊世參奉大神樂之供物及一萬度御祓、長炮等、今朝拜之、津輕長命母

子到、

廿二日、曇晴不定、朝拜如常、令三津吉左衛門詣三宗三寺、朝、唐牛三左衛門、中川小隼人來、及享、夕藤田八郎兵衛、高橋十郎左衛門來話、及晚炊、

廿三日、晴、到三津輕太守、今日津田平四郎爲三甲府之家老、廿四日、自昨夜雨、

廿五日、晴、南風甚、及夜而參宮之各歸府、松浦、津輕太守賜賀儀、廿六日、晴、初霜、

廿七日、晴、朝霜、牧野備後守、以三松浦太守招予之門人、水野守兵衛、爲媒价、今夜淺草經堂失火、不及他云々、松浦太守、津輕太守、各馳价問之、

廿八日、晴、今日晦拜如常、大嶋出羽守、小笠原壹岐守、各馳价問昨夜之火災、

晦日、晴、此間甚寒、凡自朔日到今日、日光山之地震不_レ休止、合千四百八十餘動云々、去ル廿

二日夜、化鳥鳴營中殿上、古人所謂鶴乎、後糺之鶴鷗云々、

十月

朔日、晴、甚寒、夙拜願神々主、如例朔、今日津輕太守口切之御料理、依之到彼亭、藤介同伴、今夕玄猪、各登城、予於津太守席賀玄猪、

二日、晴、寒風、到三松浦太守、本多備太守賜昨夜玄猪之餅、是於御前頂戴之也、今夕南西有黑雲、堪見

物、

三日、晴、今日松浦織部口切、肥太守到、予父子亦到、有生鶴之享、白鳥之吸物、各拜味、

四日、晴、酒井主稅到話、五日、到三戶田城公、六日、晴、七日、晴、富田儀兵衛、爲牧野

備太守家臣、今日禮、八日、晴、小笠原丹後守、同佐渡守來話、

九日、晴、御慰之御能有之、今日松浦太守口切、予、藤介、大學、高橋、磯谷、三木、富田同伴、

有_三盃酒、此夕大地震_刻、

十日、晴、甚寒、夜小雨、到三津輕太守、十一日、快晴、

十二日、晴、津輕太守、到三松浦太守、予、大學、藤介同伴、有_三乘馬、

十三日、晴、明日爲_三妙智先妣之第七回忌、依_レ之齋戒設_三茶酒菓、燒香拜禮、令_三吉田江右衛門送_三白銀三枚於宗三寺、

十四日、晴、丑刻起盥漱、燒香拜禮、供_三茶菓_一奉_レ膳、三汁七菜、野妻、藤介助祭、於_三神前_一

有_三盃酒、_一中刻到_三宗三寺、有_三懺法、各燒香、大學、藤介、藤大夫_{名代、彌}、田村彌一右衛門、多田

藤大夫、磯谷新八、同十介等、昨日到_レ寺、野妻、大學母、同內室、長命母、多田室、各來禮、

十五日、晴、針醫壽得初來謁、津輕太守賜_三雙酒兩品、美肴兩頭、

十六日、晴、今日松浦太守、到津輕太守、有享、松浦太守家人平馬、右衛門八等各列席末、予及藤介到、淺野内匠頭口切之茶并雁、大村太守從國本賜桑酒、

十七日、晴、松浦壹太守口切、予藤介到、大學亦到、十八日、晴、夜南風雨、今日太田久右衛門、飯田半兵衛、鹽瀨與三左衛門、拜津輕太守為臣、

十九日、晴、南風、大嶋雲八來話、廿日、晴、中野傳右衛門來話、廿一日、快晴、寒甚、本多備太守口切、大學、藤介同伴、

廿二日、雨、及晚大雨北風、今日二之御丸御能、令大津吉左衛門詣宗三寺、夕到戶田城公、廿三日、晴、到會根五郎兵衛宅口切、廿四日、晴、松浦太守來臨、

廿五日、晴、武田越前守閉門、組被召上之、武田者大番頭、自去年勤大坂番、有背公命乎、

霜月

廿六日、晴、到稻垣信州亭、有享、道問石谷市右衛門病、廿七日、晴、堀田對馬守到日光山、

廿八日、晦拜、到津輕太守、今日憑向井新兵衛保科肥後守家人、奉納百疋於會津諏訪明神、是依為予之生產之神、廿九日、晴、

朔日、晴、朝拜如例月、藤介、到松浦、津輕兩太守、二日、晴、津輕太守日光發駕、日光山修覆出來、依之各到日光山、

三日、晴、松浦壹太守來臨、四日、晴、五日、晴、今日戶田城公放鷹之雁并口切之御茶、

六日、冬晴、今日冬至、今朝拜賞昨日之御茶、

七日、晴、夢奎瀛字、八日、津輕太守別野之菜園物數品到、九日、晴、藤介、到津輕太守、

十日、晝地震、夜又地震、十一日、晴、為口切之享、及夜而雨、

十二日、晴、津輕太守日光歸府、十三日、晴、藤介、行津輕太守賀昨日、十四日、晴、夙拜神主、如例月、令大津吉左衛門詣宗三寺、日光手傳奉行等各下著、御佛殿之御手傳衆十五

日下著、十五日、晴、望拜如例、十六日、晴、今日貞因大姉正忌日、令大津吉左衛門詣松源寺、十七日、晴、松浦壹太守來話、有兵談、

十八日、晴、夕津輕太守來臨、十九日、晴、廿日、晴、廿一日、小寒晴、今日野妻到大學宅、長命母子到、有拍子、

廿二日、晴、令吉田江右衛門詣宗三寺、夙拜如例、廿三日、晴、南風甚、野妻、到長命宅、

廿四日、晴、此間南風甚、曉無氷、及夜而近所火事、忽消、廿五日、晴、到松浦太守、廿六日、晴、

廿七日、晴、今日捧口切茶於津輕太守、雁一頭、鯉二喉、強飯重内品々、藤介、大學同伴、

廿八日、南風甚暖如春、及夜而雷雨、晦拜如例、今日津輕大學口切并新宅開、田村藤大夫、戶

澤彌五兵衛、磯谷等、高橋十郎左衛門來會、

廿九日、晴、到戶田城公、謝去五日之貺、晝小笠原壹岐太守來臨、晦日、晴、

此間所々捨棕欄帚、凡六十餘本云々、人不_レ知其故、各十本又五本一結之、或付札或設紅糸之

飾云々、

極月

朔日、晴、朝拜如常、且告年終之朔、今日外祖母正忌日、燒香點茶菓、到松浦太守、今日佐藤

平太左衛門爲津輕太守之臣、有君臣之禮、夜來今朝之嚴寒甚強、硯水氷、及夜而未_レ解、

二日、晴、有霞、寒氣甚、硯水又氷、三日、晴、到松浦太守、有鶴之料理、四日、晴、香

會我部隼人來話、堀田統前 守家人 五日、晴、今日野妻到長命宅、

六日、晴、賀長命誕生日、前日各留守、故不_レ及 大學、藤介、田村、戶澤、養運、宗入(到)、今日於

二丸御能、日光門主并日光修覆御手傳之面々、見物被_レ仰付之、

七日、晴、唐牛甚右衛門津輕太 守家人來話、八日、紅葉山御成、黒川小介來、

九日、晴、及夜而乞食町火事、凡此間甚長閑而如春三月也、朔日二日之頃嚴寒、近年不_レ覺之、

十日、曇、甚暖、及暮而吹晴、十一日、晴、甚暖如春月、月朦朧堪_レ閑步庭上、

十二日、晴、到稻垣信濃守亭、本多備前守、西山六郎兵衛來會、一昨日有鈞命、米下直而諸物

高直、此所各可_レ令料簡云々、西山談之、

十三日、晴、月如春、今日到熊澤作右衛門宅松浦太 守家人談_三聖教要錄、

十四日、晴、已下刻北風揚塵、不_レ辨東西、風終日不_レ休止、申刻觀音寺地中出火、忽靜、朝拜如

常月、令_三大津吉左衛門詣_三宗三寺、十五日、晴、神拜如常、

十六日、晴如春、寒氣甚硯水又凍、松浦織部、本多備前守來話、今日於芝馬場、堀田筑前守、阿

部豐後守、牧野備後守、堀田對馬守等、馬樂馬見物、凡觀者如堵、出馬三百疋、撰之二十疋、棧

敷牧野半右衛門設之、歸路堀田筑前守、牧野備後守、到牧野半右衛門宅、呼_三町_一之小歌師等、

有淫聲之音曲_三絃_一、松浦太守父子亦到馬場、

十七日、晴、戶田喜右衛門來會、夕到戶田城公、太白星見東、曉見西、十八日、晴、朝二番

町火事、南風、南條小兵衛 出火、閉門、爲三歲暮之享、到三津輕太守、藤介同伴、有三盃酒、

十九日、晴、到三淺野内匠亭、廿日、晴、御佛殿御成、廿一日、晴、詣三宗三寺、今夕節分、午

後北風、高橋十郎左衛門到、及三晚炊、有三津輕生鱈、白魚、

廿二日、立(元字)春立春、月半更甚靜如三春、曉無三一點之雲、夙起燒香、拜三願神々主、賀三立春、且爲三

擲錢之占、奉三食於 神主如三例年、三汁七菜、

今朝津輕大學來、告三今曉之瑞夢、稻垣淡路守來話、後松浦太守到、問三全書、夕熊澤作右衛門等

來、談三聖教要錄、

廿三日、晴、一昨日町野壹岐守等隱居被三 仰付、依三之間三町野、今日林孫左衛門元名九郎右衛門、松浦太守家人、構

之義赦免、故問三村上三右衛門、

凡廿日前後、每朝霞霧滿三四方、日色如三銅盆、暖氣如三三月、夜無三一點之雲、人皆以爲三不審、自三

十月三南風不三休、霜重而氷無三之、

廿四日、紅霞蔽三日、及三巳刻三尙然、日色甚赤、無三一點之雲氣、四方皆霞霧、

廿五日、曇、午前雨、午後雪、及三夜而不三休止、滿三尺、及三亥刻三而止、今夕到三熊澤民部宅、松浦

太守父子來臨、予及大學、藤介同伴、淺田帶刀大村家 臣、在三會末、談三聖教要錄、

廿六日、晴、暖氣雪消、今夕夢、松浦太守賜三予孫六之刀、予與三之於藤介、藤介拜謝、又賜三碾茶

壺名物其袋號三一文字三紺金欄、又夢、アケヒノ木コトシ、其實甚多如三瓜、忽裂三之内紫色、及三曉、

松平飛驒守使節一色五左衛門到云々、凡一睡之間數夢、甚奇、今日松浦太守父子、爲三歲暮三來臨、

廿七日、晴、酒井主稅到、津輕太守爲三歲暮之御賀三來臨、今日津輕大學、開三廿一日之瑞夢、大學

父子内室及磯谷十介等來會、有三享應、

廿八日、曇、夕晴、松浦太守爲三歲暮之賀儀三享予、大學、藤介同伴、有三鶴之料理、予講三聖教要

錄聖人之章、廿九日、晴、寒甚、硯水凍、

晦日、晴、甚寒、夙燒香、賀三願神々主、告三歲暮、夙松浦織部來禮、辰下刻飾三松竹、

今年相州久世出雲守領分筑 櫻木ニ 蛤ハマクリ 多成ナル、殼薄而内有三肉云々、十月廿一日二日、營中妖鳥其

聲如三哭、

六月越後妖獸、其面二尺、口一尺餘、牙三寸、齒一寸、長六尺、毛如三猿、其聲如三雷、見人則鳴

齒如三扣三木刀、得人喰三之、如三猫得三鼠、非三狒々三非三罽、尤妖獸云々、是加州太守家人藤田八郎、

兵衛能糾三聞之三也、日光大地震事、人々捨三巷街于棕梠帚三事、

(貞享元年) 天和四年甲子 (二月廿一日改元) (六十三歲)

正月小

元日、夙起、刀中著禮服、燒香拜願神々主、賀新年、アケルコラヒ黎明家女供圓餅鏡、其後雜煮有三盃酒、向歲德神方著座、野妻、藤介各著座禮服土器三獻、各有三獻酬、其後膳食、又有三盃酒、出中門、各拜禮有三賀儀、卯中刻到松浦太守、於鳥越橋逢松浦太守年始之使者、使者捧兩樽兩種來、野妻、藤介各有三賜、遂到松浦太守亭、賀年始、到淺野內匠頭亭、徑到大村太守守留本多備太守、到津輕太守、在亭有三盃酒、賀長命、大學宅歸宅、各來禮、山崎治部右衛門松平加々守家人津輕大學、磯谷十介、水野宇兵衛、各太刀馬代持參、營中御禮如三式年、今日天氣甚暖、無三一點之風、

二日、晴、營中御禮如常、讀書初如三例年、本多備前守來禮太刀馬代松浦肥太守、壹太守父子登城、歸直到予宅、烏帽子大紋津輕太守來臨太刀馬代各獻三年頭之嘉儀、有三盃酒、松浦壹太守賜三白銀及放鷹之雁、松田五郎左衛門、德永加兵衛各馬代持參、今晚任三例年三吸物、謠初、

三日、晴、松浦壹太守使者來、昨日初而愚妻御禮、為三賀儀有三恩賜、高橋十郎左衛門百足持參來禮、營中御謠初、大廣間之蠟燭忽消云々、

四日、晴、南風、夕止、今朝納門松、任三例年三招請家族、平馬、大學、戶澤、田村、松田、磯谷、

三上泰元、水野宇兵衛來會、盃酒、大學母義(儀)、內室、長命母子各來會、

津輕平藏主太刀馬代奈須與市主、稻垣淡路守、町野左門來禮、未刻南風雷一聲、雨忽止、如去年正月六日之雷雨及三晚而甚快霽、

五日、自曉南風、及三巳刻北風、夕止、今日松浦太守有三年始之享、藤介同伴、談三聖教要錄、壹太守在三席、

六日、晴、到戶田城公賀三年始、

七日、晴、七種若菜粥、朝飯如常、甚暖、今日於大學宅有三年始之賀享、熊澤作右衛門、同右衛門八、淺田帶刀大村家臣大河內彥七、桑田玄益等來、有三聖教要錄道統章講、

八日、細雨、及三夜而北風大雨、上野御成、午刻雨少強、

九日、陰雲甚寒、勝三於冬、雨雪交降、入三夜止、今日津輕太守有三年始之享、藤介同伴、談三聖教要錄序、

十日、晴、松浦太守父子來臨、談三聖教要錄聖學、戶田城公賜三放鷹之雁、

十一日、晴、賀三具足之鏡餅、如三例年、夙著禮服、以三弓弦割之、盛三之於三方膳、供三年德神、予及藤介賀三之、其後加三赤豆於其上、各賀三之、有三土器盃酒、到松浦太守、有三具足餅之賀、狩野法眼來會、

十二日、晴、庭前梅已發、今夕講三中庸序、

十三日、晴、到宗三寺、松源寺、鳳林寺、松浦太守賜三白雁、到小笠原佐渡守亭、晚到稻垣信濃

守亭、有三年始之享、稻垣淡州來會、大學在席、
 十四日、晴、夕細雨、神拜如例年、先獻(獻カ)雜煮(雜カ)拜(拜カ)盃酒、此夕講中庸第一章、十五日、望拜如
 常、夙賀小豆粥、
 十六日、晴、松浦壹太守年始之享、大學、藤介同伴、十七日、晴、紅葉山御參堂、東帶、
 十八日、津輕太守、享松浦壹太守、同織部、予及藤介到此、熊澤作右衛門、平馬等相伴、有馬、
 終談聖教要錄、
 十九日、晴、夕雨、夜中雪、廿日、小雪雨、午後大雪、上野御成、廿一日、晴、夕到戶田公、
 廿二日、晴、神拜如常、雜煮如十四日令吉田江右衛門詣宗三寺、松浦壹太守來、講全書、
 廿三日、晴、爲三年禮到戶田長門守亭、晚到本多備前太守、有三年始之享、藤介、大學同伴、西
 山來會、
 廿四日、晴、增上寺御成、夏目藤右衛門給言葉、廿五日、晴、夕細雨、暮雪、廿六日、甚
 寒風雨、大學到、
 廿七日、細雨、到松浦太守、談聖教(要錄)、廿八日、晴、到津輕太守、藤介同伴、
 廿九日、晴、小栗五大夫來話、正月甚暖、間有甚雨、麥作不熟之左右云々、今月爲目下之慰、讀

東鑑、日本紀、續日本紀等拔萃、

二月

朔日、晴、有風、朝拜如例、二日、晴、稻垣淡路守來話、夕灸治、今夕講尙書序、三日、
 晴、
 四日、晴、晚到小笠原佐渡守亭、藤介同伴、小笠原壹岐守、本多備前守、西山六郎兵衛來會、講
 全書序、大學在席、
 五日、南風甚、到松浦太守、六日、細雨、忽晴、七日、晴、今夕始講詩序及周南、八日、
 晴、今日清春大姉正忌日、遣价於慶養寺、九日、晴、到津輕太守、藤介、大學在席末、
 十日、晴、津輕太守御暇、是依日光御手傳之勞也、戶澤能登守、眞田伊豆守、諏訪因幡守御暇、
 今夕終周南篇、
 十一日、雨、熊澤作右衛門來話、淺田帶刀到謝年來之儀、十二日、夕到津輕太守、今夕初召
 南、
 十三日、彼岸曇、今日編伊呂波歌之人傳、十四日、雪、神拜如例月、令大津吉左衛門詣宗三
 寺、十五日、晴、神拜如去月、松浦太守來臨、十六日、雨、到木村奎助宅(津輕大學家人)、貴田孫大

(1)聖教要
録の略以下
同じ

夫、戸澤等在_二席末_一、
 十七日、雨、稻垣信太守來臨、今日熊澤作右衛門、右衛門八、水野宇兵衛、大河内彦七、熊谷雲八
 等來、講_二聖教_一、有_二蕎麵_一、
 十八日、晴、野妻到_二長命宅_一、十九日、晴、北風甚、松浦太守、享_二津輕太守_一、予及藤介到_二此亭_一、
 廿日、晴曇、
 廿一日、晴、夕雨、到_二稻垣淡路守亭_一堺奉、同氏信州太守來會、談及_レ暮、
 廿二日、晴、神拜如_二例月_一、詣_二宗三寺_一、問_二戶田喜右衛門_一、今日問_二町野幸宣_一、幸宣者壹岐守隱居之
 名、今日於_二評定場_一召_二片桐主膳_一、問_二寄力之訴狀_一、
 廿三日、快晴、夕北風、到_二戶田公_一、廿四日、晴、微雨、忽晴、稻垣淡路守來話、閑談及_二大學之
 三綱領_一、夜堯典講終、廿五日、晴、大嶋雲八來話、
 廿六日、朝小雨、忽晴、夕北風雷鳴、今日到_二松浦織部宅_一、年始之享有_レ故而延到_二今日_一、松浦肥(太)
 守來臨、有_二射的_一、
 廿七日、晴、愚妻到_二大學宅_一、廿八日、晴、晦拜、
 今日改_二元貞享_一、堀田筑前守傳_レ之、阿蘭陀人御禮、今日送_二稻垣平右衛門働之書付於信州_一、卅五年

(2)信濃守

前攝津守向_レ予所_レ談也、廿九日、晴、到_二津輕太守_一、
 晦日、晴、貴田孫大夫、川合二郎左衛門松平駿河守家人來謁、會根五郎兵衛來問、
 此間片桐與力三人追放、知行公儀_レ被_二召上_一、伊豆大嶋大燒震動云々、當地亦依_二此震動_一而少動、
 去廿二日如_二江戸大火事_一、近國之所々皆馳來、是大嶋之炎火也、

三月

朔日、晴、夕雨、神拜如_レ常、今日服忌令之義被_レ仰_二出之_一、
 二日、細雨、今日山城宇治郷炎燒云々、公儀之御茶苑殆盡燒失也、稻垣信州來話、
 三日、雨甚暗、午後大雨止、細雨、四日、雨、到_二津輕太守_一、五日、雨、
 六日、甚雨、今日松浦太守御暇、今日招_二津輕大學_一爲_二暇乞_一、田村藤大夫、同仲篤到、
 七日、晴、今日津輕太守、與_二平藏主_一、與市主來臨、爲_二兵法之誓約_一、享應盃酒、平藏主黃金馬代、與市主銀馬代、及_二
 午刻_一津輕太守遣_二津輕靱負_一、賜_二兩樽兩種_一、藤介并家内各有_レ賜、是太守十有五歲而爲_二兵法之約_一、
 及_レ今而盛昌、故逐_二其例_一云々、藤介爲_二右之謝_一行_二津輕太守_一、
 八日、晚小雨、昨晚依_レ雨淺草借橋四五間落、千手及六郷橋皆脫落、
 九日、晴、今日公家衆此間參向、今日御對顔、今日松平因幡守爲_二全書之誓約_一、爲_二暇乞_一津輕太守

享予、藤介、大學列席、平藏主、與市主、各自持參膳部、到予前、是謝先日之契約也、十日、雨、甚闇、公家御馳走御能、夕爲暇乞、到津輕太守、十一日、朝雨、今日、勅答、公家衆御暇、

十二日、晴、津輕太守發駕刻辰大學供奉、藤介往賀之、

十三日、晴、夕雨、今日普照大姉正忌日、如例祭之、到稻垣信濃守、詣宗三寺、十四日、晴、夕雨、神拜如常、十五日、晴、神拜如例月、

十六日、晴、自能州獻大鱸魚云々、長四尺餘、上有文字四、其字不可知之、又自上總獻

瑞馬、二歲、其長四寸、撫毛則忽生火云々、

十七日、晴、大學家來森助右衛門、弟佐藤今右衛門、爲予之家人、岩之介爲入學到予宅、有

盃酒享食、

十八日、細雨、南風甚暖、今日紀州中納言公參府之御禮、十九日、晴、今日津輕太守辻番有

罪、處斬罪、

廿日、晴、熊澤右衛門八平戶發足、廿一日、今日內到長命宅、廿二日、晴、神拜如常月、

令吉田江右衛門詣宗三寺、

廿三日、到淺野内匠頭亭、有享應、藤介同伴、是予糺淺野家傳遣赤穗、故内匠喜之、於留

守享予、黑川小介具告之也、今日問戶田長門守、淺野家臣外村源左衛門死、

廿四日、四月節晴、内歸宅、廿五日、晴、南大風甚、初聞子規、

廿六日、晴、夕稻垣信太守來臨、山本只右衛門家爲伴、今日尾州中納言殿御暇、

廿七日、微雨、午後大雨、終夜不止、內到大學留守、廿八日、晴、北風甚、廿九日、晴、寒

冷、

晦日、晴、晦拜如例月、伊豆大嶋燒未止、

四月

朔日、晴、神拜如例月、今日到津輕平藏主、今日始講習兵書、故藤介到講之、爲初日故、予

到講之、有饗應盃酒、一七之六日、藤介自今日必到平藏主講(鑑)雄監也、二日、三日、

雨、到松浦壹太守、賀明日之嫁儀、四日、朝雨、午後晴、藤介到松浦壹太守、壹太守今日有

息女之嫁儀、嫁秋月長門守

五日、晴、今日到小笠原壹太守、有饗應、稻垣信太守、小笠原佐渡守、同丹後守、西山六郎兵衛

來會、道問石谷市右衛門、藤介同伴、六日、

年譜

三六七

七日、晴、又雨、本多備太守來臨、享之、 八日、九日、 十日、晴、到稻垣信太守、有享
 應、磯谷十介、藤介同伴、夕到戸田公、 十一日、十二日、
 十三日、晴、松浦太守爲暇乞來臨、獻盃酒、 十四日、晴、神拜如例月、
 十五日、望拜如常、公方家御手痛無御禮、今日傍嶋主水、從津輕太守爲使節來、去頃、著城、
 十六日、晴、曉地震、到津輕太守、賀太守著座、 十七日、晴、今日爲暇乞招平馬、
 十八日、朱雀賴母、真川求馬到、藤堂和泉守家人 夕講春秋隱公四年五年、 十九日、曇、稻垣信州來話、
 及享、

廿日、雨、凡此間陰雲、其暑如土用之蒸暑、公義自十五日御不例、御手痛云々、十七日無御社
 參、今日亦然、 廿一日、朝細雨、

廿二日、暑氣、神拜如常、令吉田江右衛門詣宗三寺、
 廿三日、曇、暑氣甚、今日到松浦太守、太守此間從堀田筑前守得良馬、即日告予、故及之、
 松浦市左衛門在席、出馬場亭見走馬、六歲、尤足壯觀、夕到戸田公、依內室之腫物也、

廿四日、曇、或微雨、廿三日之夜今曉有瑞夢、刀師本阿彌來予宅、見予之正宗脇指、其後出一
 短刀、甚短、尤古鏽堪笑、擲之、然有正宗之長銘、本阿一見之甚歎賞之曰、是天下之名刀也、
(彌脫カ)

其值雖何千枚不可得之、予驚云、是不可足用之、常錯置之來、今歷工師之一見、聞此
 言堪驚歎云々、
 夢後予思之甚爲奇、予此間見周禮、周公天下國家治平之政治、舉在此書、見及數回、雖歎稱
 未得其實、今依此夢、初思、夫子於治平之用、唯舉其用而不詳其條目、常思其不盡、近
 日見大學聽訟吾猶人之一句、措卷而思之、聖人聽訟豈如常人乎、其云猶人何乎、案、周公
 制秋官、建獄訟之法、其始終之節目、備在周禮、雖聖人復起豈又外此乎、故於聽斷之用法、
 周禮之外更無餘義、故曰猶人、孔子之時未周之禮相殘也、獄訟之外、凡天下之諸條目亦皆然、
 故夫子不盡其用備周禮也、是天下治平之書在此一書、今得夢中本阿(彌)之一語、以合此義、
 殆爲瑞夢、自是周禮之一經爲千萬金之寶、爲天下之名器、視人亦然、管仲云、先王之治國
 也、使法擇人不_(度)自舉也、使法量功不自量也、故譽者不能進而誹者不能退、管子、
 舊事視人部(參照)、

廿五日、五月節 朝微雨、此間陰雲暑氣、如仲夏末、ア蚊蠅甚多、不堪防之、 廿六日、到松浦
 太守爲暇乞、藤介同伴、
 廿七日、晴、平馬爲暇乞來、 廿八日、晴、松浦太守發駕、今日到本多備前太守、有享、藤介

(一) 治平舊
 事即治平
 要錄

同伴、
廿九日、晴、此間甚暑氣如中夏、廿八日公儀御禮有之、藤堂和泉守御暇、今日藤堂家人朱雀等來問八陣、

五月

朔日、晴、神拜如常、本多備太守送暑衣二領、田邊市進持參、二日、晴、三日、晴、四日、曇、各賜端午之嘉義(儀)、時服、端午、晚雨、神拜如例之節句、各來禮、今日大村太守賜土產并端午之嘉儀、此間依參府也、
六日、晴、大村太守來臨、有享、七日、曇、朝雨、稻垣淡州來話、貴田孫大夫侍席、八日、曇、稻垣信太守來話、有享、大村太守賜枸杞膏、桑膏、今日御成無之、
九日、曇雨、今日開去月廿四日之夢、賜享於家僕、十日、微雨、今日大村民部少輔御暇、備後守改
十一日、曇微雨、夕大雨、終夜不止、
十二日、雨、津輕玄蕃為暇乞來、贈串海鼠并白瓜、十三日、到稻垣信濃太守、藤介一人同伴、大村太守來會、
十四日、曇、神拜如常、令吉田江右衛門詣宗三寺、松浦壹太守來臨、十五日、曇、望拜如常、

大村民部少輔來臨、

十六日、晴、甚暑、十七日、晴、十八日、小笠原佐渡守來話、甚暑不可凌、十九日、晴、凡此間甚暑、

廿日、晴、此間之暑氣不可凌、今夕人不能寢、世以為不審、長命母子到、

廿一日、甚暑如昨日、夕到戶田公、小雷迅雨、忽止、甚冷氣、終夜微雨、夜中甚冷、

廿二日、朝甚冷、不堪暑衣、朝神拜如常、令吉田江右衛門詣宗三寺、今日甚冷寒、不如夏、又變也、

廿三日、甚冷、不堪暑服、廿四日、如昨日、廿五日、到大村太守、有享應、藤介同伴、

稻垣信太守來會、有熟瓜、

廿六日、今日內及長命母子、到戶澤宅、今日東一郎兵衛息貞之進自備後到着、廿七日、晴、

廿八日、見雪、晴、今日日光山雪降二寸、今日淨徳院殿御一周回忌、有參勤之御禮、三丸御成、獻脇息并御肴於三丸、

廿九日、晴、松浦織部來話、息男二男主稅、為村瀨伊左衛門養子也、

晦日、甚暑、稻垣信太守來話、三村猪右衛門水野美作守家人來謁、

六月

朔日、晴、甚暑、昨夜丑刻已後甚暑如蒸、神拜如例月、及夕灸治、
 二日、仙臺領今日大霜、田島大損云々、明三日津輕監物第三回忌故、到宗三寺、
 三日、晴、甚暑、內及長命母子到宗三寺、 四日、晴、今日淺野内匠頭參勤、
 五日、晴、馳价賀内匠頭著、送箱肴一種、戶田喜右衛門來話、
 六日、內自長命宅歸、今日戶田肥後守爲納涼到二階、忽脫刀而貫脇指于已腹而死、祖父左門、於江州善所自天守落而死、是又爲納涼也、
 七日、朝冷、到淺野内匠頭亭、問戶田長門守、 八日、^{土用}曇冷、會根五郎兵衛、前田了心等來話、夕狩野法眼來話、終日冷氣、
 九日、曇、冷氣不著暑服、 十日、曇、或雨、 十一日、暴雨、甚暑、自今日修復長屋店、
 十二日、到稻垣信州、及暮而歸、 十三日、晴曇、甚暑、 十四日、細雨、到津輕太守、謝去三日於津輕修監物三回忌、夕到戶田公、神拜如常、令又兵衛詣宗三寺、
 十五日、望拜如例月、晴雨兩三度、內到長命宅、 十六日、晴曇不定、凡此間五七日細雨又晴、其間炎蒸如燒、嘉定如例年、

十七日、如昨日、 十八日、如昨日、 十九日、如昨日、 廿日、晴、甚暑、松浦太守有到著之告、^{去月廿九日} 廿一日、晴、甚暑、

廿二日、細雨、甚暑、神拜如常、詣宗三寺、今日橫卷貞六母儀忽然而來、一宿談往事、
 廿三日、朝曇、午後暑甚、稻垣信太守爲暇乞來話、大村太守亦到、享之、有熟瓜、店修(理)終之、

廿四日、微雨終日、夕大雨、熊澤作右衛門到、 廿五日、細雨、凡土用中每日細雨、朝夕甚冷、其間蒸暑、不如例年、

廿六日、^{七月}大雨、潦水如川、今日松浦家人長村三左衛門來、近木權右衛門爲先容、

廿七日、夕大雨、津輕輟負爲使節來、 廿八日、晦拜如常、到松浦壹太守、

廿九日、甚暑、到大嶋出羽守宅、藤介同伴、及夕乘船而歸、今日土方伊賀守義御會議、評定所大久保加々守出席、今月奥州夏大霜、又云、仙臺領雪、日光山雪、^{先月廿八日}

七月

朔日、晴、夕細雨、神拜如常、夕稻垣淡州來話、
 二日、殘暑甚、夕田村藤大夫、戶澤彌五兵衛來話、於津輕栗原泰藝卒、^{御預之者、栗原加々守子、}

三日、快晴、 四日、夕雷雨甚、今日長命家來大間兵大夫長賜暇、五日、甚暑、夕雨、大村太守賀七夕、賜鯖甘刺、茶一器、索餅一器、菅沼主水來話、提胃二頭來、各古來之胃也、

六日、溽暑、午後大雨遠雷、潦水滂沱、 七日、神拜如常之嘉節、小雨、夕大雷大雨、

八日、朝曇、微雨、從午後雷、及夜甚雷、今日道秀居士正忌日、內詣瑞林寺、凡自四日、每日雷雨晝夜、今日尤雷甚、及夜而迅雷、自戌亥至子卯、昨七日者南西甚雷、今夕御老中登城、依大雷也、依之諸番頭、諸役人、夜中各登城、四方雷落云々、

九日、晴、夕又小雷、今朝諸大名馳价於大久保加々守、窺御機嫌、依昨夜之雷也、自四日迄今日六日雷雨、前代未聞、小山源五左衛門淺野内匠家人來話、及晚炊、

十日、快晴、微雨忽晴、今夕津輕大學生見玉之祝、岩之助爲名代勤之、凡自四日到今日七日雷、土屋相模守爲大坂城代、加増二萬石

十一日、晴、津輕長命生見玉之賀、晚講春秋、 十二日、晴、今日藤介生見玉之賀、夕到松浦壺太守、

十三日、曇、晚大雨、今日奉燈籠於寺々如每歲、十一日十二日、縁組迹式被仰付、今日津輕

十三日、曇、晚大雨、今日奉燈籠於寺々如每歲、十一日十二日、縁組迹式被仰付、今日津輕

(1) 脱字あらんか

靱負、今日沐浴齋戒爲盆祭之義、(儀)申下刻禮服迎神、

十四日、夕雨甚、有南風、雨終日不止、盆祭如例年、戶田喜右衛門來話、

十五日、自朝雨、御佛殿御成、依雨而延引、堀田筑州爲御名代、今日各著染帷子而往來參寺、

十六日、雨、到戶田公、 十七日、晴、又細雨、金子伊右衛門來謁、菅沼家人

十八日、晴、三村猪右衛門來話、 十九日、晴、田村藤大夫來話、 廿日、午前雨、今日御成無之、

廿一日、蒸暑難凌、爲盆禮到宗三寺、持參如每年、鳳林寺有江湖會、

廿二日、霧多、神拜如常、令吉田江右衛門詣宗三寺、此間甚殘暑、日色不明、陰雲蒸暑、人々難凌、近年人未會有此天氣、東西北國皆旱之由、凡五十餘日不雨、當地者去月當月、皆陰雲細

雨無大雨、

廿三日、殘暑甚、明日依淨清大居士第十三回忌、依今日辰上刻詣泉岳寺燒香、捧香奠百疋、歸

路到淺野内匠頭宅、及夜暑氣未退、夜中人不寐、近年人未覺此暑、

廿四日、殘暑、淨清居士十三回忌、夕到熊澤作右衛門亭、松浦壺太守來會、 廿五日、殘暑未退、

熊澤作右衛門爲暇乞來謁、

廿六日、殘暑少退、有涼風、夕松浦壺太守來話、今夕夢、號茶屋神四郎者來、今日大神君從駿

河著御云々、神四郎傍^{カチン}褐色慰斗目小袖、葵紋有^レ之、白小袖相添有^レ之、

廿七日、雨終日、今日板倉伊與守^(豫)寺社奉行御免、予到^レ會根五郎兵衛宅、酒井壹岐守父子、本多備

前守、中根宇右衛門來會、此夕夢、戶田公賜^レ石帶、^(以赤銅飾之、有文書)

廿八日、終日曇、有馬伊與守^(豫)蟄居、^(依土方事也)廿九日、雨、到^レ稻垣淡路守宅、本多備前守、西山六

郎兵衛來會、

晦日、雨、晦拜、津輕長命自^レ廿三日^(風カ)到^レ今日歸宅、

廿七日已後秋涼、西國今年北國甚、依^レ之唐船未^レ到、阿蘭陀船漸今月十四日長崎入津、

八月

朔日、雨、各著^レ白帷子^二登城、今日諏訪祭、強飯、醴酒如^レ每年、神拜如^レ常、今日賜^レ享於家僕、

是賀^二廿四日廿七日兩度之奇夢、今日於^レ殿中堀田筑前守、告^レ諸大名以^レ有馬伊與守、有^レ書付、

二日、晴、酒井主稅、會根五郎兵衛來話、

三日、晴、此間甚冷、如^レ末秋、四日、晴、三村猪右衛門來話、

五日、曇、夜中雨、到^レ戶田、一昨日拜^レ領阿部伊與守屋敷云々、伊與守拜^レ領土方屋敷、今夕夢、

著^レ大夜衣遊^レ日本橋、清助、藤介同伴、

六日、朝雨、午後晴、到^レ大村太守、藤介同伴、問^レ狩野法眼、今日初嘗^二鮭魚、

七日、雨、八日、細雨、九日、賀^二五日之夢、十日、雨、村瀨主稅來禮、十一日、殘暑、

今日到^レ本多備前太守、有^レ享、藤介同伴、

十二日、晴、富田義兵衛老母到、十三日、晴、有^レ月、松浦壹太守來話、

十四日、夕雨、神拜如^レ常月、令^レ吉田江右衛門詣^二宗三寺、十五日、望拜如^レ常、夕大雨無^レ月、

田村藤大夫來、告^レ大學瘡疾平快、

十六日、終日雨、今日到^レ田村藤大夫宅、有^レ享應、藤介、船生源右衛門、戶澤彌五兵衛相伴、十

七日、晴、

十八日、曇、今日長命母及內、到^レ田村藤大夫宅、十九日、曇雨、廿日、細雨、三村猪右衛門

來話、

廿一日、朝亦細雨、問^レ小笠原壹岐守留守、^(壹岐守室死去)雨森仁右衛門、米溪彌五右衛門等出席、

廿二日、細雨、神拜如^レ常、令^レ吉田江右衛門詣^二宗三寺、

廿三日、雨、終日不^レ止、夕少晴、今日到^レ淺野內匠頭宅、內匠頭爲^二兵法之門弟、爲^二藤介誓狀、大

嶋出羽守來會、有^レ享禮盃酒、奥野將監、安井彦右衛門各血判、廿四日、雨、

廿五日、曇、微雨、依招到戸田公、廿六日、曇、廿七日、同、
 廿八日、曇、今日辰上刻、於殿中稻葉石見守、忽刺堀田筑前守、老中截殺石見守、筑前守未
 死、到宿所死、石見守懷中有書置、有遺恨而如此云々、群臣、爲窺御機嫌、到老中、
 無御禮、及暮而到戸田公、今日內及長命母子、近所有猿樂見物云々、
 廿九日、快晴、各登城、依昨日之義也、今日津輕長命歸宅、筑前守葬上野圓覺院、廿九日之夜
 云々、

九月

朔日、甲子曇、各登城有御禮、夕到戸田公、神拜如常月、
 二日、雨終日不_レ休止、長村三左衛門松浦來話、
 三日、曇、本多備前守來、今日重陽之時服各賜_レ之、家人四日、曇、到戸田公、
 五日、曇、堀田筑前守一七日、無_レ上使、老中來臨云々、牧野備後守不_レ到_レ之、
 六日、晴、到大村太守、藤介同伴、内匠頭依遠慮到彼亭、今日小笠原佐渡守、稻垣淡州來、
 七日、晴、八日、晴、今日稻葉石見守又從弟遠慮御免、
 九日、微雨、各登城有御禮、大村太守賜新雁於予、神拜如常嘉節、十日、晴、有雁料理、

十一日、晴、今曉夢千手觀音、甚嚴莊也、十二日、雨、十三日、晴、
 十四日、晴、神拜如例月、令吉田江右衛門詣宗三寺、十五日、望拜如常、今日到戸田公、
 十六日、微雨、
 十七日、夕雨、戸田喜右衛門到、内御口御成、夕講春秋僖公六年、
 十八日、晴、夕細雨、藤堂和泉守家人藤堂彌五右衛門、藤堂佐渡守家人平松佐五兵衛來謁、
 十九日、晴、田村藤大夫到、廿日、陰雲、凡此間陰雲不_レ快晴、及暮而雨、已後夜中甚暑、中條
 左京來話、

廿一日、晴、村井角左衛門到、松平飛驒廿二日、曇、夜雨、神拜如常、令吉田江右衛門詣宗
 三寺、

廿三日、晴、夜講春秋僖(公)二十三年、廿四日、快晴、夜雨、
 廿五日、雨、夜講春秋、廿六日、雨終日不_レ休止、及夜而大雨、到戸田公、
 廿七日、晴、到本多備前守、西山六郎兵衛來會、廿八日、晴、
 廿九日、晴、到町野幸宣、今月堀田筑前守不慮之妖死、世上無別事、公用聊無滯、秋中世上無
 大風雨甚豐年、米下直、百俵廿五兩、

十月

朔日、壬巳快晴、風拜ニ願神々主ニ如常、今日船生源右衛門大星相傳、今日於津輕柳川豊前卒、八十一歳素庵寛永亥年御預、到今年五十年、二日、雨、法名素庵

三日、雨、夕到戸田公、今曉有ママ夢瑞、五文字失念、

(カ)よしの雲間に月出て

案、(延寶七年)先年未秋有瑞夢、見下句與今夕之夢相合爲一首、

ヨイノ雲間ニ月出テサヘカヘル夜ノ光ウレシサ

四日、五日、六日、晴、到大村太守、藤介同道、七日、八日、今日稻葉石見守親類遠慮御免、

九日、晴、今日開瑞夢、賜金於家僕、用強飯有三盃酒、

十日、今日堀田筑前守遺跡、十萬石下總守、二萬石伊豆守、一萬石兵部於大久保加々守宅傳(賀)鈞命、

十一日、雨、到酒井小平次宅、有饗應、藤介同伴、十二日、曇、夕晴、

十三日、晴、今日大村太守并賢息幾之助萬之丞御父子三人來話、謝先日爲兵法之門弟、享禮盃酒、青山

播磨守家督御禮、今日淺野内匠賜口切之茶并雁、明日依先妣君之正忌日、自今晚供茶菓餅

燒香、

十四日、大雨終日不止、今日先妣君忌日、風拜ニ神主燒香奠茶、食事上三汁食、已上刻詣七采宗

三寺、今日從戸田公賜口切之茶、放鷹之鴨二、

十五日、曇、神拜、今夕到戸田公、謝口切之茶、今日堀田筑前守屋敷上之、井上相模守番之、

十六日、(十月)晴、從今日天氣快晴、十七日、曇、十八日、晴、到本多備太守、藤介同道、

爲口切之御賀、

十九日、晴、夕到松浦壹太守、去ル十七日於小室石川作州卒去、廿日、壬子晴、曾根五郎兵

衛來話、

廿一日、晴、自備前太守ニ貺生鶴、廿二日、神拜如常、令又兵衛詣宗三寺、下人作介自先

日搦捕之、今日放免、

廿三日、晴、今日長命母子來、今日小笠原主計、同縫殿助、爲藤介門弟、來爲誓狀、

廿四日、晴、今日料理鶴鳥、今曉夢、養和五年水野元方有之折紙、樽肴等有之、

廿五日、晴、今日講春秋文公末年、廿六日、自曉雷雨、俗云、今月雷則來年豐饒、廿七日、

晴、

廿八日、晴、早朝貴田來、今日三村猪右衛門不慮之義出來之由告來、馳价告事於大嶋羽州、夕到

戶田公閑談、明日田村藤大夫亡母忌日、依之送_(イ)精進菜於五種、
廿九日、今日清圓大姉忌日、晝前松浦太守來話、大嶋出羽守來臨、
晦日、晴、寒氣甚、氷甚厚、早朝到大嶋出羽守宅、談_(イ)三村事、
今日十五日已後天氣快晴、甚寒過_(イ)例年、

霜月

朔日、癸亥、十一月節快晴、神拜如_(イ)常、甚寒厚氷、夕到_(イ)松浦壹太守、

二日、晴、三日、晴、夕到_(イ)戶田公、四日、雨、五日、南風、松浦織部口切之會、六日、

晴、

七日、晴、今日松平修理亮事、保科肥後守御預、通_(イ)書狀於出家、其文章有_(イ)怪事、八日、晚雨南

風、九日、到_(イ)大村太守、

十日、晴、到_(イ)堀源五右衛門宅、今日松平修里糾明之上、領地被_(イ)召上、會津配流、息男松平日向守

御預、十一日、晴、多田藤大夫到、

十二日、快晴、甚霜、去月十八日於_(イ)肥前平戶鐵炮藥二萬斤燒失、其聲甚夥、聞_(イ)筑前地、四十里番人

等十人計死、

十三日、晴、甚寒霜如_(イ)雪、夕到_(イ)戶田公、今日諸大名御朱印頂戴之、

十四日、晴、神拜如_(イ)常、令_(イ)吉田江右衛門詣_(イ)宗三寺、今日內到_(イ)長命宅、明日爲_(イ)長命髮置之賀_(イ)也、

十四日、兒嶋助左衛門(元字)御_(イ)父子、流_(イ)八條嶋、(丈力)三男四男流_(イ)三宅嶋、遠山虎之助斬罪、是兒嶋子源藏

八月廿九日喧嘩相果、此書置之義有_(イ)過、度々御詮議之上如_(イ)此、十八日兒嶋到_(イ)八條嶋、此間佐竹

右京預_(イ)彼父子、

十五日、晴、神拜如_(イ)常、今日長命髮置之賀、晚小出彌左衛門來禮、貴田孫大夫先容、遠山播磨守家臣、太刀馬代

田中孫十郎來話、

十六日、十一月晴、十七日、晴、十八日、晴、今日爲_(イ)口切、堀傳左衛門、田村藤大夫、唐牛長

右衛門等來會、凡此間如_(イ)春、朝夕寒甚霜如_(イ)雪、

十九日、晴、朝寒、到_(イ)長命宅、廿日、晴、夕南風、廿一日、晴、今日御朱印在_(イ)國大名頂戴、

廿二日、晴、神拜如_(イ)常、令_(イ)吉田江右衛門詣_(イ)宗三寺、到_(イ)松浦、津輕太守、賀_(イ)御朱印頂戴、廿

三日、晴、今日堀田下總守賜_(イ)松平修里宅、(理)

廿四日、晴、酒井壹岐守、同主膳、與_(イ)會根五郎兵衛來、爲_(イ)兵法之誓狀、會根爲_(イ)先容、太刀馬代、

出_(イ)雜煮有_(イ)盃酒、廿五日、晴、松浦壹太守來臨、廿六日、晴、